

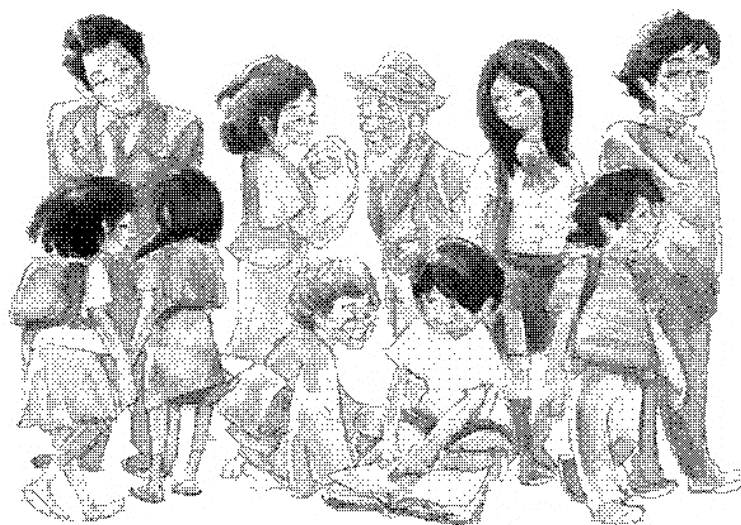
平成28年度（平成27年度実績）

「藤沢市教育委員会の点検・評価」

及び

**「藤沢市教育振興基本計画の進行
管理」に関する報告書**

藤沢市教育委員会



目 次

<はじめに>

| | |
|--------------------|---|
| 1 実施方針 | 1 |
| 2 趣旨 | 1 |
| 3 実施方法 | 1 |
| 4 藤沢市教育振興基本計画評価委員会 | 2 |
| 5 開催状況 | 2 |

<第1部 教育委員会点検・評価>

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 点検・評価対象事業一覧 | 5 |
| 2 平成27年度 教育委員会点検・評価報告書 | |
| 1 4 3 八ヶ岳野外体験教室の充実事業 | 6 |
| 3 3 9 中学校給食施設整備事業 | 7 |
| 4 2 2 総合市民図書館市民運営事業 | 8 |
| 4 2 6 子ども読書活動推進事業 | 9 |
| 5 1 6 アートスペースの整備・運営事業 | 10 |
| 5 2 8 (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 | 11 |
| 6 2 1 子どもの体力向上対策事業 | 12 |
| 8 2 5 学校防犯対策強化事業(子ども110番・安全マップ) | 13 |
| 3 評価委員会からいただいたご意見及び今後の方向性 | 14 |

<第2部 藤沢市教育振興基本計画進行管理>

| | |
|-------------------------------|-----|
| 1 藤沢市教育振興基本計画各基本方針の自己評価 | 23 |
| 2 藤沢市教育振興基本計画の進捗状況 | 42 |
| 3 進行管理についての質疑応答及び意見 | 98 |
| 4 点検・評価及び進行管理を通じた教育委員会へのアドバイス | 107 |

<第3部 教育委員会の活動状況>

| | |
|---------------|-----|
| 1 教育委員会について | 112 |
| 2 平成27年度の活動実績 | 112 |

<参考資料>

| | |
|----------------------|-----|
| 藤沢市教育振興基本計画体系図 | 117 |
| 藤沢市教育振興基本計画評価委員会設置要綱 | 120 |

はじめに

1 実施方針

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の点検・評価と併せ藤沢市教育振興基本計画の進行管理を実施し、教育委員会活動報告とともに公表していきます。

2 趣旨

「藤沢市教育振興基本計画」は、本市の教育に関する総合的な中期計画として2011年（平成23年）3月に策定をしました。その計画を確実に推進していくため、平成24年度から外部の有識者による藤沢市教育振興基本計画評価委員会を設置し、教育委員会の点検・評価と併せ、本計画に位置づけられている全事業の進行管理を行うこととしました。

点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）第26条第1項において「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされています。

今年度も昨年度と同様に点検・評価結果と全事業の進行管理を併せた報告書を作成し、いただいたご意見については、計画の進行や見直しなどに生かしていきます。

3 実施方法

- (1) 点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定を踏まえ、藤沢市教育振興基本計画評価委員会において、教育に関し学識経験を有する委員の方々が、主体的に抽出した8事業について重点的に議論し、様々なご意見・ご助言をいただきました。

評価の方法については、教育振興基本計画の体系図から教育部内と生涯学習部内の重点事業、及び点検・評価対象希望事業を中心に、基本方針ごとに実施事業を抽出して対象事業としました。

また、事業の進捗状況・効果・成果等を明らかにし、課題・問題点を分析して課題解決の具体的方策を検討しました。

- (2) 教育振興基本計画の進行管理については、全事業を一覧表でまとめ、進捗状況と所管する課の自己評価を明確にしました。

4 藤沢市教育振興基本計画評価委員会

(敬称略)

| | 氏名 | 役職等 |
|------|------|-------------------------|
| 委員長 | 三浦康之 | 湘南工科大学工学部准教授 |
| 副委員長 | 栃本親 | 学校・家庭・地域連携推進会議 会長会会長 |
| 委員 | 藤井佳世 | 横浜国立大学教育人間科学部准教授 |
| 委員 | 市村杏奈 | 藤沢市PTA連絡協議会副会長 |

5 開催状況

- (1) 第1回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2016年7月1日
- ・藤沢市教育振興基本計画評価委員委嘱
 - ・委員長選出、副委員長指名
 - ・藤沢市教育振興基本計画各基本方針の自己評価について説明及び質疑応答
 - ・点検・評価対象事業の抽出
- (2) 第2回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2016年7月11日
- ・点検・評価対象事業について担当課より事業説明
 - ・事業説明に関する質疑応答
- (3) 第3回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2016年8月9日
- ・点検・評価対象事業についての追加質問
 - ・点検・評価対象事業に対する講評
 - ・全事業の進行管理についての意見
 - ・点検・評価及び進行管理を通じた教育委員会へのアドバイス

第 1 部

教育委員会点検・評価

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 点検・評価対象事業一覧

| 事業コード | 事業名 | 担当課 |
|-------|-------------------------------|------------------|
| 143 | 八ヶ岳野外体験教室の充実事業 | 学校教育企画課 |
| 339 | 中学校給食施設整備事業 | 学校給食課 |
| 422 | 総合市民図書館市民運営事業 | 総合市民図書館 |
| 426 | 子ども読書活動推進事業 | 総合市民図書館 |
| 516 | アートのスペースの整備・運営事業 | 文化芸術課 |
| 528 | (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 | 郷土歴史課 |
| 621 | 子どもの体力向上対策事業 | スポーツ推進課 教育指導課 |
| 825 | 学校防犯対策強化事業 (子ども110番・安全マップ) | 教育指導課 防犯交通安全課 |

2 平成27年度 教育委員会点検・評価報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | | | 教育部 | |
|---|---|--|------------|-------|---------|--|
| 143 | 八ヶ岳野外体験教室の充実事業 | 担当課 | | | 学校教育企画課 | |
| 事業目的 | | 変更(ある場合) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・八ヶ岳周辺の大自然の中で各学校が行う教育活動の充実を図ること、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばし、心豊かに育てる。 ・市民等の野外体験施設としての利用に供することで、市民が自然環境に触れられる場を提供する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容について、計画的に施設の修繕を進める内容に文言を修正した。(H28) | | | | |
| 事業内容 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育施設として、八ヶ岳周辺の大自然の中で各学校が行う自主的・創造的な教育活動を展開するとともに、市民等の野外体験施設として活用する。 ・中長期修繕計画に基づいて施設の計画的な修繕に取り組んでいく。 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
| | 実施 | | | | | |
| 予算額(千円) | 227,260 | 226,871 | | | | |
| 決算額(千円) | 225,313 | | | | | |
| 執行率(%) | 99.1 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を行うことにより心豊かな児童生徒の育成が図れた。 ・市民が自然環境に触れられる場を提供できた。 | | H27年度の総合評価 | 評価 | 次年度 | |
| | | | | B | 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | 評価の理由 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携しながら、学校利用、市民等の利用を進めることができた。 ・藤沢市立学校55校の学校利用があり、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばすことができた。中学校7校においては冬季利用で冬の大自然を体験し、厳しい自然の中で藤沢では得られない体験をした。 ・指定管理者の自主事業「子どもだけのわいわいキャンプ」では藤沢市の子どもたちだけでなく、茅ヶ崎市・寒川町に在住・在学の小・中学生も一緒に自然体験や仲間とのふれ合いを行うことができた。 ・施設管理の面では、本館、宿泊棟の暖房等経年劣化に伴う修繕を行うことができた。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携しながら、学校利用や市民等の利用を進め、平成27年度の目標は達成できたと考えられる。 | | | | |
| | | 今後の方向 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体験活動施設としての重要性は以前にも増して高まってきている。 ・藤沢市内の学校利用日以外については、広域利用も含め、他市町の団体の利用に向け積極的に情報提供していく。 | | | | |
| | | H28年度事業計画 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携しながら、学校利用の充実をはかるとともに市民等の利用の促進に努める。 ・藤沢市立学校の学校利用に関しては、全体説明会や事前打ち合わせを綿密に行い、各校の自主活動のニーズにあった体験活動のサポートを行う。 ・広域利用に関して、積極的に情報提供していく。 ・指定管理者と連携し一般利用者の拡大へ向けた具体的な取組を行う。 ・施設の修繕計画をもとに、施設の長寿命化、安全確保のための修繕を行っていく。 | | | | |
| 課題・問題点 | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の児童生徒の体験活動施設としてだけでなく、近隣他市町の児童生徒も団体利用できる施設として認知してもらうために、関係者への周知が必要。 ・一般市民利用者の拡大へ向けた取組が必要。 ・施設開設から20年以上が経過しているため、施設全体の経年劣化への対応も課題となっている。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・大自然の中での活動を通して、自立する子どもの育成、豊かな心と健康な身体を育む教育が展開できるよう、各学校のねらいやニーズを的確につかみ、それにあった活動が展開できるような対応を行っていく。 ・利用者の拡大を図るため、学校を通じた保護者へのPRや、近隣市町の教育委員会や学校へのPR、インターネット予約の早期実現などについて、指定管理者との連携を密にしながら取組を充実させていく。 ・施設の修繕については、中長期修繕計画に基づいて、計画的に進めていく。 | | | | |

| | | | | | |
|---|--------------------|---|--|------------|-----------|
| 事業コード 339 | 事業名 中学校給食施設整備事業 | 担当部 教育部 | 担当課 学校給食課 | | |
| 事業目的 成長期にある生徒の健康保持増進及び食育の推進を図る。 | | 変更(ある場合) *事業終了年度を今回策定した実施計画に合わせ平成31年度に変更 | | | |
| 事業内容 ・家庭からの弁当持参とデリバリー方式の給食の選択制を実施する。 ・栄養バランスの摂れた食事を提供し、望ましい食習慣を養う。 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 給食施設の整備 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | 試行3校 (計5校) | 実施4校 (計9校) | 実施3校 (計12校) | 実施7校(計19校) | |
| 予算額(千円) | 16,337 | 37,652 | | | |
| 決算額(千円) | 16,026 | | | | |
| 執行率(%) | 98.1 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 中学校給食実施校 5校 | | H27年度の総合評価 | 評価 B | 次年度 継続 |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・第一中学校、明治中学校及び六会中学校において給食の試行を開始 ＜主な検証ポイント＞ 日課表を変更せずに15分の昼食時間で実施可能か 給食の配膳場所の確保が可能か 調理後2時間以内の喫食が可能かどうか (「学校給食衛生管理基準」の規定) ＜検証方法＞ 開始後に生徒、保護者、職員へのアンケートを実施 検証ポイントについては問題がないことを確認 ・検証結果に基づき平成28年度以降の実施計画を策定、市議会2月定例会に報告 | | | 評価の理由 ・計画どおり事業を実施した。 今後の方向 実施計画に基づき平成28年度から順次実施校を拡大し、平成31年度には全19校において給食を実施する。 H28年度事業計画 ・御所見中学校、高倉中学校、大庭中学校及び大清水中学校で中学校給食を実施 | | |
| 課題・問題点 ・施設整備(配膳場所の確保)についての課題等はないものの、調理業者の契約期間、契約方法については、安定的な事業継続を図るためには検討の必要がある。 ・喫食率向上策については、検討の必要がある。 | | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について ・施策の柱である「安全・安心で快適な学校施設の整備」として、夏季休業中に今年度の対象校である4校の配膳室整備を行い、後期期間中に給食を開始する。 ・給食を開始することにより、小学校と同様に栄養教諭が、給食を「生きた教材」として活用し、食育を推進する。 | | |

| 事業コード | 事業名 | 総合市民図書館市民運営事業 | | | 担当部 | 生涯学習部 |
|---|-----------------|---------------|---|----------|---------|---------|
| 422 | | | | | 担当課 | 総合市民図書館 |
| 事業目的 | | | | 変更(ある場合) | | |
| これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に図書館運営を業務委託することにより、効率的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | |
| これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。総合市民図書館は、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行うとともに、業務委託された図書館の運営状況を検証する。 | | | | | | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | ▶ | | | | | |
| | 貸出件数 390万件/年 | 391万件/年 | 392万件/年 | 393万件/年 | 394万件/年 | |
| 予算額(千円) | 137,756 | 138,652 | | | | |
| 決算額(千円) | 136,566 | | | | | |
| 執行率(%) | 99.1 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 貸出件数 378万件/年 | | H27年度の 総合評価 | 評価 | 次年度 | |
| | | | | B | 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | 評価の理由 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人に辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。 ・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証するとともに、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行った。 ・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の2館とも円滑に運営され、NPO法人からの相談等に対する総合市民図書館からの支援や、NPO法人と総合市民図書館との連絡会議による情報共有等により、従来の図書館サービスの水準を維持できている。 | | | |
| | | | 今後の方向 | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・総合市民図書館は、NPO法人に運営業務を委託した辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館に対して、今後とも施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を引き続き行う。 | | | |
| | | | H28年度事業計画 | | | |
| | | | NPO法人による辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能についての検証を継続する。 | | | |
| 課題・問題点 | | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館が引き続き質の高い図書館サービスを維持できるよう、2館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能を検証していく。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・辻堂及び湘南大庭市民図書館が市民運営としての自主性を生かすとともに、地域に密着した図書館サービスの提供や各種事業の企画、実施が円滑にできるよう、総合市民図書館は引き続き支援を行うものである。 ・年次目標値としている貸出件数については、電子媒体の普及等に伴い減少傾向が見られることから、多様化する市民ニーズを把握しながら、適切な目標に修正し、今後も4館で目標の達成に努めていくものである。 | | | |

| 事業コード | 事業名 | 子ども読書活動推進事業 | | | 担当部 | 生涯学習部 |
|--|--|-------------|---|----------------|---------|-----------|
| 426 | | | | | 担当課 | 総合市民図書館 |
| 事業目的 | | 変更(ある場合) | | | | |
| 子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けることができるよう、子どもの読書環境を整備し、読書機会の充実を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | |
| 「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。 | | | | | | |
| ・ブックスタート事業など子どもの発達段階にあわせた事業等の充実 | | | | | | |
| ・団体貸出など学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の充実 | | | | | | |
| ・子どもと読書に関わるボランティアの育成 | | | | | | |
| ・学校図書館の運営等への支援 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
| | 学校及び子どもに関わる施設団体等との連携事業の実施 | | | | | |
| | 団体貸出回数 750回 | 800回 | 850回 | 900回 | 950回 | |
| | 子どもの発達段階にあわせた事業等の実施 | | | | | |
| | ブックスタート事業の実施 ボランティアの育成 | | | | | |
| 交流会・研修会等の実施 | | | | | | |
| 予算額(千円) | 5,542 | 5,208 | | | | |
| 決算額(千円) | 5,235 | | | | | |
| 執行率(%) | 94.5 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果 | 学校及び子どもに関わる施設団体への団体貸出回数(953回) ・ブックスタート事業の実施(48回) ・ボランティア交流会(5回)、研修会(3回)の実施 | | | H27年度の 総合評価 | 評価 A | 次年度 継続 |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | 評価の理由 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定した。 ブックスタート事業を48回実施し、幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行い、子育て支援情報・図書館案内・絵本リスト等の入ったブックスタート・バックを3,574人に手渡し、絵本を介した心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう努めた。 母子健康手帳交付時・「こんにちは赤ちゃん事業」・3歳6か月児健診時で、保護者に啓発リーフレットを配付し、読書に関心を持つ機会の拡充に努めた。 学校及び子どもに関わる施設・団体等に団体貸出を958回実施し、資料の充実に努めた。 リサイクルブックフェアを2回実施し、学校及び幼稚園・保育園等に対して資料提供を行い、各施設等の資料の充実を図ることができた。 図書館・図書室おはなし会ボランティア連絡会を4回実施し、ボランティア同士の意見交流や情報共有に努めた。 ブックスタートボランティア交流会を1回実施し、情報共有に努め、活動の参考とすることができた。 図書館・図書室おはなし会ボランティア研修会を2回、ブックスタートボランティア研修会を1回実施し、今後の活動の充実のために参考とすることができた。 学校図書館専門員連絡会に参加し、学校図書館との連携推進を図った。 藤沢市子ども読書活動推進会議を開催し、事業報告及び評価と、進捗状況の確認を行い、今後の取組の参考とした。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 計画どおり事業を行うことができた。 団体貸出等、学校及び子どもに関わる施設団体等との連携事業について周知を図り、多く利用された。また、ブックスタート事業前後のフォローアップ事業として、新たに母子健康手帳交付時に啓発リーフレットの配付がはじまった。 | | | |
| | | | 今後の方向 | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 学校及び子どもに関わる施設団体等への団体貸出については、市内全体の増加数が見込み以上に著しく多かったため、目標値を大きく超えることとなった。一方で館によっては貸出回数の減少も見られることから、H28年度の目標値については据え置きとし、経過を観察するとともに、事業の更なる周知に努める。 ボランティア交流会及び研修会等の実施については、日程や研修内容の充実について検討する。 ブックスタート事業前後のフォローアップ事業については、関係各課と調整しつつ引き続き実施する。 | | | |
| | | | H28年度事業計画 | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 学校及び子どもに関わる施設・団体等に対する資料の団体貸出・配本等、連携事業の実施 学校図書館専門員連絡会への参加等学校図書館運営に関わる支援の実施 ブックスタート事業及びフォローアップ事業の実施 各種ボランティア交流会及び研修会の実施 藤沢市子ども読書活動推進会議の開催 「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係部署等と連携を図りながら、計画の推進に向けて取り組む。 | | | |
| 課題・問題点 | | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア交流会及び研修会等の充実を図る。 学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の周知方法等について検討の必要がある。 「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の進ちょく状況等の検証方法について検討する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが一人ひとりの発達段階にあったさまざまな読書活動を行うとともに、社会全体が読書活動に興味を持ち、子どもの読書活動を支える環境の整備をめざし、計画の周知や事業の実施に取り組むものである。 年次目標値としている団体貸出回数については、平成27年度に目標を大きく上回ったことから、今後もさまざまな施設等に利用されるよう周知・啓発に努めていくものである。 | | | |

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | | | | 生涯学習部 |
|---|--|---|---------|---------|-----------|-------|
| 516 | アートのスペースの整備・運営事業 | 担当課 | | | | 文化芸術課 |
| 事業目的 | | 変更(ある場合) | | | | |
| 若手芸術家等の創作活動の支援、美術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を主な目的に、本市の美術振興の拠点施設として整備し、事業を運営する。 | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | |
| 美術の振興を図る新たな機能を持つ施設として、アートのスペースを整備し、事業を運営する。 ・レジデンスルーム(アトリエ)、展示ルーム等の整備・開設 ・若手芸術家等の創作活動及び展示・発表等の支援等 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 施設の運用 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
| | 開設・供用開始 入場者及び利用者数 15,000人 | 供用 30,000人 | 31,000人 | 32,000人 | 33,000人 | |
| 予算額(千円) | 64,360 | 68,098 | | | | |
| 決算額(千円) | 60,182 | | | | | |
| 執行率(%) | 93.5 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 年間来館・来場者数約17,500人 ・来館者数5,550人 ・神台公園会場観覧者約12,000人 | H27年度の 総合評価 | | 評価 B | 次年度 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | 評価の理由 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アートのスペース開館直前シンポジウムの開催 2015/8/30 <ul style="list-style-type: none"> *講演会:美術館は何をはじめたのか 講師:神奈川県立近代美術館長 水沢 勉 *パネルディスカッション:アートが導く!「文化都市・藤沢」の新たな展開に向けて パネリスト:神奈川県立芸術文化財団 学芸員中野仁詞 他2人、司会:美術評論家 岡部あおみ *参加者114人 ・開館記念特別展覧会「From now on!!」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1期:10/3-11/3 参加作家:4人 第2期:11/7-12/6 参加作家:3人 第3期:12/12-1/17 参加作家:2人 *来館者数3,277人 ・企画展「まちをとらえる - 記憶のドキュメント」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 1/23-2/28 参加作家:4人 *来館者数1,173人 ・企画展「みつげること/またみつげること」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 3/5-4/10 参加作家:4人 *3月末までの来館者数986人 神台公園会場観覧者数約12,000人 *会期を通じての来館者数1,389人 神台公園会場観覧者数約17,000人 | | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな美術を中心とする文化芸術を発信する施設として供用開始し、様々なメディアを利用し周知を行ったが一般市民の知名度はまだ低いと考えられる。神台公園会場の観覧者数を合わせると当初の目標を上回る人数となり、若手芸術家を支援するという基本方針に沿って、当初の予定通りの事業がすべて実施することができたため。 今後の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き若手芸術家等の創作活動の支援、美術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を行うため、様々な事業を実施していく。 | | | | |
| 課題・問題点 | | H28年度事業計画 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アートのスペースがある湘南C-XC2街区は、特別景観形成地区であり、広告看板物等の掲出について、きめ細やかな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。 ・施設の周知や事業推進を図るため、県内の美術系大学、市内の高校、中学の美術担当部門を訪問し、施設・事業のPRを行うとともに、他の公共的な施設や辻堂地域の商店街、及び民間施設と連携をしていく必要がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・公募による公開制作展の開催:多彩な創作活動に携わるアーティストから制作したい作品と展示についてのプランを全国から広く募集し開催する。 ・藤沢(湘南)ゆかりの作家展:藤沢を中心として湘南地域で活動する若手作家を紹介する展覧会を3回開催する。 ・レジデンスルーム、展示ルームの一般への貸し出し。 ・展覧会に関連したイベントの開催及び、子どもや各世代で楽しめるワークショップ、美術講座を定期的で開催する。 ・藤沢ゆかりの著名な作家や姉妹都市等と連携した企画展を開催する。 | | | | |
| | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | | |
| | | 施設の知名度を高めるため、藤沢ゆかりの著名な作家や姉妹都市等と連携した企画展など、集客力のある企画を開催するとともに、こうした企画展を含めた施設の情報を、市広報、新聞、専門雑誌、情報誌をはじめ、ホームページやSNS等様々なメディアを利用し発信していく。同時に、県内の美術系大学や市内の高校、中学の美術担当部門を訪問し、施設・事業のPRを積極的に行っていく。また、施設として初めて全国公募展を開催し、その審査員に著名なキュレーター、アーティスト、美術関係者を起用し、ハイレベルな展覧会とすることによって、アートの存在感を高めることにつなげていく。 | | | | |

| | | | | | |
|---|-----------------------------|--|----------------|---------|-----------|
| 事業コード 528 | 事業名 (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 | | |
| 事業目的 旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な取組と併せ地域の活性化に繋がる活用を図る。 | | 変更(ある場合) | | | |
| 事業内容 旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学ぶ、休憩や交流の場としても活用できる施設として(仮称)ふじさわ宿交流館を整備する。 ・藤沢宿の歴史・文化・なりわいの紹介 ・伝統芸能の発表の場の提供 ・地域の活性化のための事業実施 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ふじさわ宿交流館の整備・運営 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | 新築工事 | 開館 利用者数 25,000人 | 26,000人 | 26,000人 | 26,000人 |
| 予算額(千円) | 214,457 | 31,049 | | | |
| 決算額(千円) | 154,860 | | | | |
| 執行率(%) | 72.2 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 新築工事について、年度末までに竣工できず繰り越した。 | H27年度の総合評価 | | 評価 C | 次年度 継続 |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | 評価の理由 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 6月議会に施設の設置条例案を上程し議決された。 指定管理者の選定を行い、12月議会に指定議案を上程し議決された。 その後施設の管理、運営について指定管理者と詳細を詰め、3月に基本協定を締結した。 施設の新築工事については、8月10日に建築・電気・設備に分けて発注した。 運営、活用についての地域・関係団体等との意見交換会を2回実施した。 藤沢地区郷土づくり推進会議、藤沢東部・西部自治連総会でそれぞれ交流館建設の進捗状況、運営・活用方法について説明した。 4月の開館を目指し、施設の運営に必要な備品等の調達を行うとともに、郷土資料展示室に展示する資料の整理や展示物の準備を行った。 開館記念式典や開館記念イベントの準備を進めた。 | | <ul style="list-style-type: none"> 新築工事が完了しなかったため。 | | | |
| | | 今後の方向 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月1日から藤沢市観光協会が指定管理者として運営準備を行い、4月29日に開館予定。展示業務は市が行い、各種イベント、PRは主に指定管理者が行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域ににぎわいの創出を目指す。 | | | |
| | | H28年度事業計画 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 4月29日開館 運営協議会の開催 伝統芸能等各種イベントの実施 藤沢宿のPR 市民団体との協働事業の実施 | | | |
| 課題・問題点 | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 交流館をいかに市内外にPRするか、そして集客を地域の活性化とにぎわいの創出に繋げていくかを、指定管理者、地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践していく。 | | <ul style="list-style-type: none"> 交流館の来館者を増やし、旧東海道藤沢宿の歴史や文化をより多くの方に伝えられるように、ジオラマやコンピュータグラフィックの活用など歴史資料の展示に工夫するとともに、近年盛んなウオーキングイベント等で交流館を利用していただくなど、民間との連携も進めていく。 | | | |

| 事業コード | 事業名 | 子どもの体力向上対策事業 | | | 担当部 | 教育部・生涯学習部 | |
|--|--------------------|--------------|-------|--|----------|---------------|--|
| 621 | | | | | 担当課 | 教育指導課・スポーツ推進課 | |
| 事業目的 | | | | | 変更(ある場合) | | |
| 小中学生の体力向上のための教育プログラムを研究・実践する。 | | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | | |
| (教育指導課) | | | | | | | |
| ・市立小学校5年生と中学校2年生を対象に「体力・運動能力テスト」を実施し、その結果を基に、子どもの体力を分析して、子どもの体力向上のための方策を検討する。 | | | | | | | |
| (スポーツ推進課) | | | | | | | |
| ・新体力テスト実施に向けた測定員の養成と派遣。 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | |
| | 体力・運動能力テスト(54校) | | | | | | |
| | 実施 | | | | | | |
| 予算額(千円) | 5,857 | 5,799 | | | | | |
| 決算額(千円) | 5,857 | | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 体力・運動能力テストの実施校数54校 | | | H27年度の 総合評価 | 評価 | 次年度 | |
| | | | | | B | 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | 評価の理由 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力向上に向けた啓発を図ることができた。 ・希望校には測定員を派遣し、市内54校で実施することができた。 ・市内小学校32校から測定員の派遣依頼があり、4月20日から6月29日の期間で実施した。 ・平成25年度より、全校で8種目を測定している。 ・測定員意見交換会については、11月15日に行い、次年度に向けた検討を行った。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市内54校で体力・運動能力テストを実施。 ・学校との日程調整を含め、事業目的に沿った事業展開を実施できた。 | | | |
| | | | | 今後の方向 | | | |
| | | | | 全種目、全校を対象として、継続実行する。 ・国や県の動向を踏まえながら検討していく。 | | | |
| | | | | H28年度事業計画 | | | |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市内54校で実施 ・希望校には体力テスト測定員を派遣 ・体力テスト測定員登録台帳の管理 ・市内各学校の派遣要請受付 ・測定員への謝金・交通費等支払業務 | | | |
| 課題・問題点 | | | | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から、全校を対象に全種目を測定することとなったため、派遣人員を増やす必要が生じ、測定員の確保及び日程調整等に苦慮している。 ・測定員を派遣するスケジュールの関係で、実施時期に差が出てしまう。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自分の体力・運動能力を把握し、運動習慣や生活習慣の見直しが図れるようはたらきかけを行う。 ・教員に対して児童生徒の興味・関心を高める体育の授業づくりや指導方法の工夫について指導助言を行うとともに、講習会などの情報を周知し、啓発活動を行う。 ・家庭に対して児童生徒の調査結果を通知したり、啓発資料を配付するなどはたらきかけを行う。 ・地域における体育・スポーツにかかるイベント等の情報を発信し、児童生徒が運動に親しむ機会の提供に努める。 ・運動施設や用具の充実を図り、運動環境を整える。 ・教育委員会ホームページ上に本市の調査結果を公開し、市民への周知を図る。 ・平成27年度の測定結果を踏まえ、小・中学校の体育授業において体力向上の取組を実践する。 ・測定員養成講習会を継続し、派遣体制を強化するとともに、派遣についてより効率的、合理的な方法を検討する。 | | | |

| | | | | | |
|--|---|------------------|----------------------|-----------|-----------|
| 事業コード 825(832) | 事業名 学校防犯対策強化事業 (こども110番・安全マップ) | 担当部 市民自治部・教育部 | 担当課 防犯交通安全課・教育指導課 | | |
| 事業目的 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する | | 変更(ある場合) | | | |
| 事業内容 ・子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、昼間在宅されているお宅やお店にこども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に行い、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | 地域安全マップ指導員養成講座の開催 | | | | |
| | 実施 学校における地域安全マップ作りの推進 | | | | |
| | 実施校数 2校(延べ15校) | 2校(延べ17校) | 2校(延べ19校) | 2校(延べ21校) | 2校(延べ23校) |
| 予算額(千円) | 922 | 889 | | | |
| 決算額(千円) | 789 | | | | |
| 執行率(%) | 85.6 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を開催した。 学校における地域安全マップ作りを2校行った。 | H27年度の 総合評価 | 評価 B | 次年度 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | 評価の理由 | | | | |
| こども110番事業について ・こども110番 全体掲示件数5,043件 新規掲示件数131件 昼間在宅されているお宅やお店に、子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として掲示いただいている。 地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について ・今年度は小・中学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。 学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は大鋸小学校、鶴沼小学校で行った。サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き、『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。 | 取組計画どおりの執行を行ったため。 | | | | |
| | 今後の方向 | | | | |
| | 引き続き ・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校ずつ行う。 | | | | |
| | H28年度事業計画 | | | | |
| | ・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催。 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 | | | | |
| 課題・問題点 | 平成28年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について ・子ども110番については市民センター等と協力し、掲示協力いただけるお店や個人に掲示を依頼する。 ・夏季休業中に教職員対象の地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を開催し、受講者は各校における推進役を担う。 ・学校における地域安全マップ作りを2校で行う。その際にはサポートスタッフとして地域安全マップ指導員養成講座を受講した地域の方々の協力を仰ぐ。 | | | | |

3 評価委員会からいただいたご意見及び今後の方向性

1 4 3 八ヶ岳野外体験教室の充実事業

【ご意見】

市立学校55校が普通の学校教育環境とは異なる、八ヶ岳という大自然の中で行う野外体験は、子どもたちの個性や自主性・創造性を養うには大変貴重な場であり、施策の柱や基本方針に対して大切な事業だと思う。

自然体験活動による「児童生徒の自主性や創造性の伸長」を促進するために、各学校との連携を十分に図り、年間の計画をたて、それぞれの教育目的に応じた教育活動の提供など、豊かな心と身体を育む教育に資するところがあると思う。

体験活動にともなう事前の打ち合わせや危険対策なども行われており、充実した教育活動を推進していると思う。

小学校5年生での体験、中学1年生での体験、同じ場所での体験でもそれぞれ得られるものがあり、藤沢市の子どもたちにとって大変貴重な、また思い出に残る体験となっているようだ。

八ヶ岳野外体験教室の様子を伝えたり、学校利用以外の利用者の拡大を図るための情報提供も積極的に行ったりと、引き続き多くの方に取組が伝わるよう周知をしていって欲しい。

中長期修繕計画に基づいて施設の修繕に取り組んでいただき、安心して利用できる野外体験教室事業を継続して展開していただきたい。

維持費の高さが若干気になる。一般の利用者を増やすことにより、少しでも維持費を回収する方向に動くことを期待する。幸い、稼働率に余裕があり、今後は一般市民に利用を働き掛ける方向に向かっているとのことなので、その方向に進めていくとなお良い施策になると思う。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】学校教育企画課

- ・引き続き、各学校の目的にあった有意義な学習活動が展開され、大自然の中で児童生徒の自主性や創造性の伸長が促進されるように、教育施設としての充実を図り、また、学校の要望にあった全体説明会、事前打ち合わせを実施していきたいと考えます。
- ・広報やホームページ、チラシを活用し定期的な情報発信を継続していく中で、学校、団体、一般市民への施設及び体験活動の情報提供を行っていきます。
- ・事業費については、これまでも検討を重ね、可能な限り削減に努めてきました。今後もさらに指定管理者と連携する中で検討を行っていきたいと考えます。

3 3 9 中学校給食施設整備事業

【ご意見】

神奈川県は全国的に中学校給食普及率が低いこともあり、今後積極的に進めていくべき事業で、本当ならばもう少し早いペースで導入を進められることが理想だが、予算に限

りがある状況では仕方がないことと思う。既定の方針通りに、着実に推進していただきたい。

小学校給食と同じ基準で作られた給食であれば、安心して食べることができ、コストもおさえられ、安価で食べることができるため、実施校が増えればより多くの家庭の利用が見込まれる。

献立におけるメニューの名前の工夫、地産地消の促進、一日単位での予約システムなど、給食利用の取組を進め、栄養教諭を中心にした食育を推進することは学校の環境整備に資するところがあると思う。

家庭からのお弁当持参とデリバリー方式給食の選択制や、開始後に生徒、保護者、職員へのアンケートを実施し、検証・確認し、設備導入においても夏季期間を考慮するなど、確実な実施に向けた取組をしていると感じた。更なる充実を図っていただきたい。

配膳や喫食の時間などの検証ポイントを、試行間もないうちからアンケートを元に検証し、「量が少ない」などの意見にもすぐに対策を講じる姿勢はとてすばらしいと感じた。お弁当文化との共存を図りつつ、アンケート結果を反映させるかたちで、児童生徒の食習慣の育成と安心した学校生活を送るための食の環境整備を推進してほしい。

昼食時間が15分しかないという状況はどうなのかと思う。教育の場ということであれば、可能ならもう少し時間があってもいいと思う。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】学校給食課

- ・中学校給食につきましては、今後も計画的に進めていきます。安全・安心、地産地消に努めた給食の提供を引き続きおこない、生徒・教員・保護者から意見を伺いながら創意工夫を重ねていきます。食育につきましては、現在小学校を中心に進めておりますが、今後は中学校についても内容を検討しながら、生徒に食の大切さを訴えていきます。
- ・昼食時間につきましては、配膳時間の短縮を図っていきます。

4 2 2 総合市民図書館市民運営事業

【ご意見】

業務委託された NPO 法人による辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営業務は、専門性のある市民スタッフが運営することにより、施策の柱に寄与していると思う。貸出・レファレンス、おはなし会、医療機関との連携・展示などの地域の特徴を生かした図書館運営が、NPO法人による運営と市民図書館との連携によって実現されているとわかる。

今後の対応にもあげられている「多様化する市民ニーズを把握すること」と4館共通の観点からの「図書館の運営状況の検証」が連動することによって、新しい図書館運営のあり方につながると思う。

今後も、さらに質の高い図書館サービスとして、例えば、どのようなカテゴリーの本がよく借りられているかなど、市民の声を聴く方法を多様にとりながら、市民運営の自主性にもとづく独自の企画や地域に密着した企画、様々な年齢の人に応じた多様な学びの

実現と生活の豊かさに資するような取組に期待している。

NPO法人と総合市民図書館との連絡会議を実施し、情報共有ができていることにより、施策の柱や基本方針に対して大切な事業だと思う。多様化する市民のニーズ対応できるように事業の充実をお願いしたい。

貸出件数の目標と実績に大きな乖離が見られるという問題については、今後議論を進めていただきたいと思う。情報をネットから検索できる状況で、紙の書籍の貸出実績が低下する流れは、もはや避けられないものと考えられる。そのような中で、どのような考え方に基づいて数字としての目標設定を行うのかは、大変難しい問題と考える。この情報化社会の中での図書館のあり方を考える上での一つのきっかけとなってくれたらと考え、大いに期待している。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】総合市民図書館

- ・ 辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館のNPO法人による運営は、地域に密着した円滑な運営が行われてきていますが、今後も引き続き運営状況の検証を行うとともに、総合市民図書館との連携を図りながら、市民ニーズに対応した図書館サービスの充実に努めていきます。
- ・ 目標値として設定している貸出件数が、電子媒体の普及等に伴い、実績と乖離している点については、現状を十分に把握し、適切な取組目標の設定を検討していきます。

4 2 6 子ども読書活動推進事業

【ご意見】

基本方針および施策の柱と照らし合わせて、本事業は目標も適切であるとともに、十分に成果が出ていると考える。

団体貸出による、外部との連携事業の充実による貸し出し回数の増加が、当初計画を上回っている点は、評価に値するものと考ええる。

子どもの読書環境の整備の一環として、学校図書館、とりわけ学校図書専門員との連携が円滑に図られており、施設団体への団体貸出回数が目標を上回るなど、子どもの読書活動推進に大きく寄与していると思う。

各学校の図書室では思わず手に取りたくなるような魅力ある本の紹介やディスプレイがされていたり、多くの子どもたちが利用する子どもの家や児童館では充実した冊数の本が置かれていたり、藤沢市全体が、子どもたちの読書活動の推進に力を入れていると感じている。

今後も、施設団体への団体貸出とともに、子どもからみて本の大切さや意義を経験できるような、生活とむすびついた本とのかかわりを提供することなどにより、事業目的にもある「子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かにするための読書機会の充実」が増すことを期待している。

ブックスタート事業の実施や、学校や子どもに関わる施設・団体等への貸出を積極的に取り組むなど効果が上がっていると感じる。継続して事業の充実に取り組んでいただき

たい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】総合市民図書館

- ・今後も、「すべての子どもが本に親しむことができるまち ふじさわ」をめざし、図書館資料の団体貸出がより多くの学校及び子どもに関わる施設・団体等に利用されるよう周知及び資料の充実に努めるとともに、さまざまな施設や場において子どもの読書活動が推進されるよう、本や読書に親しむことのできる機会の充実を図るための事業等に取り組んでいきます。

5 1 6 アートスペースの整備・運営事業

【ご意見】

基本方針および施策の柱に合致した事業であり、特に、藤沢市とゆかりのある芸術家の掘り起こしをし、職員も配置されて色々なことを考えていて、生きた運営をしているという印象をもった。

若手芸術家等の創作活動の支援、美術鑑賞の機会の提供、美術作品展示・発表及び美術学習の場を提供、レジデンスルームを設けるなど、藤沢市の美術振興の発展につながる事業だと思う。

供用開始以降平成27年度中の概ね半年で、来館者数が約5,500人であり、これはなかなかの数字だと思う。

地域に根ざした文化芸術活動の推進として、藤沢（湘南）ゆかりの若手作家を支援することだけではなく、地元の声を拾いながら、多様な方法で広報活動を行うなど、市民の生活にアートを提供し根づかせようとする取組は、全体として市民と芸術のつながりを推進することに資するところがあると思う。

神台公園が引き続き会場として使えるようであれば、屋外での芸術作品の展示も続けていただきたい。活動する若手芸術家、学生等の展示機会を増やすことにより、多くの子どもたちにも興味を持ってもらえるのではないかと思う。

今後も市民が多様な形で参与することのできるアートの展開、藤沢ゆかりの芸術家の支援、各種学校との連携、藤沢市の地理や市民生活と関連の高い企画などを実施することにより、アートを通じた豊かな生活にかかわる事業が推進されることを期待している。

浮世絵館とともに、美術学習の場としての充実にも期待している。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】文化芸術課

- ・藤沢を中心として湘南地域で創作活動をしている若手芸術家の支援に繋がる企画展を引き続き開催するとともに、市民に身近な場所での美術鑑賞の機会の提供、ワークショップ、美術講座等、体験的、学術的な美術学習の場を提供します。また、辻堂周辺の公共的施設を利用した作品の展示、全国公募による制作展覧会、著名な作家の展覧会等の開催及び、美術系大学・高校や小中学校等の教育機関や他市の類似施設と連携する事業展開も視野に入れながら、施設の知名度をさらに高め、本市の美術の振興を図っていきます。

5 2 8 (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業

【ご意見】

街道筋の整備ときれいにリンクした形になっていて、エリア全体が一つのプランに基づいていると感じ、構想がよく練られているなどと思った。

「ふじさわ宿交流館」が整備・運営を開始された事により、広く藤沢宿の歴史・文化・なりわいを訪れる人に紹介したり、交流の場を提供できたりするなど、大変楽しみな事業だと思う。

市民の来館者数を増やすだけでなく、近隣の団体や商業施設と連携を取ることで、市外問わず多くの来館者が見込めると思う。

お弁当の取組や駐輪スタンドの設置など、交流館の利用を促進する取組も進められており、地域の活性化につながることを期待している。

今後も、広報活動などを広く行うことや地域住民との連携により、さまざまな年代に応じた学びの機会を提供し、交流館としての役割を果たすと同時に、伝統芸能の発表の場としての多目的ホールの利用プラン、地域住民の会議室、学習の場としての利用を含め、「歴史の継承と文化の創造」として資料の整理や展示の充実に期待している。

10代の子どもたちにとって面白そうな展示があれば、学校利用などが増えてもっと良くなるのではないかと思う。また、展示中のシミュレーションソフトも見せ方を工夫すると、さらに面白くなると思った。

藤沢宿の様子が見える浮世絵を展示した藤澤浮世絵館と連携を取りながら、訪れた人が藤沢宿をより分かりやすくイメージできるような運営をしていただきたい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】郷土歴史課

・地域住民や民間事業者等で構成された「ふじさわ宿交流館運営協議会」を中心に様々な団体等と連携しながら、藤沢宿の歴史や文化をわかりやすく伝える工夫をするなど、より多くの方に来ていただける運営を行っていきます。

6 2 1 子どもの体力向上対策事業

【ご意見】

「体力・運動能力テスト」を実施するのみならず、実施結果に基づいて教育研究会で検証している点、学校単位で分析を行うための材料を提示している点、「体力運動能力調査記録カード」や「生活習慣診断ソフト」を使用して個人に対する啓発を行っている点が良い点であると考えます。

市内小中学生を対象とした体力・運動能力テストの実施は、子どもたちが結果を元に自分の体力や運動能力を知り、体力向上を意識させる事業として、施策の柱に寄与していると思う。

今後も、児童生徒の実態に応じた体力向上プログラムを実施するために、測定の継続と同時に、測定結果を反映した学校独自の取組の提案、児童生徒一人ひとりが自分の特性

を把握し、生活習慣とつなげた体力運動能力の向上を進めることに期待しています。効果や成果の評価や課題問題点の整理について、実施したことでどのようなことが明らかになったか、学校単位で分析を行っているとしたら、どのような実例があるのかなどが明らかになっていると、さらに良い評価ができると思う。

学校、家庭、地域の方たちが今の子どもたちの現状を知ること、体力向上を目的としたスポーツイベント等を企画するきっかけになるかと思う。

測定員の確保、スケジュール調整については、より多くの方に興味を持ってもらえるよう、現在行っている広報・ホームページでの掲載のほか、各校の保護者やスポーツ団体等に測定員養成講習会のお知らせや、様子を載せたものを配布するなど、発信する方法を増やしてみたらどうかと思った。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】スポーツ推進課・教育指導課

[スポーツ推進課]

- ・ご意見をいただいた実施結果に基づいて教育研究会で検証している点や、学校単位で分析を行うための材料を提示している点、ならびに個人に対する啓発を行っている点など、良い点については継続し、広報周知の方法など、募集の方法や周知先などを工夫しより良い事業とするために多様な視点から取り組んでいきます。
- ・藤沢市スポーツ少年団をはじめとするスポーツ関係団体・機関と連携し、体力テストの実施結果を基にした事業に取り組んでいきます。

[教育指導課]

- ・全ての小学校5年生、中学校2年生を対象とする「体力・運動能力テスト」の実施と調査結果の分析について継続実施していきます。児童生徒の体力の向上に向けては、体育の授業への助言や、家庭に対する啓発を促すはたらきかけ、各種スポーツイベント等についての情報発信等、学校・家庭・地域と連携して取り組んでいくとともに、施設の整備や用具の拡充など、運動環境の整備に努めていきます。

8 2 5 学校防犯対策強化事業（子ども110番・安全マップ）

【ご意見】

各学校における地域安全マップ作りは、具体的な近所の危険箇所を知ることだけでなく、犯罪機会論に基づいた「入りやすく、見えにくい場所」を意識することにより、犯罪が起こりやすい環境を自ら避けるといった危険認識を高めることができるため、施策の柱に寄与していると思う。

子どもたちが住んでいる地域の環境を学ぶことにより、防犯意識を醸成することは重要だと思う。

本事業は、地域との連携が非常に重要であり、その意味ではコミュニティづくりの側面もあると思う。

実際に学校に出向き作成される、子どもたちから見た地域安全マップ作りは大変意味のある事業だと思う。

今後も、子どもの安全を守るための環境整備を進めていただきたいと思います。合わせて、学校安全担当者会の開催が子どもの危機回避能力育成を向上させる具体的な実践のサポートまでを含めた役割を担うことや、より多くの地域住民や保護者も危険な場所を読み取る力が養われること、サポートスタッフを拡大すること、これらによって地域全体での環境整備を推進していくことを期待している。

地域安全マップ作りには、作る過程に意味があるとのことだが、実施校が毎年2校程度ということは、杓子定規に考えれば、35校のうち毎年2校程度に対してしか施策の効果が及んでいない理屈になる。

今後は、実施済みの学校が、その後この取組を実施したことをどのように活かすのかに注目して、施策を進めるなり評価をするなりしていけば、何らかの効果が出る、あるいは効果が出ていることが証明されるのではないかと思う。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】教育指導課

- ・子どもの危機回避能力を育むための犯罪機会論に基づく地域安全マップ作りについては、学校安全担当者を対象に研修を実施し、担当者から各校において伝達する中で全ての教員に周知を図っていきます。また、サポートスタッフを活用してのモデル実施については、今後も年間2校以上を目途に実施していきます。

第 2 部

藤沢市教育振興基本計画進行管理

評価の基準

A：目標を上回った

B：(概ね)達成した

C：やや達成できなかった

D：目標を下回った

E：H27年度に統合・終了・廃止

F：H27年度以前に統合・終了・廃止等

| | | |
|--|---|---|
| 基本方針 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します。 | | |
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全26事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> | |
| | <p style="text-align: center;">確かな学力の向上(3事業) 指導主事による学校訪問や授業研究を通じて、学校現場の支援を図ると共に、外国語指導講師による英語の授業や外国につながる子どもたちの日本語学習を実施し、児童生徒の学力の向上に寄与した。</p> | |
| 教育指導課 | 111 教育課程推進事業 | B |
| 教育指導課 | 112 国際教育推進事業 | B |
| 学校教育企画課 | 113 学校ICT機器整備事業(情報教育) | B |
| 主な取組と成果 | ・指導主事による授業研究や教育課程推進のために必要な教材教具の整備を行った。(111) ・日本語指導員においては、単に日本語を教えるだけでなく、外国につながる子どもたちの学校生活での困りごとなどを解決する一助となった。(112) ・「藤沢市教育情報化推進計画」をH27年2月に策定した。(113) | |
| 課題等 | ・道徳や小学校外国語についての教科化に向けた、学校における授業研究の推進が必要である。(111) ・外国語活動の授業に対して、担任の苦手意識がまだ強いと思われる。リーダー研修を受けた教員が学校で伝達講習を行っているが、十分とはいえない。小学校教員が中学校での授業を見学したり、研修に参加するだけでなく、実際に授業を行いながら研鑽する必要がある。(112) ・研修内容については、より授業で活用しやすい実践的な内容とすることで、参加人数を増やし、授業での活用がより広がるように年度ごと改善に努める。(113) | |
| 施策の柱 | <p style="text-align: center;">熱意と指導力のある教員の養成(2事業) 教職員の経験年数に合わせた研修を実施すると共に、教育文化センターにおいて、研究部会や研修講座の充実を図り、教職員の資質と教育の質の向上に努めた。</p> | |
| 教育指導課 | 121 各教科研究研修関係事業 | B |
| 学校教育企画課 | 122 教育文化センター研究研修事業 | B |
| 主な取組と成果 | ・20年経験者研修に替わり、新規に、ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。(121) ・研究部会(全110回)、研修講座(一般研修7講座、専門研修66講座)、土曜研修講座11回、第11回学習意識調査の実施、集計・分析(122) | |
| 課題等 | ・新規に実施したミドルリーダー研修(12年経験者研修)については、H28年度以降、対象者が急増するので、研修内容も含め、研修会の持ち方を検討する必要がある。(121) ・今日的な教育課題や現場のニーズの把握に努め、さらなる研究・研修の充実を図るとともに、研究成果のより一層の活用も検討してしていく。(122) | |
| 施策の柱 | <p style="text-align: center;">開かれた学校づくりと信頼される学校経営の推進(1事業) 指導主事による計画訪問や学校訪問、学校問題解決支援員による学校支援等を実施することで、学校現場が抱える課題の解決を図った。</p> | |
| 教育指導課 | 131 教育指導事務事業(計画訪問・要請訪問) | B |
| 主な取組と成果 | ・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)(131) | |
| 課題等 | ・学校が抱える諸問題や、対応ケースの複雑化。(131) | |

| 施策の柱 | 豊かな心と健康な身体を育む教育の推進(7事業) 児童支援担当教諭を配置し児童支援・指導体制の構築と充実を図った。また、人権・環境・平和教育や野外活動を通じて、豊かな心と健康な体を育む教育を推進した。「藤沢市子どもをいじめから守る条例」を施行した。 | |
|----------------|---|---|
| 教育指導課 | 141 人権・環境・平和教育関係事業 | B |
| 教育指導課 | 142 児童生徒指導関係事業 | A |
| 学校教育企画課 | 143 八ヶ岳野外体験教室の充実事業 | B |
| 学校給食課 | 144 学校給食をとおしての食育推進事業 | B |
| 環境事業センター | 145 環境教育推進事業 | B |
| 教育指導課 | 146 いじめ暴力防止対策事業 | B |
| 人権男女共同参画課 | 147 人権施策推進事業 | B |
| 主な取組と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・セクシャルマイノリティに関する講演会を行った。(141) ・児童支援担当教諭配置を12校で試行。協議会を7回・研修会を5回開催し情報交換や危機管理などの研修を行った。特に、保護者対応については外部講師を招聘し研修を実施。(142) ・藤沢市立学校55校の学校利用があり、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばすことができた。中でも中学校7校は冬季利用で冬の大自然を体験し、厳しい自然の中で藤沢では得られない体験をした。(143) ・学校給食におけるアレルギー対応は、H27年度から全学年において「食物除去の指示書」の使用をもって実施することとした。(144) ・ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することで、ごみの分別等の意識の向上が図られた。保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施した。 コミュニケーションロボット【バルロ】を3園で使用。 着ぐるみを使用した寸劇での説明。(145) ・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」をH27年4月1日施行し、6月30日には条例制定記念講演会を開催した。(146) ・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」を施行し、条例制定記念講演会を実施したほか、条例解説のリーフレット・ポスター等を作成し、条例の周知・いじめ防止の啓発を行った。(147) | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権・環境・平和の研修により、担当者に意識の啓発を行った。新採用職員も多いため、今後も一定期間、研修については継続して行う必要がある。(141) ・課題のある児童生徒の家庭環境等に対する支援を、効果的に行っていくこと。(142) ・藤沢市の児童生徒の体験活動施設としてだけでなく、近隣他市町の児童生徒が団体利用できる体験活動施設として認知してもらうために、施設に関し関係者への周知が必要。(143) ・「食に関する年間指導計画」は、学校ごとに作成し、授業等を通して学年に応じた食育の指導を行った。各学年で指導する内容の基本は統一する必要があると考える。(144) ・ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。(145) ・いじめ相談ホットラインにかかってくる相談者の特定が難しく、特定できた際にも、相談者の思いを上手く学校に伝えられない場合がある。また、目的外利用と思われる相談者もいる。(146) ・教育委員会と市長部局が連携して子どもをいじめから守る取組の強化のあり方(147) | |

| | | |
|--------------------|---|----------|
| <p>施策の柱</p> | <p>一人ひとりのニーズに対する教育の推進(5事業) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、介助員、学習指導員等の学校への派遣や情報交換等の場の提供により、支援を必要とする児童・生徒の個別のニーズに対する教育の推進に努めた。</p> | |
| <p>教育指導課</p> | <p>151 特別支援教育推進事業</p> | <p>B</p> |
| <p>教育指導課</p> | <p>152 学校教育相談センター事業</p> | <p>B</p> |
| <p>教育指導課</p> | <p>153 児童生徒指導関係事業</p> | <p>B</p> |
| <p>教育指導課</p> | <p>154 教育指導事務事業(学習指導員による補修授業)</p> | <p>B</p> |
| <p>子ども家庭課</p> | <p>155 こども発達支援事業</p> | <p>B</p> |
| <p>主な取組と成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学校に、介助員を派遣し、又、医療的ケアが必要な児童生徒に対して、学校看護介助員を派遣することで、特別の支援が必要な児童生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう支援を図った。(151) ・スクールカウンセラーの配置を、小学校の大規模校5校については2日、8校については1.5日の配置とした。(152) ・『おしゃべり広場』の回数を4回に増やしたことで、1回の参加人数が少なくなり、本来の目的である保護者が「おしゃべり」をしやすい雰囲気生まれた。(153) ・全中学校での実施が3年間続き、補習授業の指導体制が整ってきた。放課後、定期的に学習できる場があることで、基礎的な学力を定着させる機会となった。(154) ・障がいのある、または特別な支援が必要な子どもに対して、ライフステージの変わり目となる年長児のタイミングや就学相談の中で、子どもサポートファイルを配付した。(155) | |
| <p>課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な支援が必要な児童生徒が増えていることから、各学校や児童生徒の実態に合わせて、必要な支援を行うことができるよう、有効な方法を検討する必要がある。(151) ・児童生徒が家庭や地域等自分の力だけでは解決できない課題を抱え、学校だけでは対応が困難なケースが増加しており、福祉的支援を含めた家庭環境への支援を行うスクールソーシャルワーカーの増員が急務である。(152) ・進路情報に関する保護者のニーズが高い。(153) ・年間を通して計画的な支援ができるように、学習指導員を確保する。(154) ・子どもサポートファイルの必要性について、保護者のみでなく、支援者や協力者にも広く周知する。(155) | |
| <p>施策の柱</p> | <p>子どもと社会をつなぐ教育の推進(8事業) 職業講座や職業体験などを実施し、児童・生徒の職業に対する意識を高めることができた。また、困難を抱える若年者に対して自立支援や就労支援を実施した。</p> | |
| <p>教育指導課</p> | <p>161 教育課程推進事業(キャリア教育)</p> | <p>B</p> |
| <p>産業労働課</p> | <p>162 技能職体験事業(学校訪問・職場体験実施)</p> | <p>B</p> |
| <p>産業労働課</p> | <p>163 障がい者就労支援事業(特別支援学校就労体験)</p> | <p>B</p> |
| <p>産業労働課</p> | <p>164 若年者就労支援事業(若者しごと応援塾; ユースワークふじさわ)</p> | <p>B</p> |
| <p>生活援護課</p> | <p>165 自立支援推進事業</p> | <p>B</p> |
| <p>生活援護課</p> | <p>166 自立支援推進事業(就労支援)</p> | <p>B</p> |
| <p>福祉総務課</p> | <p>167 生活困窮者自立支援事業(就労準備支援)</p> | <p>B</p> |
| <p>青少年課</p> | <p>168 子ども・若者育成支援事業</p> | <p>B</p> |
| <p>主な取組と成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を実施し、児童生徒の職業に対する意識を高めることができた。(161) ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育や社会の授業の一環として藤沢市内の小・中学校で技能職体験事業を実施した。(162) ・H27年度受入生徒数 6月藤沢養護学校13人、白浜養護学校3人 10月横浜ひなたやま支援学校4人、藤沢養護学校、16人(6月の受入生徒と重複有)(163) ・若年者就労支援事業受付数(199人)(164) ・自立支援推進事業による支援件数は生活保護受給世帯43世帯、生活困窮世帯3世帯で、この支援により就労準備支援事業所の同行支援等から就労開始や、保護者の求職活動開始につながった。(165) ・H26年12月に生活援護課に隣接する場所に設置したハローワークの常設窓口である「ジョブスポットふじさわ」や就労支援相談員、就労準備支援事業を活用・連携し、ケースワーカーが社会環境、経験やスキル等を総合的に考慮するなど、個別の寄り添い型の就労支援・就労準備支援を実施した。(166) ・就労に結びついたケース数2名、就労体験を行ったケース数9名、職場開拓・労体験先開拓数8団体11事業所(167) ・困難を有する若年者やその家族に対して、適切な支援を受けられるよう、福祉や保健等といった機関への引き継ぎを行うなど、社会的自立に向けた支援としての第一歩につながることができた。(168) | |

| | |
|------------|---|
| <p>課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習の体験先の確保。(161) ・実施希望時期の偏り。(162) ・労働会館が閉館したことに伴い、生徒の受入場所の確保が課題である。(163) ・地域の関係機関等とのネットワーク構築(164) ・支援件数の増加に伴い、連携する関係機関も増加し、訪問等直接的援助のみならず、カンファレンス等の間接的な援助時間も増加しているため、学校やスクールソーシャルワーカー等をはじめとした関係者の理解を深め、連携強化を図っていく。(165) ・希望職種と求人との乖離(166) ・支援対象者の早期発見をするために事業の周知の方法を検討する。(167) ・自立に向けた体験等の場の確保(168) |
|------------|---|

| 基本方針 家庭教育・幼児教育・地域教育力の支援・充実を図ります | |
|---------------------------------|--|
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全17事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> <p style="text-align: center;">0 2 4 6 8 10 12 14 16</p> |
| | <p>施策の柱</p> <p>家庭における教育力の向上(5事業)</p> <p>地域子育て支援センターやつどいの広場の運営により、子育てに関する情報提供、相談を行うと共に、「思春期講演会」「SNS講演会」等の開催を通じて、家庭における教育力の向上に努めた。</p> |
| 子育て企画課 | 211 地域子育て支援センター事業 B |
| 子育て企画課 | 212 つどいの広場事業 B |
| 青少年課 | 213 放課後児童健全育成事業 B |
| 子ども健康課 | 214 母子保健事業 C |
| 学校教育企画課 | 215 学校・家庭・地域連携推進事業 B |
| 主な取組と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろばの開催・相談・情報提供・講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実を図ることができた。(211) ・地域において、主に乳幼児とその家族が交流できる場を提供し、子育てに関する相談・情報の提供・講習等を行うことで、子育ての不安等が軽減された。(212) ・H27年3月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、8カ所に放課後児童クラブを新設した。(213) ・思春期の子どもたちの特徴や課題を理解するため、思春期の子どもへの保護者だけでなく、思春期の子どもを支える学校職員、養護教諭、母子保健従事者なども思春期の子どもへの関わり方を学ぶことで、よりよい関係を築くことを目的として講演会を開催し、参加者から「講演内容が良かった。」「子どもとの関わり方の参考になった。」など好評を得た。(214) ・地域協力者会議で「SNS講習会」や「国際親善いどばた会議」「子どものお金教育」等、家庭教育力の向上につながる講演会を実施した。また藤沢市PTA連絡協議会が講演会実施し、子育てや日常の人間関係に活用できる言葉がけについてPTA会員が学ぶことができた。(215) |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・孤立感を持つ母親に対する支援策として、子育て支援センターの機能強化に併せ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を図るため、さらなる周知を行い、南・北保健センターとの連携による子育て支援センターの利用拡大にも努める。(211) ・子育て支援センターとの連携を図り、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談を充実させる。(212) ・放課後児童クラブ整備計画の計画期間5年間において、みらい創造財団と十分協議しながら、待機児童の多い小学校区から優先的に施設整備を行っていく。(213) ・講演会：地域でも思春期保健に関する講演会が実施されている現状があり、母子保健で行う思春期健康教育については、保護者や関係者で見守れる関係づくりなど、地域づくりの視点で計画できるよう工夫が必要である。(214) ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業に、より多くのPTAが参加できるように工夫する。(215) |

| 施策の柱 | | 幼児教育の推進(5事業) |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 保育課 | | 2.2.1 幼稚園協会等補助金事業 B |
| 保育課 | | 2.2.2 幼稚園等就園奨励費補助金事業 A |
| 保育課 | | 2.2.3 幼児教育振興助成事業 A |
| 保育課 | | 2.2.4 幼稚園等預かり保育推進事業 B |
| 教育指導課・保育課 | | 2.2.5 幼稚園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校連携推進事業 B |
| 主な取組と成果 | <p>・年度当初(4月1日)に補助金交付決定を行い、6月、10月、2月の年3回に分けて、交付決定額の1/3ずつ補助金を支出した。(221)</p> <p>・保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成した。(222)</p> <p>・10月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。(223)</p> <p>・私学助成対象幼稚園が実施する預かり保育について、実績に応じて補助金を交付した。また、施設型給付幼稚園が実施する一時預かり保育に対しては業務委託を行った。(224)</p> <p>・幼、保、小、中、特別支援学校の職員を対象に合同研修会を行い、連携の必要性や課題、具体的な実践等についての講演を聞き理解を深めた。また、地域協力者会議の代表の方々を招き、地域・家庭・学校の連携活動を紹介した。(225)</p> | |
| 課題等 | <p>・補助金交付を目的とする事業であり、基本的には毎年度執行率は100%となることから事業としての評価が困難である。(221)</p> <p>・国庫補助対象事業であり、国が「幼児教育の無償化に向けた取組を段階的に推進する。」としていることから、国の動向に注視する必要がある。(222)</p> <p>・幼稚園における預かり保育の長時間化については、施設側の理解と協力が不可欠であるが、制度内容がまだ十分に浸透しておらず、また年度当初は利用者数を見込みで算出せざるを得ないため、年度末に補助金の変更交付や変更契約が必ず必要となる。(224)</p> <p>・行事の交流や教職員の情報交換などが中心であるため、連続的な学びという視点で教育活動や指導に生かすところまでには至っていない。(225)</p> | |
| 施策の柱 | | 地域における教育力の向上(4事業) |
| 子育て企画課 | | 2.3.1 子育てふれあいコーナー事業 B |
| 子育て企画課 | | 2.3.2 地域子育て支援センター事業 B |
| 子育て企画課 | | 2.3.3 つどいの広場事業 B |
| 学校教育企画課 | | 2.3.4 学校・家庭・地域連携推進事業 B |
| 主な取組と成果 | <p>・「あいあい」は地域子供の家17か所、児童館4か所、計21か所で月1回(3・4・8月は休み)実施した。また、「きらきらぼし」は藤沢・八松・湘南台子どもの家にて、週1回(8月は休み)実施した。年間99日実施(231)</p> <p>・子育てひろばの開催・相談・情報提供・講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実を図ることができた。(232)</p> <p>・地域において、主に乳幼児とその家族が交流できる場を提供し、子育てに関する相談・情報の提供・講習等を行うことで、子育ての不安等が軽減された。(233)</p> <p>・地域協力者会議で「家庭科ミシン補助」「畑作り支援」「学校別ふれあい事業」「アジサイまつり」「郷土の散策」等、学校支援や、地域住民と子どもたちが世代を越えてふれあう事業を実施した。(234)</p> | |
| 課題等 | <p>・子育てボランティア数は増加しているが、ボランティアが少ない地域の募集の周知に努める。(231)</p> <p>・孤立感を持つ母親に対する支援策として、子育て支援センターの機能強化に併せ、妊娠期から子育て期にわたるま切れ目ない支援を図るため、さらなる周知を行い、南・北保健センターとの連携による子育て支援センターの利用拡大にも努める。(232)</p> <p>・子育て支援センターとの連携を図り、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談を充実させる。(233)</p> <p>・より多くの市民に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。(234)</p> | |

| | | |
|-------------|---|---|
| 施策の柱 | 教育機会の均等保障(3事業) 経済的負担の軽減を必要とする世帯に対して、学用品費等の援助や子ども学習支援を実施することで、教育機会の均等保障を図った。 | |
| 学務保健課 | 241 要保護準要保護児童・生徒援助事業 | B |
| 福祉総務課 | 242 生活困窮者自立支援事業(学習支援) | B |
| 生活援護課 | 243 自立支援推進事業 | B |
| 主な取組と成果 | ・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。(241) ・子どもの学習支援事業【北部】参加延べ人数:527名(平均参加者数:7名)、中学卒業後進路状況進学率100%(対象者9名)(全日制:2名、定時制:5名、通信制:1名)、課外事業(全4回)【南部】参加延べ人数:3,274名(平均参加者数:21名)、中学卒業後進路状況進学率100%(対象者16名)(全日制:11名、定時制:4名、通信制:1名)、課外事業(全3回)(242) ・教育支援(子どもの学校生活・進路等に関する支援)は62人で、この支援により、不登校児童・生徒の登校や高校進学、高校中途退学防止に取り組み、将来に夢と希望を持った進路選択に向けて支援した。(243) | |
| 課題等 | ・子どもの学習支援事業のあり方についての検討。(242) ・支援件数増加に伴う、支援員の対応時間増。(243) | |

| 基本方針 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります | |
|-------------------------------|---|
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全16事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> <p style="text-align: center;">0 2 4 6 8 10 12 14</p> |
| | <p>学びを支え質の高い教育環境の整備(4事業) 学校図書館の整備や通級指導教室の開設準備、特別支援学級の増設工事、小学校校内LAN設置の技術的ノウハウの蓄積、小学1年生対象の市費講師の配置を進めるなど、教育環境の整備に努めた。</p> |
| 教育指導課 | 311 特別支援教育整備事業 B |
| 学務保健課 | 312 新入生サポート事業 B |
| 教育指導課 | 313 学校図書館管理運営事業 B |
| 学校教育企画課 | 314 学校ICT機器整備事業(教育用・校務用PC) B |
| 主な取組と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・中里小学校に通級指導教室「すまいる」を開設するために教室等の工事や準備を行った。また、大庭中学校の特別支援学級の増設工事を行った。(311) ・計画どおり小学校1年生に市費講師を適性に配置したことにより、教科を中心に生活習慣を含め、チームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。(312) ・司書教諭を中心とした学校の図書部と学校図書館専門員と図書ボランティアの役割分担や、学校図書館運営に関する活動内容や業務について、ガイドブック作成部会を中心に検討した。(313) ・無線LANを活用した小学校における校内LAN設置の技術的ノウハウを蓄積することができた。(314) |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級については、早期の全校設置を目指して、特別支援学級仕様スタンダードを見直し、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。(311) ・事故防止研修の時間の確保が課題となっている。(312) ・学校図書館専門員と司書教諭を中心とする学校の図書部との連携が、まだ十分に図られていない学校がある。(313) ・小学校パイロット校での検証における課題として、教室で映像を提示するテレビが小さすぎて、タブレットPCの良さを活かすことができなかった。(314) |
| 施策の柱 | <p>将来にわたって学べる環境整備(3事業) 学校配置の適正化を検討すると共に、校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を実施し、将来的な教育環境整備に努めた。</p> |
| 学校施設課 | 321 学校施設維持保全事業 B |
| 学務保健課 | 322 学校適正配置研究事業 B |
| 学校施設課 | 323 学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消) B |
| 主な取組と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校の外壁改修、屋上防水工事を実施、小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借(321) ・学校適正配置について、調査、研究を進めるため「藤沢市学校適正配置検討部会」を年3回開催した(5/28、9/10、12/24)。(322) ・学校施設再整備第1期実施計画を策定した。(323) |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置事業やその他の改修工事をバランスよく実施していくことが必要な状況であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。(321) ・通学区域の変更による過大規模の解消は困難な状況であり、学校に必要な施設面の確保や教職員配置の充実などの教育環境の整備が重要である。(322) ・実施した調査の結果に基づき、整備計画の具体を検討する中で、財源確保が困難な状況下で実効性のある整備をどう進めていくのか、市全体の再整備プランの中で検討、整理していく必要がある。(323) |

| 施策の柱 | | 安全・安心で快適な学校施設の整備(9事業) | |
|---------|--|---|---|
| 教育指導課 | | 331 学校安全対策事業 | A |
| 学校施設課 | | 332 学校施設環境整備事業(トイレ改修整備) | B |
| 学校施設課 | | 333 学校施設環境整備事業(空調設備整備) | B |
| 学校施設課 | | 334 学校施設環境整備事業(グラウンド等整備) | A |
| 学校施設課 | | 335 学校施設緑化推進事業(芝生化・壁面緑化) | A |
| 学校給食課 | | 336 学校給食食器改善事業 | B |
| 学校施設課 | | 337 学校施設維持保全事業 | B |
| 学校施設課 | | 338 防災対策事業(津波対策) | B |
| 学校給食課 | | 339 中学校給食施設整備事業 | B |
| 主な取組と成果 | | <p>・市内6地域20小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。(331)</p> <p>・小学校7校の改修工事を実施した。(332)</p> <p>・小学校3校の空調設備設置工事を実施した。(333)</p> <p>・小学校1校、中学校1校のグラウンド整備工事を実施した。(334)</p> <p>・小学校、中学校各1校の芝生化を実施した。また、小学校4校、中学校1校の壁面緑化を実施した。(335)</p> <p>・鶴洋小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。(336)</p> <p>・小学校1校の外壁改修、屋上防水工事を実施、小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借(337)</p> <p>・H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。また、H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。(338)</p> <p>・第一中学校、明治中学校及び六会中学校において給食の試行を開始(339)</p> <p>・H28年度以降の実施計画を策定、市議会定例会に報告(339)</p> | |
| 課題等 | | <p>・スクールガード・リーダーの人材確保。(331)</p> <p>・事業期間の短縮を求める声もあるが、財源の平準化の観点から非常に困難な状況である。(332)(333)</p> <p>・特定財源の確保(334)</p> <p>・校庭の芝生化では、芝刈り、水まき、草取り等の維持管理等が課題である。(335)</p> <p>・学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置事業やその他の改修工事をバランスよく実施していくことが必要な状況であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。(337)</p> | |

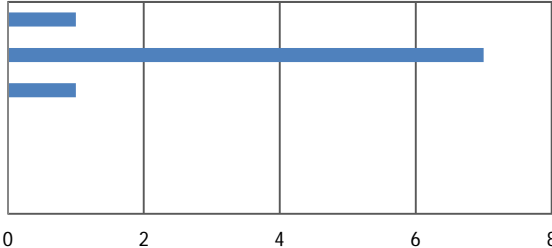
| 基本方針 多様な学びのできる生涯学習社会を目指します | |
|----------------------------|--|
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全12事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> <p style="text-align: center;">0 2 4 6 8 10 12</p> |
| 施策の柱 | <p>生涯学習の推進(2事業) 多様な学習機会や学習情報の提供、ふじさわ環境フェアの開催や環境ポータルサイトの運営により、生涯学習の推進に努めた。</p> |
| 生涯学習総務課 | 411 生涯学習推進事業 B |
| 環境総務課 | 412 地球温暖化対策普及啓発事業 B |
| 主な取組と成果 | <p>・生涯学習大学事業の「市民講師養成コース」では、「人材バンクフェスティバル」を規模を拡大して実施した。また、新たに「市民講師企画講座」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。(411)</p> <p>・【ふじさわ環境フェアの開催】入場者数:3,888人、出展団体:46団体 【環境ポータルサイトの運営】トップページアクセス数:19,434アクセス、環境クリック募金クリック数:286,448クリック 【エコライフハンドブック概要版の配布】配布先:156,000部(412)</p> |
| 課題等 | <p>・生涯学習ネットワークをさらに広げるために、生涯学習大学事業については、より多くの機関や団体と連携し、多様な学びの場を提供することが必要である。(411)</p> <p>・啓発事業は、環境意識を高めることができるものの、温室効果ガス削減量にどの程度貢献しているのか数値化することが難しい。(412)</p> |

| 施策の柱 | 多様な学びを支援する図書館活動の推進(8事業) 図書館での閲覧・貸出、レファレンス等のサービスをはじめ、障がい者、高齢者への図書宅配サービスやブックスタート事業を行うなど、図書館活動を推進した。 | |
|---------|---|---|
| 総合市民図書館 | 4.2.1 総合市民図書館運営管理事業 | B |
| 総合市民図書館 | 4.2.2 総合市民図書館市民運営事業 | B |
| 総合市民図書館 | 4.2.3 総合市民図書館整備事業 | B |
| 総合市民図書館 | 4.2.4 図書館情報ネットワーク事業 | B |
| 総合市民図書館 | 4.2.5 障がい者・高齢者への宅配サービス事業 | B |
| 総合市民図書館 | 4.2.6 子ども読書活動推進事業 | A |
| 総合市民図書館 | 4.2.7 点字図書館事業 | A |
| 総合市民図書館 | 4.2.8 新しい時代に即した「これからの図書館」推進事業 | B |
| 主な取組と成果 | ・4市民図書館・11市民図書室を開館・開室し、資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業を実施した。(421) ・NPO法人に辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。(422) ・総合市民図書館2階視聴覚ホール空調設備及び排水設備の改修工事を行った。(423) ・4館のコンピュータシステム及び機器の維持管理並びに11室のコンピュータ機器の維持管理を実施した。(424) ・延べ利用者数 2,096人、貸出資料件数 7,753件(425) ・「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定した。(426) ・点訳ボランティア、音訳ボランティアの協力により、点字図書及び録音(デジジー)図書を製作し、利用者に提供した。受入タイトル数(新規) *点字図書 14タイトル *録音(デジジー)図書 40タイトル 計 54タイトル(427) ・新しい時代に即した「これからの図書館」を考えるため、学識経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を設置した。また、検討委員会を6回開催し、検討課題として 4市民図書館11市民図書室の役割と新たな機能、南市民図書館の再整備、図書館サービス、資料の収集・保存・整理、他団体との連携、施設・設備・機能の6つを挙げ、H27年度には主に について検討した。(428) | |
| 課題等 | ・利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めているが、施設の老朽化に伴い故障や破損、不具合が発生しており、計画的に対応していく必要がある。(421) ・辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館が引き続き質の高い図書館サービスを維持できるよう、2館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能を検証していく。(422) ・各施設の状況を把握し、利用者への影響がないように、引き続き、老朽化した施設設備の修繕計画を立て、施設修繕と改修工事を行っていく必要がある。(423) ・市民ニーズの多様化や高度情報化社会に対応するため、平成30年度の図書館コンピュータシステムのリプレースに向け、新たな機能の追加として市民図書室の蔵書登録とオンラインシステム化を計画している。(424) ・市内全域の利用希望者について受入および対応可能とするためのボランティアの確保とマッチングが課題である。(425) ・「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の検証方法について検討する。(426) ・講座等については若年視覚障がい者の利用が少ないため、開催時期・内容・広報活動などについて検討が必要である。(427) ・本市の「これからの図書館」に望まれる施設・設備やサービス等について検討するために、多様化する市民ニーズを把握する必要がある。(428) | |

| | | |
|--------------------|--|----------|
| <p>施策の柱</p> | <p>多様な文化をつなげる学習機会づくりの推進(2事業) 地域の特性を生かした各種講座や公民館まつりを実施すると共に、施設整備を含めた公民館の運営を検討し、学習機会づくりの推進に努めた。</p> | |
| <p>生涯学習総務課</p> | <p>431 公民館運営事業</p> | <p>B</p> |
| <p>生涯学習総務課</p> | <p>432 藤沢公民館・村岡公民館再整備事業</p> | <p>B</p> |
| <p>主な取組と成果</p> | <p>・「公民館あり方検討委員会」による議論がまとまり、提言書「地域とともに歩む公民館を目指して」を市長に提出した。(431) ・【藤沢公民館再整備事業】庁内検討プロジェクト会議を4回実施(H27まで計14回)【村岡公民館再整備事業】村岡郷土づくり推進会議から提出された「村岡公民館建て替えに関する要望書」に対し回答を提出した。(432)</p> | |
| <p>課題等</p> | <p>・公民館が市民の学びの場であるとともに、地域課題へのアプローチや、人材育成につながるような事業を展開していく必要性が高まっている。(431) ・【藤沢公民館再整備事業】H31年度の供用開始に向け、複合化後の管理運営方法等について引き続き検討が必要である。【村岡公民館再整備事業】建設予定地周辺におけるインフラ等を始めとした課題整理等を行う必要がある。(432)</p> | |

| 基本方針 | 郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|---|----|-----|-------------|---|------------|----|----------------|---|-------------|---|--------------------|---|-----------------------|---|
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全17事業)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>A・・・目標を上回った</p> <p>B・・・(概ね)達成した</p> <p>C・・・やや達成できなかった</p> <p>D・・・目標を下回った</p> <p>E・・・H27年度に統合・終了・廃止</p> <p>F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> </div> <div style="width: 50%;"> <table border="1" style="display: none;"> <caption>基本方針 (全17事業) の評価結果</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A (目標を上回った)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>B (概ね達成した)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>C (やや達成できなかった)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>D (目標を下回った)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>E (H27年度に統合・終了・廃止)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>F (H27年度以前に統合・終了・廃止等)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> | | 評価 | 事業数 | A (目標を上回った) | 0 | B (概ね達成した) | 11 | C (やや達成できなかった) | 3 | D (目標を下回った) | 2 | E (H27年度に統合・終了・廃止) | 0 | F (H27年度以前に統合・終了・廃止等) | 0 |
| 評価 | 事業数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| A (目標を上回った) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| B (概ね達成した) | 11 | | | | | | | | | | | | | | | |
| C (やや達成できなかった) | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| D (目標を下回った) | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| E (H27年度に統合・終了・廃止) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| F (H27年度以前に統合・終了・廃止等) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の柱 | <p>芸術・文化活動の支援(7事業)</p> <p>市展をはじめとする、市民の美術創作活動の推進を行うと共に、文化芸術団体をはじめとする市民との協働により、芸術文化の人づくりや場づくりを推進するなど、地域の芸術・文化活動の支援に努めた。また、アートスペースを開館した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 511 市民ギャラリー事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 512 文化芸術振興事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 513 市民文化創造事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 514 文化活動支援事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 515 文化芸術活動広域ネットワーク事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課 | 516 アートスペースの整備・運営事業 | B | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化芸術課・総合市民図書館 | 517 文化ゾーンの再整備事業 | D | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な取組と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館サークル美術展 2015年11月24日(火)～11月29日(日)出品作品237点 入場者数1,024人、公民館サークル写真展 2014年12月1日(火)～12月6日(日)出品作品188点 入場者数709人(511) ・文化振興基金積立事業 合計17件 1,324,998円の寄付があった。(512) ・「こころの劇場」小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2015年6月25日(木)、26日(金) 4公演 演目 ミュージカル「むかしむかしゾウがきた」参加 市内37校(私立2校含む)4,198人(513) ・音楽、演劇等舞台芸術を対象とした活動を行っている個人または団体に対し、必要な経費の一部を助成し、本市の文化発展に寄与した。(514) ・湘南文化交流事業「いいね湘南!!ダンスパラダイス」日時:平成28年1月24日(日) 会場:藤沢市民会館大ホール 13時15分～16時20分 出演団体:藤沢市5団体、茅ヶ崎市5団体、寒川町5団体 合計 15団体 360人 参加者数:出演者360人 来場者850人 合計1,210人 (515) ・開館記念特別展覧会「From now on!!」の開催(第1期:10/3-11/3 参加作家:4人 第2期:11/7-12/6 参加作家:3人 第3期:12/12-1/17 参加作家:2人 *来館者数 3,277人)、企画展「まちをとらえる-記憶のドキュメント」の開催(1/23-2/28 参加作家:4人 *来館者数1,173人)、企画展「みつづけること/またみつづけること」の開催(3/5-4/10 参加作家:4人 *来館者数 1,389人 神台公園会場観覧者数 約17,000人) (516) ・(文化芸術課)基本構想策定にむけた市民アンケート調査及び利用団体ヒアリングを行い、結果がレポートとしてまとまっている。この中で、市民会館として、どの程度の施設規模とするのか、どのような機能を備えるのか、また文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設とするのかについて提案がなされている。(総合市民図書館)平成27年度は、学識経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を設置し、検討委員会6回及び先進図書館視察を行い、4市民図書館11市民図書室の役割と新たな機能、南市民図書館の再整備に当たり、求められる施設・設備・機能や図書館サービス等について検討を行い、検討委員会として中間報告をまとめた。(517) ・各事業の実行委員会において、前年度の反省点を踏まえた内容の検討を行い、入場者数等の増加に努めている。(511) ・今後の文化芸術事業のあり方について、見直しを行う必要がある。(512) ・H27年度から「こころの劇場」小学生招待事業の実施については、例年より児童数が増え、4公演での実施とし、今後も増加傾向が続くため、4公演での実施に向け劇団四季と調整を図る必要がある。(513) ・初めて申請する実績のない団体の取り扱いなど、審査に難しい面もあるなかで、文化芸術団体の多様な活動を促進しなければならない。(514) ・2市1町で組織する広域行政協議会の中の広域文化活動部会として、多彩な文化の交流を図ることのできる共通の事業を企画・検討し、実施していかなければならない。(515) ・アートスペースがある湘南C-XC2街区は、特別景観形成地区であり、広告看板等の掲出について、きめ細やかな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。(516) ・市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また、文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設としていくのか引き続き検討が必要である。(517) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・初めに申請する実績のない団体の取り扱いなど、審査に難しい面もあるなかで、文化芸術団体の多様な活動を促進しなければならない。(514) ・2市1町で組織する広域行政協議会の中の広域文化活動部会として、多彩な文化の交流を図ることのできる共通の事業を企画・検討し、実施していかなければならない。(515) ・アートスペースがある湘南C-XC2街区は、特別景観形成地区であり、広告看板等の掲出について、きめ細やかな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。(516) ・市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また、文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設としていくのか引き続き検討が必要である。(517) | | | | | | | | | | | | | | | |

| 施策の柱 | 歴史の継承と文化の創造(10事業) 文化財の登録や、古民家を活用した和楽器の演奏や紙芝居の上演、図書館での展示会などを通じて、藤沢の歴史の継承と文化の創造に努めた。 | |
|----------------|---|---|
| 郷土歴史課 | 521 歴史遺産保存整備活用事業 | A |
| 郷土歴史課 | 522 文化財保護事業 | B |
| 郷土歴史課 | 523 広域連携展示事業 | A |
| 郷土歴史課 | 524 文化財収蔵庫整備事業 | B |
| 郷土歴史課 | 525 映像資料保存公開事業 | B |
| 郷土歴史課 | 526 歴史的建造物維持活用事業 | B |
| 郷土歴史課 | 527 歴史資料公開活用事業 | A |
| 郷土歴史課 | 528 (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 | C |
| 郷土歴史課 | 529 (仮称)藤澤浮世絵館の整備・運営事業 | B |
| 街なみ景観課 | 5210 景観資源推進事業 | C |
| 主な取組と成果 | ・辻堂太平台に所在する月山堂滴水庵の主屋、待合、大門の3件、遊行寺境内の本堂、御番方、小書院、百間廊下、回向堂、宇賀神社、鐘楼、手水舎、惣門、石垣及び築地塀の10件、旧藤沢宿内の関次商店穀物蔵、肥料蔵の2件、旧稲元屋呉服店内蔵、一番蔵の2件、合わせて4箇所17件の登録ができた。(521) ・鶴沼皇大神宮人形山車修理(仲町・清水町)に対し、597,060円交付した。(522) ・名称：「絵はがきになった湘南の風景」観覧者数：3,606人(1日平均観覧者数：88人)(523) ・文化財収蔵専用の新たな施設を整備することを目指して検討を進める(524) ・所蔵フィルム(ライフタウン開発の記録映画シリーズの1)をDVD化した。(525) ・旧稲元屋の蔵の国登録有形文化財の登録にともない、公開、活用の検討をした。(526) ・常設展示室展示会：「鳥瞰図(空から見た世界)展」等5件。開催日数199日(527) ・運営、活用についての地域・関係団体等との意見交換会を2回実施した。(528) ・2月末に工事が竣工した。(529) ・補助事業実施 町家1棟 蔵2棟 修景(門塀)工事、耐震診断、外観保全工事(5210) | |
| 課題等 | ・登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。(521) ・修理等補助金について、必要が生じても事前に予算化できないため、すぐに対応するのが難しい(522) ・事業を開始して一定の期間が過ぎたため、2市1町ゆかりの作品というコンセプトに合致する資料を集めるのが困難になってきたことから、新たな事業展開を検討する。(523) ・現在の収蔵庫が飽和状態にあるため、現存する収蔵品を整理するためには新たなスペースが必要となる。新たな保管施設整備までの間、公共施設を再利用してスペースを確保することが必要。(524) ・フィルムのDVD化にあたり、将来に残すものとして、映像の品質が十分ではない。(525) ・歴史的建造物の公開、活用については、所有者の意向や修繕等にかかる経費などにより、円滑に進めることが困難である。(526) ・平成28年度に開館するふじさわ宿交流館、藤澤浮世絵館及びアートスペースの3施設が連携した公開活用事業の実施。(527) ・交流館をいかに市内外にPRするか、そして集客を地域の活性化とにぎわいの創出に繋げていくかを、指定管理者、地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践していく。(528) ・より多くの方に知っていただくためのPR(529) ・まちの魅力を高めるためには、歴史的建造物の維持・保全だけでなく、その後の利活用をすることが重要であり、検討が必要となってきている。(5210) | |

| 基本方針 健康で豊かなスポーツライフの環境整備を行います | |
|------------------------------|--|
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全9事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p>  <p style="text-align: center;">0 2 4 6 8</p> |
| | <p>健康づくりの推進(1事業) 健康度・体力度チェックや健康づくりトレーニングを通じて、市民の生活習慣病の予防・改善、健康・体力の維持・増進を図った。</p> |
| 健康増進課 | 611 健康づくり推進事業 C |
| 主な取組と成果 | ・健康度・体力度・トレーニング利用状況(3月末現在) 健康度27人(実・延)、体力度550人(実・延)、トレーニング837人(実)26,758人(延)(611) |
| 課題等 | ・トレーニング事業については、H27年度に生活習慣病予防および重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として変更したところではあるが、利用者増加には至っていない。関係機関等との連携を図りながら、必要な対象者が活用できるよう周知を図り、広く多くの市民の活用を促進する必要がある。(611) |
| 施策の柱 | <p>スポーツ環境の充実(4事業) 体力・運動能力テスト実施時の測定員の派遣や、スポーツ施設の整備を行うと共に、スポーツノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけるなどスポーツ環境の充実に努めた。</p> |
| 教育指導課・スポーツ推進課 | 621 子どもの体力向上対策事業 B |
| スポーツ推進課 | 622 スポーツ施設整備事業 B |
| スポーツ推進課 | 623 スポーツバリアフリー事業 A |
| スポーツ推進課 | 624 スポーツノーマライゼーション事業 B |
| 主な取組と成果 | ・希望校には測定員を派遣し、体力・運動能力テストを市内54校で実施することができた。(621) ・天神スポーツ広場整備に伴う実施設計委託を実施(622) ・H21年度からH23年度までの3ヶ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は実施済み。(623) ・スポーツのノーマライゼーション理念の実現のため、障がいの有無にかかわらず、すべての人が同じフィールドに身を置きスポーツを親しめるためのノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行った。(624) |
| 課題等 | ・測定員を派遣するスケジュールの関係で、実施時期に差が出てしまう。(621) ・スポーツ施設は、建物及び設備において老朽化が進んできているため、市民が安心して利用できるスポーツ施設として維持する計画的修繕が必要。(622) ・スポーツ施設の老朽化や経年劣化が進む中で、今後は大規模改修工事及び公共施設再整備プランにおける事業を実施する中で、バリアフリー化された整備を行う必要がある。(623) ・障がい者スポーツの団体や事業展開において、神奈川県内各市の状況では、福祉部局が所管課となっているが、国の平成26年度予算において、「日本障害者スポーツ協会補助」及び「全国障害者スポーツ大会開催事業」が厚生労働省から文部科学省に移管されたので、今後、国並びに県の対応を注視したい。(624) |

| 施策の柱 | 生涯スポーツ活動の推進(4事業) 市民マラソンやビーチバレーの大会を開催すると共に、スポーツ事業や講座の開催内容について広く市民へ周知することで、生涯スポーツ活動の推進に努めた。 | |
|-------------|---|---|
| スポーツ推進課 | 631 生涯スポーツ活動推進事業 | B |
| スポーツ推進課 | 632 スポーツサポート事業 | B |
| スポーツ推進課 | 633 競技スポーツ推進事業 | B |
| スポーツ推進課 | 634 地域特性活性化推進事業 | B |
| 主な取組と成果 | ・スポーツ事業や講座の開催内容について、広報ふじさわへ掲載し、広く市民へ周知した。(631) ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し有効に事業を展開した。(登録人数227人)(632) ・競技スポーツで活躍された選手達への賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図った。*社会体育の部(全国大会)143人 *社会体育の部(国際大会) 18人(633) ・全国中学生ビーチバレー大会について、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認されたことから、スポーツ拠点づくり推進事業助成金(2,878千円)が交付された。(634) | |
| 課題等 | ・スポーツ関係団体のホームページの充実指導(631) ・スポーツ推進委員については、今後も地域指導者としての活躍が期待されるが、それぞれの地域での役割を考慮したうえで定数について見直しを検討する必要がある。(632) ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた関係団体との調整が必要である。(633) ・全国中学生ビーチバレー大会について、全国全てのブロックから参加チームが集まっていないので拡充方法を検討したい。(634) | |

| | |
|--------------------------------------|---|
| 基本方針 多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します | |
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針 (全6事業)</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> |
| | <p>施策の柱 多文化・多世代の交流の推進(1事業)</p> <p>外国人市民の生活支援と共に、意見交換の場や交流事業を通じて、外国人市民と共に生きる地域づくりを推進した。</p> |
| 平和国際課 | 711 多文化共生推進事業 B |
| 主な取組と成果 | ・スペイン語の歌、南米の踊り、フォークダンス、日本の昔遊び、工作、餅つき等を行った(711) |
| 課題等 | ・交流会全体を通じて、参加者どうしの交流や多文化への理解を図ることが目的なので、全てのプログラムに参加してもらえよう、内容や周知方法を工夫をする。(711) |
| 施策の柱 | <p>学校・家庭・地域等の連携、協働の推進(5事業)</p> <p>三者連携による、地域に開かれた学校づくりや地産地消の取組など地域と学校のつながりの充実を図ると共に、人権啓発や男女共同参画に関わる取組を推進した。</p> |
| 学校給食課 | 721 地産地消の充実事業 B |
| 人権男女共同参画課 | 722 人権施策推進事業 B |
| 青少年課 | 723 放課後子ども教室推進事業 B |
| 学校教育企画課 | 724 学校・家庭・地域連携推進事業 B |
| 人権男女共同参画課 | 725 男女共同参画推進事業 B |
| 主な取組と成果 | <p>・H26年度より、市内産農水産物を使用した給食を実施している。H27年度は年3回実施した。(721)</p> <p>・「人権フェスタ2015inふじさわ - 第30回藤沢市人権啓発講演会 - 」(12月5日 テーマ「みんな地球に生きるひと」講師：アグネス・チャン氏)を湘南台文化センター市民シアターにて開催。多くの市民に人権意識啓発を図ることができた。(722)</p> <p>・亀井野小学校区、小糸小学校区の2小学校区で事業を実施するとともに、子ども子育て支援事業計画に基づき、当事業の拡充について検討を進めた。(723)</p> <p>・学校・家庭・地域連携推進会議で事業や会議を実施した。(各地域事業総数119事業、各地域事業、会議等参加者数33,390人)(724)</p> <p>・藤沢市PTA連絡協議会に業務を委託し実施した。(広報紙の発行年3回、各校PTA活動状況調査の実施、講演会の実施)(724)</p> <p>・2015年4月1日現在の女性登用比率を調査し、その結果を情報紙「かがやけ地球」及びホームページに掲載し、市民周知を図った。また、多くの女性の登用を図るため、審議会等委員の選任時の事前協議の実施など徹底を図った。(725)</p> |
| 課題等 | <p>・野菜類を指定日に一定量確保することが難しい。(721)</p> <p>・市民ニーズにあった講演会等の実施(722)</p> <p>・地域子どもの家・児童館・放課後子ども教室が未設置の学区について放課後子ども教室を含めた子どもの居場所づくりの検討が必要である。(723)</p> <p>・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業に、より多くのPTAが参加できるように工夫する。(724)</p> <p>・市民意識調査によると、社会全体で男性が優遇されていると感じる市民が7割を超えており、5年前から改善されていない点。(725)</p> |

| | | | |
|------------------------------|---|---|---|
| 基本方針 | | 命を守る「教育の推進」「教育環境の整備」「コミュニティづくりの推進」を図ります | |
| 評価 | <p style="text-align: center;">基本方針（全9事業）</p> <p>A・・・目標を上回った B・・・(概ね)達成した C・・・やや達成できなかった D・・・目標を下回った E・・・H27年度に統合・終了・廃止 F・・・H27年度以前に統合・終了・廃止等</p> | | |
| | <p style="text-align: center;">基本方針（全9事業）</p> | | |
| 施策の柱 | <p>命を守る教育の推進(2事業) 子どもたちの防災意識の向上を図るために、教職員に対する研修会や講演会を実施した。</p> | | |
| 教育指導課 | 811 学校安全対策事業(防災・防犯教育) | | A |
| 学校教育企画課 | 812 教育文化センター研究研修事業 | | B |
| 主な取組と成果 | ・矢崎良明氏(板橋区教育委員会 安全教育専門員)による防災講演会を年間3回行った。(811) ・研究部会12回、研修講座1回、防災と自然に関するアンケート実施(抽出校)(812) | | |
| 課題等 | ・合同開催は学校間の日程調整が難しい。(811) ・2年間の研究経過を踏まえ、日常生活に甚大な被害を及ぼす災害に対して、子どもたちの防災意識を高める教育の充実、及び、自然とのより良い関わりについての研究を継続させる。(812) | | |
| 施策の柱 | <p>命を守る教育環境の整備(5事業) 津波避難施設の増築や飲料水の備蓄、通学路安全点検や地域安全マップ作りを実施することで命を守る教育環境の整備に努めた。</p> | | |
| 学校施設課 | 821 学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消) | | B |
| 学校施設課 | 822 防災対策事業(津波対策) | | B |
| 防災危機管理室・教育総務課 | 823 防災資機材等の整備事業 | | B |
| 学務保健課・防犯交通安全課 道路整備課・土木維持課 | 824 通学路安全対策推進事業 | | B |
| 防犯交通安全課・教育指導課 | 825 学校防犯対策強化事業(こども110番・安全マップ) | | B |
| 主な取組と成果 | ・小学校4校、中学校2校について耐力度調査を実施した。(821) ・H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。また、H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。(822) ・中部地区にある小学校13校、中学校6校、合計19校に災害時用の飲料水として、1人当たりペットボトル1本(500ml)×児童生徒分の備蓄を行った。(823) ・「藤沢市通学路交通安全プログラム」に基づき報告のあった危険箇所について、関係機関と連携して合同点検を実施し、安全対策を実施した。(824) ・地域安全マップ作りの推進のために、学校安全担当者に全小学校と中学校1校から出席してもらい、各学校での実践を啓発できた。(825) | | |
| 課題等 | ・実施した調査の結果に基づき、整備計画の具体を検討する中で、財源確保が困難な状況下で実効性のある整備をどう進めていくのか、市全体の再整備プランの中で検討、整理していく状況がある。(821) ・関係機関が実施する安全対策については、それぞれの機関の予算、事業計画によるため、進捗管理については各機関に委ねざるを得ない(824) ・地域安全マップ作りが各学校の教育課程の中に、あまり位置づけられていない。(825) | | |

| | | |
|--|---|----------|
| <p>施策の柱</p> | <p>命を守るコミュニティづくりの推進(2事業) 学校・家庭・地域の三者が連携して地域パトロールや子ども110番の掲示を実施するなど、命を守るコミュニティづくりの推進に努めた。</p> | |
| <p>学校教育企画課 <small>防犯交通安全課・教育指導課</small></p> | <p>831 学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動)</p> | <p>B</p> |
| | <p>832 学校防犯対策強化事業(子ども110番・安全マップ)</p> | <p>B</p> |
| <p>主な取組と成果</p> | <p>・地域協力者会議で、「一斉パトロール」「子ども安全ネットワーク」「学校安全ネットワーク会議」「子どもみまもりネットワーク会議」「地域パトロール」「安全・安心のぼり旗」等の活動を実施した。(831) ・学校における地域安全マップ作りについて、今年度は大鋸小学校、鶴沼小学校で行った。サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き、『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。(832)</p> | |
| <p>課題等</p> | <p>・より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。(831) ・地域安全マップ指導員について、担い手を見つけるのが困難である。(832)</p> | |

2 藤沢市教育振興基本計画の進捗状況

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 事業内容 | 担当課 | 担当部 | 教育指導課 |
|-------|----------|--|--|------------|------------|
| 112 | 国際教育推進事業 | 国際教育推進事業 | | 教育部 | 教育指導課 |
| | | 事業目的 ・広く国際的な視野に立つて物事を考え、行動できる児童生徒の育成 ・外国語教育・外国語活動の指導の充実 | | | 変更(ある場合) |
| | | 事業内容 ・業務委託により外国語指導講師(FLT)を派遣し、小学校外国語活動(5・6年)及び外国語指導(英語)の授業を支援する。(小・中) ・国際理解を深めるために国際理解協力員を派遣し、外国語や異文化に触れる体験の充実を図る。(小1～4・特) ・小学校外国語活動支援員を派遣し、小学校外国語活動の授業を支援する。(小学校からの要請) ・日本語指導員を派遣し、日本語指導の必要な外国籍児童生徒に対して、日本語学習及び学校生活への適応を支援する。(小・中・特・学校からの要請) ・国際教育担当若者を養成し、情報交換、調整、研修等を行う。 | | | |
| | | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 ● FLTの派遣(小・中学校) ● 国際理解協力員の派遣(小・特別支援学校) ● 小学校外国語活動支援員の派遣(小学校) ● 日本語指導員の派遣(小・中・特別支援学校) ● 国際教育担当若者の実施 | H28年度 → | H29年度 → |
| | | 予算額(千円) | 79,423 | 79,145 | |
| | | 決算額(千円) | 78,893 | | |
| | | 執行率(%) | 99.3 | | |
| | | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | FLTの小中学校への派遣日数3,040日 国際理解協力員小1～小4と特別支援学校へ各2時間派遣、特別支援学校は各1時間派遣。 小学校外国語活動支援員は220時間派遣。 日本語指導員4,343時間派遣。 国際教育担当若者は、中学校は、英語教育担当者と併せて実施し、小学校は比べ内容が薄い。 | | |
| | | 評価の理由 | <p>・人的配置を適切に行い、担任への授業の補助や、児童生徒への学校生活における支援ができた。</p> <p>・FLTの活用方法を業者と再確認し、担当者会で周知を行った。</p> <p>・日本語指導員においては、単に日本語を教えるだけでなく、外国につながる子どもたちの学校生活での困りごとなどを解決する一助となった。</p> <p>今後の方向 ・人的配置の活用方法に関しては、今年度同様とするが、近隣の市町とも密に連絡を取り、得られた情報からより効果的な方法を探る。 ・国際教育に関しては、小・中学校で情報を共有したり、方法を考えたりする場が必要であるため、担当者会を小中合同で行う。</p> | | |
| | | 事業計画 | H28年度事業計画 ・FLTの派遣(小・中学校) ・国際理解協力員の派遣(小・特別支援学校) ・日本語指導員の派遣(小・中・特別支援学校) ・国際教育担当若者の実施(小・中学校) ・小学校外国語活動支援員の実施(小学校) ・夏季外国語講座の実施(小・中・特別支援学校希望) | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 事業内容 | 担当課 | 担当部 | 教育指導課 |
|-------|----------|---|---|--------|----------|
| 111 | 教育課程推進事業 | 教育課程推進事業 | | 教育部 | 教育指導課 |
| | | 事業目的 ・学習指導要領に則り、各学校において、学校や地域の環境を踏まえた創意工夫ある教育課程実施のため、特色ある教育課程を編成することから記載を外すこととした。(H28) | | | 変更(ある場合) |
| | | 事業内容 ● 学校運営推進業務委託事業 | | | |
| | | 実施 | | | |
| | | 予算額(千円) | 11,998 | 11,832 | |
| | | 決算額(千円) | 11,773 | | |
| | | 執行率(%) | 98.1 | | |
| | | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 市立55校(全校)で実施 指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教員の整備を行った。 学校の特色や課題を捉えた先進的な研究実践を小学校11校、中学校7校、特別支援学校1校で実施した。 獣医師による飼育動物診察及び飼育指導を小学校7校で実施した。 社会科資料集「ふじさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。 小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。 各小学校の一つの学年の児童(計3,222人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。 | | |
| | | 評価の理由 | <p>・予算の執行が計画通り行われた。</p> <p>今後の方向 学習指導要領の趣旨を踏まえ、今後においても「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った教育活動を実施するために事業の継続を行う。</p> | | |
| | | 事業計画 | H28年度事業計画 ・教育課程推進事業 ・小学校3校における防災教育の実施 ・学校の特色や課題を捉えた研究実践の支援 ・獣医師研修の実施 ・社会科資料集「ふじさわ」の作成 ・プラネタリウム学習投影の実施 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 113(314) | 事業名 学校ICT機器整備事業(情報教育) | 担当部 担当課 | 教育部 学校教育企画課 |
|--|--|------------|----------------|
| <p>教育情報機器の活用による情報教育(情報教育)</p> <p>事業目的 ・(原称)教育情報機器整備基本方針を、藤沢市教育情報化推進計画に、改称した。 ・年次ごとの取組計画に「情報モラル教育の授業支援・研修対応」を追加した。(H28)</p> | | | |
| <p>事業内容 学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていることに伴い、藤沢市教育情報化推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童生徒の学習の多くの場において教育情報機器を活用した学習の充実を図る。</p> | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●教育情報機器利用検討委員会(年4回) ●小・特別支援学校情報教育担当者会(年2回) ●中学校情報教育担当者会(年2回) ●小・中・特別支援学校教員指導者研修 ●情報モラル教育の授業支援・研修対応 | H28年度 → | H31年度 → |
| 予算額(千円) | 386,998 | 376,811 | |
| 決算額(千円) | 383,076 | | |
| 執行率(%) | 99.0 | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>各会議を予定どおり開催した。研修については、年間5回参加者90名。情報モラルについては、年間30日のべ71回。</p> | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・藤沢市教育情報化推進計画を策定し、平成27年度2月教育委員会にて了承された。 ・今後の教育の情報化に対する基本計画が策定されたことにより、より計画的に情報教育の推進を図ることができるようになった。 ・各種会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。 ・研修の内容を工夫し、研修者がより授業での活用イメージを持ちやすくなる構成とした。 ・情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取り組んだ。</p> | | |
| 評価の理由 | <p>・予定通り会議、研修を開催できた。 ・研修の参加者が、各校1名以上確保できた。 ・情報モラル教育に取り組む学校が増えた。</p> | | |
| 今後の方向 | <p>情報教育に限らず、ICTを活用することで、様々な教育の質の向上に資する取組を計画していく。 ・教員が授業で活用したくなる状況を作り出していくために、研修の充実と整備の促進の両面で取り組んでいく。</p> | | |
| H28年度事業計画 | <p>・各種会議を計画通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図っていく。 ・より授業で活用しやすい内容の研修に改善していく。</p> | | |
| 課題・問題点 | <p>・研修内容については、より授業で活用しやすい実践的な内容とすることで、参加人数を増やし、授業での活用により広がるよう年度ごとの改善に努める。 ・情報モラル教育については、学校によって取組の差があるので、取組の進んでいる学校への支援を進める必要がある。</p> | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 121 | 事業名 各教科研究研修関係事業 | 担当部 担当課 | 教育部 教育指導課 |
|---|--|------------|--------------|
| <p>事業目的 教員の資質と教育の質の向上</p> | | | |
| <p>事業内容 ・各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市小中教育研究会における教育研究の充実を図るための支援を行う。 ・藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、新規採用教員及び教職1、2、3、4、12年経験者の研修会を開催する。</p> | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●教育研究委託 ●教育研究推進校委託(小6校・中3校) ●経験者研修 | H28年度 → | H31年度 → |
| 予算額(千円) | 17,993 | 19,129 | |
| 決算額(千円) | 17,987 | | |
| 執行率(%) | 99.9 | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>藤沢市教職員人材育成基本方針に則り、教職12年経験者に対するH27年度末の研修を実施した。</p> | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。 ・研究推進校へ指導者訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。 ・初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。 ・20年経験者研修に替わり、新期に、ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。 ・小・国際教育担当者会、校内研究推進担当者会、小学校児童指導担当者会、学校安全担当者会、校内支援担当者会、人権・環境・平和担当者会、食育担当者会、幼保小中連携担当者会、いじめ防止担当者会、学校事故防止担当者会など各種担当者会において研修を行った。</p> | | |
| 評価の理由 | <p>・各研究会、研修会を計画通り行い、教員の資質と教育の質の向上に努めることができた。</p> | | |
| 今後の方向 | <p>藤沢市立学校教育職員人材育成基本方針に基づき、経験の浅い職員の研修充実と中堅職員の育成推進を図る。特に、ミドルリーダー研修(12年経験者研修)については、学校運営への参画意識を高めるために、内容の充実と検討を行う。</p> | | |
| H28年度事業計画 | <p>・各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市立小中学校教育研究会等において教育研究事業の研究を行う。 ・初任者研修及び教職1,2,3,4,12年経験者の研修会を開催する。 ・各担当者会等で研修を行い、意識の向上に努める。</p> | | |
| 課題・問題点 | <p>・授業時間数増や業務多忙に伴い、研修時間の確保が課題である。引き続き研修の方法等、工夫改善を図る必要がある。 ・新規に実施したミドルリーダー研修(12年経験者研修)については、28年度以降、対象者が急増するので、研修内容も含め、研修会の持ち方を検討する必要がある。</p> | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------|---------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 122(812) | 教育文化センター研究研修事業 | 教育部 学校教育企画課 | | | | | |
| | 事業目的 | 家庭(ある場合) | | | | | |
| | 事業内容 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 取組内容 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 取組の進捗状況 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 予算額(千円) | 37,757 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 38,706 | | | | | |
| | 執行率(%) | 98.6 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 参加者数 約2,300人 満足度 平均4以上 | | | | | |
| | 取組の進捗状況 | 参加者総数3,326人 研究部会110回実施 研修講座64本開催 研究紀要・教育情報誌発行 | | | | | |
| | 取組の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・研究部会(全110回) ・教育情報誌発行 ・国語科研究部会 12回 研究紀要発行 ・国語科研究部会 13回 研究紀要発行 ・社会科研究部会 13回 研究紀要発行 ・算数・数学科研究部会 12回 研究紀要発行 ・理科研究部会 12回 研究紀要発行 ・外国語活動・英語科研究部会 11回 ・防犯・自然研究部会 12回 研究紀要発行 ・情報教育研究部会 14回 研究紀要発行 ・教育実践臨床研究部会 11回 研究紀要発行 ・研修講座 ・一般研修 7講座 専門研修 66講座 ・土曜研修講座 11回 ・第11回学習意識調査の実施、集計・分析 ・教育情報の提供 ・「ふじさわ教育」編集委員会 3回 ・「ふじさわ教育」第168号、169号、170号発行 ・「教育文化講演会」 ・「読がやる気なだす読者の心理学」 ・日本女子大学・教授 竹内 龍人氏 8/5 ・藤沢市総合会かかく展 開催10/15～10/20 入賞者表彰式 10/17 ・運営委員会 3回 開催10/15～10/20 入賞者表彰式 10/17 ・原重・生徒研究集録(第33集)発行 ・研究報告会 開催 3/28 | | | | | |
| | 取組の理由 | H28年度事業計画 ・教育の今日的課題について検討を行い、その現状や実態を調査研究し、課題を明らかにする。 ・研修講座では、授業づくりに重点を置いた内容を増やす。 ・日々の教育実践に必要な教職専門者としての研修を行い、教師の力量を高め、教育の質的向上を図る。また、研修の一環として、学校からの要望により、学校支援を行うとともに、経験の少ない教職員を対象に、実践的指導力を高めるための基礎的な研修内容の充実を図る。 ・学校の教職員人材育成の推進を支援する。 ・経験の浅い教職員を対象とした土曜研修講座の開催を増やす。 ・研究の成果や教材、調査の結果等を広く市内外の教職員等に発信する。 ・事業内容について、教育委員会各課等との連携を深め | | | | | |
| | 今後の方向 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・本年の今日的課題に際し、研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、視野を広げることができた。 ・各部会の研究を通じ、研究員の指導力の向上につながった。 ・教育の今日的課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。 | | | | | |
| | 評価 | H27年度の総合評価 B | | | | | |
| | 評価の理由 | H27年度の総合評価 B ・本年の今日的課題に際し、研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、視野を広げることができた。 ・各部会の研究を通じ、研究員の指導力の向上につながった。 ・教育の今日的課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|---------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 131 | 教育指導専攻事業(計画訪問・要請訪問) | 教育部 教育指導課 | | | | | |
| | 事業目的 | 家庭(ある場合) | | | | | |
| | 事業内容 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 取組内容 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 取組の進捗状況 | 教育指導専攻 | | | | | |
| | 予算額(千円) | 13,613 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 13,040 | | | | | |
| | 執行率(%) | 95.8 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 小学校 12校 中学校 7校 特別支援学校 1校 特別支援学校 1校 | | | | | |
| | 取組の進捗状況 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校) ・各校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜) ・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校) ・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。 ・問題発生時における学校の初期対応。 | | | | | |
| | 取組の理由 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校) ・各校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜) ・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校) ・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。 ・問題発生時における学校の初期対応。 | | | | | |
| | 今後の方向 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校) ・各校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜) ・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校) ・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。 ・問題発生時における学校の初期対応。 | | | | | |
| | 評価 | H27年度の総合評価 B | | | | | |
| | 評価の理由 | H27年度の総合評価 B ・本年の今日的課題に際し、研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、視野を広げることができた。 ・各部会の研究を通じ、研究員の指導力の向上につながった。 ・教育の今日的課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 変更(ある場合) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|----------------------------------|--|------------|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| 141 | 人権・環境・平和教育関係事業 | 教育部 | 教育指導課 | | | | | | |
| | 事業目的 | 人権・環境・平和についての知識や理念を身につけた児童生徒の育成を図る。 | | | | | | | |
| | 事業内容 | 児童生徒及び教職員を対象にして、人権教育・環境教育・平和教育の啓発と研修を行う。 | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 ●人権・環境・平和教育担当者会(55校) ●スクールセクハラ防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校) ●環境教育の推進 | H28年度 → | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → | | | |
| | 予算額(千円) | 567 | 606 | | | | | | |
| | 決算額(千円) | 567 | | | | | | | |
| | 執行率(%) | 100.0 | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 全児童生徒に実施し、人権・環境・平和についての意識の啓発を行った。 | | | | | | | |
| | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>人権・環境・平和教育担当者会を2回実施し、その中で、環境教育については、出前授業、モバイル・マネジメント教育の紹介を行った。また、人権教育については、体験型アクティビティを通して、担当者がファシリテーターとなり、セクシャルマイリテイに関する講演会を行った。</p> <p>セクハラ防止のリーフレットの配付(55校)</p> <p>子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校)</p> <p>チャレンジかわせみ実践状況の報告(55校)</p> <p>人権教育移動教室を実施した(3校のべ4回)</p> <p>上記の取組を通して、人権教育・環境教育等の推進を図った。</p> | | | | | | | |
| | 今後の方向 | <p>人権・環境・平和教育担当者会においては、計画通り実施できた。今後さらに内容の検討を行い、次年度も引き続き企画していく。</p> <p>実践、活動の記録集においては、一層の活用がなされるよう書式等の検討を引き続き行う。</p> | | | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <p>人権・環境・平和教育担当者会の実施(2回)</p> <p>セクハラ防止のリーフレットの配付(55校)</p> <p>子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校)</p> <p>チャレンジかわせみ実践状況の報告(55校)</p> <p>人権教室移動教室の実施(4校)</p> | | | | | | | |
| | 課題・問題点 | <p>人権・環境・平和の研修により、担当者意識の啓発をおこなった。新採用職員も多いため、今後も一定期間、研修については継続して行う必要がある。</p> <p>リーフレット、実践、活動記録については、学校で更にご利用がなされるよう啓発活動を行う必要がある。</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 変更(ある場合) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|----------------------------------|--|------------|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| 142 | 児童生徒指導関係事業 | 教育部 | 教育指導課 | | | | | | |
| | 事業目的 | 市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。 | | | | | | | |
| | 事業内容 | <p>学校、保護者、警察、各種関係団体の連携協力をすすめる。児童生徒指導上の情報交換や対応についての検討協議を行う。</p> <p>いじめ、不登校等の児童生徒指導上の諸問題については、上記関係機関との連携を深め、研修等を通じ相談機能の充実を図ることにより、未然防止・早期発見・早期指導に努める。</p> <p>小学校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。</p> | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 ●担当者会議 | H28年度 → | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → | | | |
| | 予算額(千円) | 233 | | | | | | | |
| | 決算額(千円) | 109 | | | | | | | |
| | 執行率(%) | 46.8 | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>児童支援担当教諭については、H27年度は、12校で試行(県追加校含む)。</p> <p>12校で試行(県追加校含む) (県追加校含む)</p> <p>233</p> <p>109</p> <p>46.8</p> | | | | | | | |
| | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>児童生徒指導対策協議会を開催した(1回)</p> <p>支援サポーター会議を開催した。(中学校2校で合同開催1回)</p> <p>「児童生徒指導の手引き(改訂版)」を新規採用及び市外からの転任採用教職員に配付した。協議会を7回、児童支援担当教諭配置校を12校で試行。協議会を7回、研修会を5回開催し情報交換や危機管理などの研修を行った。特に、保護者対応については外部講師を招聘し研修を実施するなどした。</p> | | | | | | | |
| | 今後の方向 | <p>児童生徒の健全育成を図り、いじめ・暴力行為、不登校等の減少に努める。</p> <p>児童生徒指導の転任採用教職員に配付した。</p> <p>児童生徒指導の健全育成を図り、いじめ・暴力行為、不登校等の減少に努める。</p> <p>児童支援担当教諭の配置をさらに拡充することにより、全体的に小学校におけるチームとしての対応力を強化し、児童一人ひとりの教育的ニーズに対応したきめ細かな教育を推進する。</p> | | | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <p>児童生徒指導に課題を抱える学校に対し、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を積極的に進めるために児童生徒指導対策協議会、支援サポーター会議を実施していく。</p> <p>児童生徒指導担当者とのスキルアップに向けた研修会等を実施する。</p> <p>小学校10校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。</p> | | | | | | | |
| | 課題・問題点 | <p>課題・問題点</p> <p>課題のある児童生徒の家庭環境等に対する支援を、効果的に行っていくこと。</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|----------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 143 | ハケ岳野外体験教室の充実事業 | 教育部 学校教育企画課 | | | | | |
| | 事業目的 | ハケ岳周辺の大自然の中で各々が教育活動の充実を図ること、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばし、心豊かに育てられる。市民等の野外体験施設としての利用に供することで自然環境に触れられる場を提供する。 | | | | | |
| | 事業内容 | 学校施設として、ハケ岳周辺の大自然の中で各々が自主的・創造的な教育活動を展開し、また、市民団体等の野外体験施設として活用する。 保全計画に基づいて施設の老朽化に対応していく。 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| | 予算額(千円) | 227,260 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 225,313 | | | | | |
| | 執行率(%) | 99.1 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 体験活動を行うことにより心豊かな児童生徒の育成が図れた。市民等に自然環境に触れられる場を提供できた。 | | | | | |
| | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携しながら、学校利用、市民等の利用を進め、平成27年度の目標は達成できたと考えられる。 藤沢市立学校58校の学校利用があり、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばすことができた。中でも中学校7校は冬季利用で冬の大自然を体験し、厳しい自然の中で藤沢では得られない体験をした。 指定管理者の自主事業「子どもだけのわいわいキャンパス」では藤沢市の子どもたちだけでなく、茅ヶ崎市・寒川町に在住・在学の小・中学生も一緒に自然体験や仲間とのふれ合いを行うことができた。 施設管理の面では、本館、宿泊棟の暖房等経年劣化に伴う修繕を行うことができた。 | | | | | |
| | 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携しながら、学校利用や市民等の利用を進め、平成27年度の目標は達成できたと考えられる。 児童生徒の体験活動施設としての重要性は以前にも増して高まってきた。 藤沢市内の学校利用日以外については、広域利用も含め、他市町の団体の利用に向け積極的に対応提供していく。 | | | | | |
| | 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の体験活動施設としての重要性は以前にも増して高まってきた。 藤沢市内の学校利用日以外については、広域利用も含め、他市町の団体の利用に向け積極的に対応提供していく。 | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携しながら、学校利用の充実をほかるとともに市民等の利用の促進に努める。 藤沢市立学校の学校利用に関しては、全体説明会や事前打ち合わせを綿密に行い、各校の自主活動のニーズにあった体験活動のサポートを行う。 広域利用に関して、積極的に情報提供していく。 指定管理者と連携し一般利用者の拡大に向けた具体的な取組を行う。 施設の修繕計画をもとに、施設の長寿命化、安全確保のための修繕を行っていく。 | | | | | |
| | 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> 藤沢市の児童生徒が団体利用できる体験活動施設として認知してもらったために、施設に関する関係者への周知が必要。 一般市民利用者の拡大に向けた取組が必要である。 体験施設も開設から20年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|----------------------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 144 | 学校給食をとおしての食育推進事業 | 教育部 学校給食課 | | | | | |
| | 事業目的 | 日常生活における食育について正しい理解を深める。 望ましい食習慣を養う。 | | | | | |
| | 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 学校給食や食に関する年間指導計画に基づいた授業をとおした食育により、児童に正しい食習慣を身に付けさせる。 食物アレルギーがある児童が年々増加していることから「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に従って市立全小学校・特別支援学校で実施する。 また、藤沢市母子健康推進協議会アレルギー専門部会(医師・関係者・関係各課)において、「藤沢市食物アレルギー対応通用手引き」を作成し、その中で食物アレルギー対応をする児童・生徒は、必ず「食物除去の指示書」の提出をすることとした。 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 36校 | → | → | → | → | → |
| | 予算額(千円) | 0 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 0 | | | | | |
| | 執行率(%) | 0.0 | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <ul style="list-style-type: none"> 「食」に関する年間指導計画に基づいた指導(年次ごとの目標値)66校 「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に基づいたアレルギー対応の実施 H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) 毎日の学校給食と、各校で作成した「食」に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に従い、食物アレルギーの申し出の手続きや除去食、一部代替食の取り扱いについて、全小学校および白浜養護学校で統一して実施 学校給食におけるアレルギー対応は、27年度から全学年において「食物除去の指示書」の使用をもとに実施することとした。 | | | | | |
| | 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 「食」に関する年間指導計画に基づいた指導(年次ごとの目標値)66校 「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に基づいたアレルギー対応の実施 H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) 毎日の学校給食と、各校で作成した「食」に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に従い、食物アレルギーの申し出の手続きや除去食、一部代替食の取り扱いについて、全小学校および白浜養護学校で統一して実施 学校給食におけるアレルギー対応は、27年度から全学年において「食物除去の指示書」の使用をもとに実施することとした。 | | | | | |
| | 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> 学校給食を「生きた教材」として活用し、授業等を通じて、日常生活において望ましい食習慣を養い、生涯にわたって健康的な生活を送るための自己管理能力を養うよう食育の推進を行う。 | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> 「食」に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 食物アレルギー児への対応は、医師が記入をした「食物除去の指示書」の提出を受け、管理職、学級担任、養護教諭、栄養教諭または栄養職員と保護者が面談を行い、対応についてを確認する。 | | | | | |
| | 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> 除去食および一部代替食の取り扱いについては、統一して実施が求められ、各校の状況(対応数、食数、人員、設備等)により、対応に違いが出てきてしまっている。 「食」に関する年間指導計画は、学校ごとに作成し、授業等を通して学年に応じた食育の指導を行っている。各学年で指導する内容は統一する必要があると考える。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 環境部 | |
|--|-----------------------------------|----------|----------|-------|
| 145 | 環境教育推進事業 | 担当課 | 環境事業センター | |
| 事業目的 | | 変更(ある場合) | | |
| <p>保育園・幼稚園の幼児期や小学校4年生の学童期から環境教育を実施することにより、循環型社会に対する意識の向上を図る。</p> | | | | |
| 事業内容 | | | | |
| <p>ごみの排出抑制や減量、再利用、再生利用の推進を図るため、小学校4年生や保育園・幼稚園児を対象としたごみの減量・資源化のため、実際に塵芥収集車を持ち込み啓発教育事業を行う。 ・小学校36校(私立小学校1校を含む)、保育園・幼稚園</p> | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●小学校、保育園・幼稚園啓発教育事業 | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> | | | | |
| 小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)実施 | | | | |
| 予算額(千円) | 81 | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 小学校 36校、3,780人、保育園・幼稚園 24園・1,696人 | | | |
| 度末の成果 | | | | |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することと、ごみの分別等の意識の向上が図られた。 ・保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施。 ① コミュニケーションロボット【バルロ】を3園で使用。 ② 着ぐるみを使用した寸劇での説明。 ・学校や保育園・幼稚園での先生との意見交換を実施し、効果的な啓発事業を実施。 | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・事業実施参加数も昨年度に比べて増加し、内容も充実しており、事業が進展していると考えられる。 | | | | |
| <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高校・大学に事業を拡大し、ごみの減量・資源化の必要性を繰り返し啓発する。 ・小学生から質問の多い内容を、【ごみのなぜ】をテキスト化して配布し一層の啓発を図る。 | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションロボットを活用した事業展開を図る。 ・「ごみのなぜ」のテキスト化を実施する。 | | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 教育部 | |
|---|----------------------------|----------|-------|-------|
| 146 | いじめ暴力防止対策事業 | 担当課 | 教育指導課 | |
| 事業目的 | | 変更(ある場合) | | |
| <p>いじめや体罰に対する未然防止や早期発見・対応を図り、児童生徒が安心して安全な学校生活を送ることを目指す。</p> | | | | |
| 事業内容 | | | | |
| <p>・平成27年4月施行の「藤沢市子どもをいじめから守る条例」に基づき、いじめ防止対策を推進する。 ・「いじめ防止プログラム」「いじめ防止教室」を実施し、いじめの未然防止を図る。 ・「いじめ相談ホットライン」「いじめ相談メール」を通して、児童生徒・保護者からの相談に対応する。 ・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーを配置し、学校からの要請に対応する。 ・「いじめ防止啓発リーフレット」を作成し、新入学児童の家庭に配付する。</p> | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●いじめ防止プログラム、いじめ防止教室 | | | | |
| ●新入学児童の家庭に「いじめ防止啓発リーフレット」配付 | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> | | | | |
| 実施 | | | | |
| ●条例解説リーフレットを市立小・中・特別支援学校の全児童生徒に配付 | | | | |
| 実施 | | | | |
| 予算額(千円) | 15,184 | | | |
| 決算額(千円) | 13,475 | | | |
| 執行率(%) | 88.7 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 小学校5校、中学校9校で実施(いじめ防止プログラム) | | | |
| 度末の成果 | | | | |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」を平成27年4月1日施行し、6月30日には条例制定記念講演会を開催した。 ・「条例リーフレット」を作成配付した。 ・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーは、学校相談9校、いじめ関係学校相談22回、いじめ関係以外学校相談11回、研修会 22回、生徒会訪問3校、等の活動をした。 ・「いじめ問題調査委員会」を立ち上げ、3回開催した。 ・「いじめ相談ホットライン」は24時間365日体制で「いじめの相談を受け付け、いじめ相談メールと併せて開設している。 ・いじめ防止プログラムを小学校5校、中学校9校、いじめ防止教室を小学校9校、中学校4校で実施した。 ・平成28年1月23日に「いじめ1:stop!いじめ!」中学生の集い「inふじさわ」を開催した。 ・小学校1年生保護者向け、小学校4年生向け、中学校1年生向けに「いじめ防止の啓発リーフレット」を作成配付した。 ・「藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を4回開催し、本市のいじめ防止対策の方向性を検討した。 ・体罰の事態を把握するとともに、未然防止の目的で体罰調査を実施した。 | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ防止プログラム」実施校においては、「児童生徒による自治的活動として定着しており、創意工夫ある取組が展開されている。 ・体罰調査の実施により、年々体罰の報告件数は減少している。 | | | | |
| <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校においては、「いじめ防止プログラムの他に児童会や生徒会を中心に独自のいじめ防止対策を実施していることから、本プログラムの実施にこだわることなく、各校の取組を尊重する上で、実施を希望する学校に対して提供していく。 | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ防止プログラム」については、14校、いじめ防止教室については、8校で実施予定。 ・いじめの啓発リーフレットはこれまで同様の3種の作成と、藤沢市子どもをいじめから守る条例啓発リーフレットを作成配付し啓発に努める。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

Table with columns: 事業コード (147(722)), 事業名 (人権施策推進事業), 担当部 (人権男女共同参画課), 担当課 (家庭(ある場合)), 事業目的 (市民が「多岐にわたる人権課題...」), 事業内容 (市民が「多岐にわたる人権課題...」), H27年度, H28年度, H30年度, H31年度, 評価 (B), 次年度 (継続), 評価の理由 (人権の花運動...)

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

Table with columns: 事業コード (151), 事業名 (特別支援教育推進事業), 担当部 (教育部), 担当課 (教育指導課), 事業目的 (特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育環境を改善し...), 事業内容 (特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育環境を改善し...), H27年度, H28年度, H29年度, H30年度, H31年度, 評価 (B), 次年度 (継続), 評価の理由 (特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を図る...)

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 学校教育相談センター事業 | 担当課 | 教育部 教育指導課 |
|-------|----------------------------------|--|-----------|--------------|
| 152 | 事業目的 | 支援相談の必要な児童生徒や保護者が必要な時に相談を受けることができる環境を整備し、一人ひとりが楽しく学校へ通うことができるよう、相談体制の充実を図る。 | | 変更(ある場合) |
| | 事業内容 | 児童生徒の学校生活への適応を図るため、各小中学校へのスクールカウンセラーの配置や、学校教育相談センターでの教育相談・就学相談、及び相談支援教室における不登校児童生徒への相談支援を行う。 ・不登校児童生徒、保護者への相談支援 ・スクールカウンセラーを全小中学校へ週1日配置 ・次年度就学予定児に対する就学相談活動 ・相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談 ・スクールソーシャルワーカーの学校への派遣 ・特別支援教育専門カウンセラーによる学校巡回 ・関係各課と連携した相談活動 | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度 ●相談体制の充実 | | |
| | 予算額(千円) | 148,359 | 153,725 | |
| | 決算額(千円) | 142,077 | | |
| | 執行率(%) | 95.8 | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 相談体制の充実 スクールカウンセラー 20人 スクールソーシャルワーカー 2人 (※1人増員) ●相談窓口のワンストップサービス | 25人 3人 | → → |
| | 評価 | 実施 | → | |
| | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | 必要となる児童生徒や保護者が、必要な時期に必要となる場所や支援が受けられるよう、学校及び相談センターでの相談活動の充実を図った。 ・スクールカウンセラーの配置を、小学校の大規模校5校については2日、8校については1.5日の配置とした。 ・スクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制により相談活動の充実を図った。 ・就学相談員による相談活動、就学支援委員会を通して、きめ細やかな就学相談を行った。 ・相談支援教室において、集団適応指導及び児童生徒保護者相談を行い、不登校児童生徒の支援の充実を図った。 | | |
| | 評価の理由 | ・各相談支援活動の活用が進み早期の対応により改善が図られ、相談活動の充実につながった。 ・相談内容の複雑化、相談件数の増加等に伴い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの対応が十分にできない場合もある。 | | |
| | 今後の方向 | ・スクールカウンセラーの人員の増員について検討していく。 | | |
| | H28年度事業計画 | ・スクールカウンセラーの配置(小学校17校) (特別支援教育専任スクールカウンセラーを配置) ・次年度就学予定児に対する就学相談活動 ・就学支援委員会との連携 ・就学相談員との連携 ・相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談 ・スクールソーシャルワーカーの学校への派遣 ・特別支援教育関係の講演会、研修会の開催 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 児童生徒指導関係事業 | 担当課 | 教育部 教育指導課 |
|-------|----------------------------------|--|-----|--------------|
| 153 | 事業目的 | 市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。 | | 変更(ある場合) |
| | 事業内容 | ・不登校児童生徒及びその保護者を対象に各種の取組を行う。 ・関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。 ・学校教育相談センターでの相談支援を行う。 | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度 ●不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」 | | |
| | 予算額(千円) | 0 | 0 | |
| | 決算額(千円) | 0 | | |
| | 執行率(%) | 0.0 | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 参加者総数(28人) | → | → |
| | 評価 | | | |
| | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | ・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につながっていると考えられる。 | | |
| | 評価の理由 | ・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような年齢層が異なるため、共通の話題で共通できない場合がある。 ・形式・・・申し込み制ではないため当日まで参加人数や子どもの年齢構成が分からない。一方で、あまり構えずに、参加しやすいという面もある。 その他・・・学校との連携の必要性を感じる場合が多いが、保護者がそれを望まないこともあり、課題である。 | | |
| | 今後の方向 | ・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような年齢層が異なるため、共通の話題で共通できない場合がある。 | | |
| | H28年度事業計画 | ・年4回(7月、9月、12月、2月)開催予定。 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | |
|---|---|-------|-------|-------|-------|
| 154 | 教育指導事務事業 (学習指導員による補修授業) | 教育指導課 | 教育指導課 | | |
| 事業目的 ● 中学校学習支援事業 | | | | | |
| <p>学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。</p> <p>生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、「学習指導員」による補修授業を行う。</p> | | | | | |
| 事業内容 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ● 中学校学習支援事業 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | 実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 3,211 | | | | |
| 決算額(千円) | 2,927 | | | | |
| 執行率(%) | 91.2 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果 | 中学校全19校で実施 総時間数・2,698時間 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・市立中学校全19校で実施 総時間数、2,698時間</p> <p>・学校が生徒のニーズに応じて学習指導員をより有効に活用できるよう要綱を改正した。</p> <p>・全中学校での実施が3年間続き、補習授業の指導体制が整ってきた。放課後、定期的に学習できる場があることで、基礎的な学力を定着させる機会となった。</p> | | | | |
| 評価の理由 | <p>・年次計画どおり全校で実施することができた。生徒の基礎学力の定着の面で成果をあげている。</p> | | | | |
| 今後の方向 | <p>・各学校の状況にあわせて、柔軟に対応しながら、生徒の基礎学力の確実な定着につなげていきたい。</p> | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・学習指導員の選任(学校長)</p> <p>・学習指導員による放課後、長期休業中の学習支援</p> | | | | |
| 課題・問題点 | <p>・年間を通して計画的な支援ができるように、学習指導員を確保する。</p> <p>・学習会について生徒に周知し、希望する生徒が参加できるように運営する。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 子ども青少年部 | |
|---|---|--------|--------|---------|-------|
| 155 | 子ども発達支援事業 | 子ども発達課 | 子ども発達課 | | |
| 事業目的 ● 子どもサポートファイル配付 | | | | | |
| <p>関係機関の連携を図られることにより、障がい児等がライフステージに応じた適切な支援を受けることができる。</p> <p>障がい児や発達障がい児等が、ライフステージに応じた一貫した支援を受けられるようにするため、ネットワークの形成や情報共有を図るための子どもサポートファイルの普及・活用の推進を行う。</p> | | | | | |
| 事業内容 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ● 子どもサポートファイル配付 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 1,686 | | | | |
| 決算額(千円) | 1,615 | | | | |
| 執行率(%) | 95.8 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果 | <p>子どもサポートファイルの配付数120冊</p> | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・障がいのある、または特別な支援が必要な子どもに対して、ライフステージの変わり目となる年長児のタイミングや就学相談の中で、子どもサポートファイルを配付した。</p> <p>・子どもサポートファイルの内容について検討をおこない、記載内容やサイズ等の見直しを図った。また、新たに携帯版の作成を行った。</p> | | | | |
| 評価の理由 | <p>・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイル配付することができたため。</p> | | | | |
| 今後の方向 | <p>・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイルを広げたい。</p> | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・子どもサポートファイルの必要性について広く周知する。</p> <p>・携帯版については、H28年度からの配付となるので、H28年度以前に子どもサポートファイルを配付した方については希望者に配付を行う。</p> | | | | |
| 課題・問題点 | <p>・子どもサポートファイルの必要性について、保護者のみでなく、支援者や協力者にも広く周知する。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|------------------|--|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| 161 | 教育課程推進事業(キャリア教育) | 教育部 教育指導課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>事業目的 学習指導要領に則り、各学校において、学校や地域の特色を踏まえた創意工夫ある教育課程実施のため、特色ある教育課程を編成する。 「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、より、実りある教育の実践を行うことができる。</p> <p>事業内容 ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ・小・中学校において、職場体験を実施する。 ・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。</p> | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | | | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | 市立全中学校(19校)で職業調べを行った。 市立全中学校(19校)で職場体験学習を行った。 小学校でも職業調べを行い、職業に関する意識を高めた。 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を実施し、児童生徒の職業に対する意識を高めることができた。 希望する学校には産業労働課が「職人」を派遣し、職業に関する講義を開講し、職人の技を児童生徒が間近で見ることができた。 | | <ul style="list-style-type: none"> どの学校も、計画どおりに事業を進めている。 キャリア教育を踏まえた教科横断的な学習を行い、内容を深めている。 | | | | | |
| | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が連携協力してキャリア教育を推進している。 キャリア教育に関する情報提供に努める。 | | | | | |
| | | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。 中学校において、職場体験学習を実施する。 希望する学校には、産業労働課から市内の職人を派遣依頼し、職業教育に関する実演などを行い、児童生徒の意識を高める。 | | | | | |
| | | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。 希望する学校には、産業労働課から市内の職人を派遣依頼し、職業教育に関する実演などを行い、児童生徒の意識を高める。 | | | | | |
| | | <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習の体験先の確保。 体験先が食品・介護・保育関係のとき、衛生面における事前の検査はとまですべきか、その費用。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|----------------------|--|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| 162 | 技能職体験事業(学校訪問・職場体験実施) | 経済部 産業労働課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>事業目的 小学生を含めた若年者に対して、継続された技能を披露し、実際に体験してもらったことで、技能職への理解を深めるとともに、職業意識の形成を図る。</p> <p>事業内容 ・学校訪問事業：小中学校に職人が訪問し、働くことや仕事内容の説明、実技披露を行い、実際に小中学生も体験をする。 ・職場体験：体験先の職場の確保に難航している小中学校に対し、藤沢市技能職団体連絡協議会と連携して確保に努める。</p> | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 500 | 500 | | | | | |
| 決算額(千円) | 400 | | | | | | |
| 執行率(%) | 0.8 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | 小学校3校、中学校5校への訪問実施 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ①学校訪問事業 <ul style="list-style-type: none"> 6月校長会での事業周知 総合の時間におけるキャリア教育や社会の授業の一環として藤沢市内の小、中学校で技能職体験事業を実施した。 平成27年度訪問学校・生徒数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 3校、体験生徒数317人 中学校 5校、体験生徒数831人 訪問団体数 計10団体 (湘南匠技会、藤沢菓子組合、洋裁組合、神奈川土建一般労働組合、湘南建設組合、量組相南、電気工事業組合、板金工業組合、湘南内装装具師会、生花小売商協同組合) ②職場体験の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 課題・問題点 <ul style="list-style-type: none"> 実施希望時期の振り。 複数団体での訪問する際の実施時間のばらつき調整。 職場体験の受け入れ周知。 | | <ul style="list-style-type: none"> 訪問学校数、および訪問団体数ともに昨年度より増加した。また、昨年度訪問実績のなかった小学校へ訪問を実施した。 | | | | | |
| | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長会での事業周知。 技能職団体連絡協議会が作成した技能職紹介冊子の活用。 体験内容の拡充や訪問可能団体の増加を図る。 | | | | | |
| | | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> H28年度事業計画 学校訪問事業を実施する。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当者 | 経済部 | | | |
|--|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 163 | 障がい者就労支援事業(特別支援学校就労体験) | 担当課 | 産業労働課 | | | |
| 事業目的 障がい者の雇用・就労に向けた支援事業等を実施することにより、障がい者の雇用・就労の促進を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 社会的自立に向けた就労体験の機会を提供するため、県内の特別支援学校の生徒を対象に職場実習を実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●職場実習 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 平成27年度は3校からの職場体験実習の受入を行った。 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | 27年度受入生徒数 6月 藤沢養護学校 13人 白浜養護学校 3人 10月 横浜ひなたやま支援学校 4人 藤沢養護学校 16人(6月の受入生徒と重複有) このほか白浜養護学校の校内実習への業務提供もおこなった。 | | | | | |
| 評価の理由 | H27年度から新たにひなたやま養護学校の受け入れを開始。 今後は庁内障がい者雇用の促進を目的に設置している「JOBチャレふじさわ」と連携し、より実践度の高い実習を実施する。 | | | | | |
| 今後の方向 | 養護学校の実習受入を実施する。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | H28年度事業計画 | | | | | |
| 課題・問題点 | ・労働会館が閉鎖したことに伴い、生徒の受入場所の確保が課題である。 ・今年度は産業労働課執務室にスペースを確保する予定。また他課での受入も積極的に行っていただくよう声かけをする。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当者 | 経済部 | | | |
|---|---|--------|-------|-------|-------|-------|
| 164 | 若年者就労支援事業(若者ごと応援塾・ユースワークふじさわ) | 担当課 | 産業労働課 | | | |
| 事業目的 二一やひきこもり等、困難を抱える若年者の自立・就労に向けて支援を行う。 | | | | | | |
| 事業内容 中学校在籍中に不登校等で卒業後においても進路が未決定の子どもたちに対して、学校や学校教育相談センターと連携し、当該生徒やその保護者への相談や支援プログラムを実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●若年者就労支援事業 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 25,497 | 25,428 | | | | |
| 決算額(千円) | 25,497 | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 若年者就労支援事業を実施した。 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・若年者就労支援事業受付数(199人) ・若年者就労支援事業利用者延べ人数(3,539人) ・進路決定者数(99人) ・市内4地区(尾後・善行・湘南大庭・鶴沼)で地域出張相談会を3回ずつ実施。 ・ハローワーク等との地域連絡会議を開催。 ・保護者セミナー・個別相談会を開催。 | | | | | |
| 評価の理由 | 受付者数、利用者数ともに昨年度に比べて増加した。また、地域出張相談会については、昨年度1回の実施だったが、4地区に拡大し、計12回(各地区3回ずつ)実施した。 | | | | | |
| 今後の方向 | ・事業周知のため、広報紙、ホームページ、地域の回覧板などで発信を行う。 ・地域出張相談会については、実施地区を覆えて行うなど試行実施を継続していき、さらなる潜在的ひきこもり者の掘り起こしを図る。 ・地域連携会議を定期的に行い、関係機関等と連携を図る。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | H28年度事業計画 若年者就労支援事業を実施する。 | | | | | |
| 課題・問題点 | ・事業周知 ・潜在的ひきこもり者の掘り起こし ・地域の関係機関等とのネットワーク構築 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 165(243) | 事業名 自立支援推進事業 | 担当課 担当課 | 福社部 生活保護課 |
|---|---------------------|---|--|
| <p>生活保護受給世帯の子ども、若者の健全育成と将来に向けた自立支援の推進</p> <p>事業目的 平成27年度から生活困窮者自立支援法施行に基づき、対象者を生活保護受給世帯だけでなく生活困窮世帯に拡大し支援を実施した。(H28)</p> <p>事業内容 0歳から概ね20歳の子ども、若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 ●支援を要する受給世帯への個別支援</p> | <p>H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> |
| 予算額(千円) | 4,654 | 5,030 | |
| 決算額(千円) | 4,654 | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>支援件数 65世帯77人</p> | | |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数 生活保護受給世帯 43世帯 ・生活困窮世帯 3世帯 ・日常生活支援(子どもとその親が日常的な生活習慣を身につけるための支援)16人 ・養育支援(ひきこもりや不登校・育児不安に関する支援)43人 ・就労支援(社会性が乏しく就職活動が困難な若者に対する就労準備支援と保護者に対する就労支援)10人 <p>※1人に対し他の支援との重複もあり。</p> | | <p>H27年度の総合評価</p> <p>評価</p> <p>B</p> <p>次年度 継続</p> | |
| <p>家庭訪問 81回</p> <p>家庭外訪問 10回</p> <p>電話相談 218回</p> <p>来所面談 80回</p> <p>同行支援 63回</p> <p>カンファレンス 33回</p> <p>関係者調整 108回</p> <p>研修 14回</p> | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援世帯はもとより児童相談所・関係機関との連携関係の構築により相談件数が増加し、支援の拡充につながった。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携協力をより支援の充実拡充が図れるよう、十分な情報交換、意見交換を行っていく。 | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。 ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等) | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数の増加に伴い、連携する関係機関も増加し、訪問等直接的援助のみならず、カンファレンス等の間接的な援助時間も増加しているため、学校やスクールソーシャルワーカー等をばしめとした関係者の理解を深め、連携強化を図っていく。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 166 | 事業名 自立支援推進事業(就労支援) | 担当課 担当課 | 福社部 生活保護課 |
|--|-----------------------|---|--|
| <p>生活保護受給者の就労による自立</p> <p>事業目的 15歳から64歳までの稼働年齢層で就労阻害要因のない生活保護受給者に対し、就労支援相談員を配置し、ケースワーカーと共に、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労支援を行い、就労による自立を図る。</p> <p>事業内容 ・ただちに就労に結びつことが困難な受給者に対しては、ユースワークふじさわ等を活用し、社会性を身につける等の就労準備支援を行う。</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 ●支援を要する受給者に対する個別支援</p> | <p>H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> |
| 予算額(千円) | 4,326 | 4,235 | |
| 決算額(千円) | 3,026 | | |
| 執行率(%) | 69.9 | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>支援総数293人</p> | | |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>平成26年12月に生活保護課に隣接する場所に設置した「ハローワーク」の常設窓口である「ジョブスポットふじさわ」や就労支援相談員、就労準備支援事業を活用・連携し、ケースワーカーが社会環境、経歴やスキル等を総合的に考慮するなど、個別の寄り添い型の就労支援・就労準備支援を実施した。</p> | | <p>H27年度の総合評価</p> <p>評価</p> <p>B</p> <p>次年度 継続</p> | |
| <p>1 就労支援プログラム</p> <p>①ハローワーク連携事業支援数 194人</p> <p>②ケースワーカー・就労相談員個別支援数 172人</p> <p>※①②重複支援あり。</p> <p>就職転職等による増収に至った件数 83人</p> <p>うち生活保護廃止に至った件数 23人</p> <p>2 就労準備支援事業活用者数 14人</p> | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に寄り添い型の支援を行ったことで、一定の効果が認められた。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携協力を一層強化し、より積極的に支援を展開していく。 | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アットリ」により、ただちに就労に結びつくことが困難な受給者をユースワークふじさわをばしめとした各種社会資源につなぎ就労準備支援を実施する。 | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知 ・希望職種と求人との乖離 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|---|------------|--------------|-------|
| 事業コード 167 | 事業名 生活困難者自立支援事業 (就労準備支援) | 担当部 福祉部 | 担当課 福祉総務課 | |
| 事業目的 生活困難者の就労による自立の促進を図る。 | | 変更(ある場合) | | |
| 事業内容 64歳までの稼働年齢層で直ちに一般就労することが困難な生活困難者に対し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図るため、計画的かつ一貫した支援を行う。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●支援を要する対象者に対する個別支援 | | | | |
| 実施 | → | → | → | → |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | | | |
| 予算額(千円) | 14,436 | | | |
| 決算額(千円) | 14,436 | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 生活困難者就労準備支援事業 支援対象者数(25名) | | | |
| 度末の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・社会福祉法人いきいき福祉社会・一般社団法人インクルージョンがかながわ共同事業体に業務を委託し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図った。 ※相談対応件数 延べ1,073回 (来所:231回、電話:678回、同行:77回、訪問:87回) ※就労に結びついたケース数 2名 ※就労体験を行ったケース数 9名 ※職場開拓・就労体験先開拓数 8団体11事業所 | | | |
| | 評価の理由 ・計画にのりた事業を行うことができた。 ・支援につなげた対象者を確実に自立に向けての支援を行うことができた。 ・就労体験先を増やすために企業や事業所と話をを行ったことで地域との連携が進んできていると考えられる。 | | | |
| | 今後の方向 ・就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図ることが必要な方への支援をするため、民生委員や福祉窓口などとの連携等について十分な情報交換・意見交換をしていくとともにアウトリーチによる介入を積極的に行う。 ・就労の体験できる場の確保をするため、事業についての説明を行い、職場の開拓をする。 | | | |
| | H28年度事業計画 ・社会福祉法人いきいき福祉社会・一般社団法人インクルージョンがかながわ共同事業体に業務委託し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図る。 | | | |
| 課題・問題点 ・支援対象者の早期発見をするために事業の周知の方法を検討する。 ・就労体験受入先の確保・拡充。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|--|----------------|----------------|----------------|
| 事業コード 168 | 事業名 子ども、若者育成支援事業 | 担当部 子ども青少年部 | 担当課 青少年課 | |
| 事業目的 二一・ひきこもりの社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、若者一人ひとりの自立を支援する。 | | 変更(ある場合) | | |
| 事業内容 ①湘南・横浜若者サポートステーションJ及びひきこもり若者しごと応援塾・ユースワークふじさわと連携し、面談(カウンセリング)をはじめ、福祉や保健・医療など、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | | | |
| 支援実施者数 100人 | 支援実施者数 100人 | 支援実施者数 100人 | 支援実施者数 100人 | 支援実施者数 100人 |
| 予算額(千円) | 10,917 | | | |
| 決算額(千円) | 10,916 | | | |
| 執行率(%) | 99.9 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 支援実施者数99人 度末の成果 | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・困難を有する若者やその家族に対して、適切な支援を受けられるよう、福祉や保健等といった機関への引き継ぎを行うなど、社会的自立に向けた支援としての第一歩につなげることができた。 | | | |
| | 評価の理由 ・目標値にほぼ近い人数まで、困難を有する若者への支援を実施できた。 | | | |
| | 今後の方向 ・義務教育終了後の進路未決定者等がひきこもり状態となるケースが多くなる状況から、早期支援を開始するため、学校教育相談センター等と連携して就学中からの支援を進めていく。 | | | |
| | H28年度事業計画 ・引き継ぎ関係諸機関との連携を図りながら個別の支援の充実を図っていく。 | | | |
| 課題・問題点 ・自立に向けた体験等の場の確保 ・潜在的な二一・ひきこもりの若者やその家族に対しての周知 ・外出が困難な人に対する訪問支援等の体制の整備 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 211(232) | 事業名 地域子育て支援センター事業 | 担当部 担当課 | 子ども青少年部 子育て企画課 |
|---|----------------------|--|--|
| <p>安心して子育てできるよう支援体制の充実に努め、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 地域の子育て支援拠点として、南・北保健センターや基幹保育所と相互に連携し、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポート事業を行う「子育て支援センター」を運営する。(H28)</p> <p>事業内容 子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポート事業など様々な子育て支援センターを運営する。</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 ●子育て支援センターの運営</p> <p>3か所の運営</p> | <p>H28年度 4か所の運営</p> |
| 予算額(千円) | 52,783 | 66,140 | |
| 決算額(千円) | 52,365 | | |
| 執行率(%) | 99.2 | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センター3か所の運営</p> | | <p>H29年度</p> | <p>H30年度</p> |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>度末の成果</p> | | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センターの3か所の延べ年間利用者数は61,907人、相談件数は9,322件、巡回子育てひろば(6か所)で開催の延べ年間利用者数は3,605人 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図られた。 | <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子でほっとできる場」があり良かった「子育てで悩んでいるのは自分だけじゃないの」がわかって気持ち軽くなった「友達たちができた」等、利用者の声からも、子育ての悩みや不安等の軽減を図ることができた。 |
| <p>評価</p> | | <p>H27年度の総合評価</p> | <p>H28年度の総合評価</p> |
| <p>評価</p> | | B | B |
| <p>次年度</p> | | 継続 | 継続 |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てでほっとできる場」があり良かった「子育てで悩んでいるのは自分だけじゃないの」がわかって気持ち軽くなった「友達たちができた」等、利用者の声からも、子育ての悩みや不安等の軽減を図ることができた。 ・「H28年度から辻堂及び六本木子育て支援センターに正副職員を各2名配置し、体制強化を図ったことにより、特に支援が必要な困難ケースに対しては、関係機関等との調整など、さらに迅速かつきめ細かな対応を行うほか、子育て世代包括支援センターとの連携体制で「利用者支援事業」をさらに充実する。 | | | |
| <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「H28年度から辻堂及び六本木子育て支援センターに正副職員を各2名配置し、体制強化を図ったことにより、特に支援が必要な困難ケースに対しては、関係機関等との調整など、さらに迅速かつきめ細かな対応を行うほか、子育て世代包括支援センターとの連携体制で「利用者支援事業」をさらに充実する。 | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を支持保護者を対象とした子育てひろばを充実 ・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施 ・保育サービスに関する情報提供 ・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整 ・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流 ・虐待予防講座としてBPP講座、NP講座を実施 | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立感を持つ母親に対する支援策として、期にわたるセンターの機能強化に併せ、妊娠前から子育て開始までの切れ目ない支援を図るため、さらなる周知を行い、南・北保健センターとの連携による子育て支援センターの利用拡大にも努める。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 212(233) | 事業名 つどいの広場事業 | 担当部 担当課 | 子ども青少年部 子育て企画課 |
|--|-----------------|---|---|
| <p>安心して子育てできるよう支援体制の充実に努め、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、子育て情報の提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域においてつどいの広場に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 ●つどいの広場の運営</p> <p>4か所の運営</p> | <p>H28年度</p> |
| 予算額(千円) | 17,152 | 17,580 | |
| 決算額(千円) | 16,663 | | |
| 執行率(%) | 97.1 | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>藤沢・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所に対するH27年度の成果</p> | | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとできる」親子で仲つたりした気持ちで過ごす等、利用者にとって安心できざる場であり、悩みや不安等が軽減されているため。 | <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとできる」親子で仲つたりした気持ちで過ごす等、利用者にとって安心できざる場であり、悩みや不安等が軽減されているため。 |
| <p>評価</p> | | <p>H27年度の総合評価</p> | <p>H28年度の総合評価</p> |
| <p>評価</p> | | B | B |
| <p>次年度</p> | | 継続 | 継続 |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとできる」親子で仲つたりした気持ちで過ごす等、利用者にとって安心できざる場であり、悩みや不安等が軽減されているため。 ・「身近な地域における子育て支援の場として、それ以外の地域の特色を生かした子育て支援を充実させる。 | | | |
| <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域における子育て支援の場として、それ以外の地域の特色を生かした子育て支援を充実させる。 | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供 ・相談・地域の情報提供等の実施 ・地域のニーズにあった子育て支援講習等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換の実施 ・職員研修の充実 | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターとの連携を充実させる。 ・子育て支援センターの巡回相談を充実させる。 ・育士などによる巡回相談を充実させる。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------------|-------------|---|---------|------------|--------|--------|--------|-------|
| 213 | 放課後児童健全育成事業 | 子ども青少年部 | 青少年課 | | | | | |
| 事業目的 | | 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ事業)を実施する。 | | | | | | |
| 事業内容 | | 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ事業)を実施する。 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | 児童クラブ定員数 | 3,119人 | 3,352人 | 3,606人 | 3,874人 | 4,074人 | |
| 予算額(千円) | | 600,051 | 630,891 | | | | | |
| 決算額(千円) | | 570,226 | | | | | | |
| 執行率(%) | | 95.0 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | 児童クラブ入所希望児童の入所率(100%) | | H27年度の総合評価 | | 評価 | | 次年度 |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・平成27年3月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、10カ所に放課後児童クラブを整備した。</p> <p>○建設5カ所…ひだまり児童クラブ(鶴沼小学校区)、キラワネ児童クラブ(村岡小学校区、村岡子ども家併設)、かわせみ児童クラブ(大道小学校区)、虹の子児童クラブ(善行小学校区)、葉の花児童クラブ(富士見台小学校区)。</p> <p>○定員確保対策5カ所…第21までん児童クラブ(鶴沼小学校区)、第22わかやか児童クラブ(藤沢小学校区)、第23よかけ児童クラブ(天神小学校区)、第24小羊児童クラブ(羽鳥小学校区)、第25竹の子児童クラブ(八松小学校区)。</p> <p>※第21までん児童クラブについては、平成28年4月からひだまり児童クラブに定員吸収</p> <p>・平成28年度の整備に向け、検討・調整を行った。</p> | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・入所要件を満たさず入所希望児童の入所率は100%であり、目標を達成しているため。</p> <p>・整備計画に基づき具体的な施設整備を進めている。</p> <p>今後の方向</p> <p>・整備計画に基づき具体的な施設整備を進めている。</p> | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・H28年度事業計画</p> <p>・整備計画に基づき、既存施設の拡充及び新設箇所の選定等を行うとともに、既存事業者以外の新たな運営事業者の募集についても、検討を行う。</p> <p>・現在臨行的に行っている特別な支援が必要な児童の受け入れについて、施設状況、介助員の配置、クラブまでの移動等の課題を整理し、受け入れに向けた整理を行う。</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------------|--------|--|--------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 214 | 母子保健事業 | 子ども青少年部 | 子ども健康課 | | | | | |
| 事業目的 | | 健全な母性・父性の育成を目指し、思春期保健を推進する。 | | | | | | |
| 事業内容 | | 思春期における心身の変化や特有な問題について啓蒙を行い、性の不安や悩み等に対処できる力を促す。 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | 思春期講演会の開催 | 年1回 | → | → | → | → | → |
| ●思春期保健教育の実施 | | 10校 | → | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | | 64,682 | 62,571 | | | | | |
| 決算額(千円) | | 58,349 | | | | | | |
| 執行率(%) | | 90.2 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | 思春期講演会の開催 1回/年度 | | H27年度の総合評価 | | 評価 | | 次年度 |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・思春期の子どもの特徴や課題を理解するため、思春期の子どもを支援する学校職員、養護教諭、母子保健従事者など思春期の子どもへの関わり方を学ぶことで、よりよい関係を築くことを目的として講演会を開催し、参加者から「講演内容が良かった。」「子どもとの関わり方の参考になった。」など好評を博した。</p> <p>※12月14日 14:00～16:00 藤沢市保健医療センター 3階 研修室</p> <p>・思春期にある子どもたちが、自分自身を大切にし、健全な成長と母性の健康保持増進を図れるよう保健師による思春期保健教育を実施した。</p> <p>・思春期保健教育出張講座</p> <p>小学校1校・中学校5校・高校1校 計7校</p> | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・講演会については、計画通り行うことができた。</p> <p>・思春期保健教育については、当初の計画より実施校数が少なかった。</p> <p>今後の方向</p> <p>・講演会については、目的に合った講師を選ぶこと、市内南北地域で交互に開催するなど、会場選びの検討もしていく。</p> <p>・思春期保健教育については、子どもや保護者が性について正しい知識や避妊方法、病気の予防について理解できるような啓蒙を広めるために、課内のスキルアップと事業周知を行っていく。</p> | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・H28年度事業計画</p> <p>・講演会については、内容・講師・日時・会場などを年度明けから計画し、事業周知を広く行いながら実施していく。</p> <p>・思春期保健教育については、小・中学校長や教頭、養護教諭部会で周知と出張講座依頼を呼びかけ、多くの保健師が事業に携われるようにする。</p> | | | | | | |
| 課題・問題点 | | <p>・講演会・地域でも思春期保健に関する講演会が実施されている現状があり、母子保健で行う思春期保健教育についての相点で計画できるよう工夫が必要である。</p> <p>・思春期保健教育・学校ごとに学習目標や依頼内容が異なるため、事前打ち合わせを密にする必要がある。</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
|---|---|---------|---------------------------------|---------|---------|---------|-------|--|
| Z15(204・724・931) | 学校・家庭・地域連携推進事業 | 学校教育企画課 | ●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会、業務委託の実施) | | | | | |
| 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。 | | | | | | | | |
| 事業目的 | | | | | | | | |
| ●地域協力の強化(会長会)において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や家庭教育に関わる事業等を実施する。 | | | | | | | | |
| ●PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。 | | | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | | | |
| ●中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や家庭教育に関わる事業等を実施する。 | | | | | | | | |
| ●PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。 | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 参加者総数 | 33,100人 | 33,200人 | 33,300人 | 33,400人 | 33,500人 | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → | | |
| 予算額(千円) | 5,574 | 5,574 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 5,460 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 98.0 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人 PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施 | | | | | | | |
| 評価 | B | | | | | | | |
| 評価の理由 | ●学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 *1「会長会」の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換、他団体との意見交換、実績報告等) *各地域事業総数 119事業 *各地域事業、会議等参加者数 33,390人 *「SNS講習会」や「国際親善いどばた会議」「子どものお金の教育」等、家庭教育力の向上につながる講演会を実施した。 ●藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。 *広報紙の発行 年3回(7月 11月 3月) *各校PTAの発行情況調査の実施 *講演会の実施 「PEP TALK! 子どものやる気を起こす魔法の言葉」子育てでや日常の人間関係に活用できる言葉がけについて学ぶことができた。 ●藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回 ●地域の教育力向上を図る事業を実施 *ふじさわ教育フォーラムの開催 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3.5 13:30~16:20 湘南NDビル 課題・問題点 | | | | | | | |
| 今後の方向 | ●学校・家庭・地域の連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換、意見交換をしていく。 ●様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。 ●藤沢市PTA連絡協議会への委託事業について、周知を図る。 | | | | | | | |
| H28年度事業計画 | ●学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ●藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。 ●藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース) ●学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。 | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
|--|--|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| Z21 | 幼稚園協会等補助金事業 | 子ども青少年部 保育課 | ●運営補助 | | | | | |
| 事業目的 | | | | | | | | |
| ●幼稚園及び幼児教育施設の教職員の資質向上 ●幼児教育の充実及び活動支援 | | | | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | | | |
| ●藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員研修、研究費及び私立幼稚園協会等の運営活動に補助を行う。 | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → | | |
| 予算額(千円) | 4,630 | 4,630 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 4,630 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 幼稚園協会に対する補助金 4,030千円 幼児教育協議会に対する補助金 600千円 | | | | | | | |
| 評価 | B | | | | | | | |
| 評価の理由 | ●H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●年度当初(4月1日)に補助金交付決定を行い、6月、10月、2月の年3回に分けて、交付決定額の1/3ずつ補助金を支出した。 ●年間3回の補助金交付により、幼稚園協会、幼児教育協議会の安定した運営を支援することができた。 ●予算の執行率は100%ではあるが、事業内容が補給金交付であり、もともと目標という概念が無いが、 ●今後とも補助を継続し、幼児教育の推進を図る。 | | | | | | | |
| H28年度事業計画 | ●藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の研究・研修費、及び運営活動に補助を行う。 | | | | | | | |
| 課題・問題点 | ●補助金交付を目的とする事業としての評価が困難である。 | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|--|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 222 | 幼稚園等就園奨励費補助金事業 | 子ども青少年部 保育課 | | | | | |
| <p>事業目的 保護者の経済的負担の軽減を図ること、幼稚園等への就園を奨励する。</p> <p>事業内容 保護者の経済的負担の軽減を図るために、就園している園児の保育料を、園児の世帯の所得状況や兄弟の人数に応じた減免を行った幼稚園等の設置者に対して、減免相当額の補助を行う。</p> | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 841,411 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 805,577 | | | | | | |
| 執行率(%) | 95.7 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>●設置者への補助</p> <p>保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成する。 ・補助金交付対象者: 7,469人 ・補助金交付施設: 108園</p> | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>●保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成した。 【スケジュール】 ・6月中旬: 補助金交付申請書受理(当初分) ・11月中旬: 補助金交付申請書受理(追加分) ・12月中旬: 補助金交付(当初分) ・2月上旬: 補助金交付(追加分) 【補助内訳】 ・補助金交付対象者: 7,469人 ・補助金交付対象施設: 108園 ・補助金交付額: 805,576,745円</p> | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>●保護者の経済的負担を軽減すること、幼稚園等の就園を奨励することができ、幼児教育の推進が図られた。 ・今後も補助を継続していく。</p> | | | | | | |
| 今後の方向 | <p>●今後も補助を継続していく。</p> | | | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>●本市在住児童が在籍し、その保護者の所得状況に応じ、保育料を減免する幼稚園・幼児教育施設に対し、減免額を補助金として助成する。</p> | | | | | | |
| 課題・問題点 | <p>●園庫補助対象事業であり、園が「幼児教育の無償化」に向けた取り組みを段階的に推進する。」としていることから、国の動向に注視する必要がある。</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|---|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 223 | 幼児教育振興助成事業 | 子ども青少年部 保育課 | | | | | |
| <p>事業目的 市内幼稚園等の教育環境及び衛生管理事業の充実 ・保護者の経済的負担軽減</p> <p>事業内容 市内幼稚園及び幼児教育施設の教員・保育士の購入及び衛生管理事業に対して、補助金を交付する。</p> | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 20,813 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 20,267 | | | | | | |
| 執行率(%) | 97.4 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>●市内幼稚園等への補助</p> <p>市内私立幼稚園(33園)・幼児教育施設(11園)に対する補助金交付 ・市内私立幼稚園(33園): 19,057,400円 ・私立幼稚園(11園): 1,209,400円</p> | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>●10月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。 【補助金額】 ・私立幼稚園(33園): 19,057,400円 ・幼児教育施設(11園): 1,209,400円</p> | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>●市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。 ・今後も補助を継続していく。</p> | | | | | | |
| 今後の方向 | <p>●今後も補助を継続していく。</p> | | | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>●市内私立幼稚園33園と幼児教育施設12園に対し、園員や教材教具等の購入経費、及び健康管理事業に要する経費等を助成する。</p> | | | | | | |
| 課題・問題点 | <p>●特に無し</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 224 | 事業名 幼稚園等預かり保育推進事業 | 担当部 担当課 | 子ども青少年部 保育課 |
|--|----------------------|--|---|
| <p>幼稚園が行う預かり保育の人員費等を助成することにより、保育料の軽減や保護者の就労機会の拡大を図る。</p> <p>事業目的 保育を必要とする児童の保護者が、保育所だけでなく幼稚園も選択できるような環境づくりの一として、預かり保育(延長保育)を実施した私立幼稚園の設置者に対して、実施に要する人件費及び保育経費の助成を行う。</p> <p>事業内容 ●人件費等の助成</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 →</p> <p>H28年度 →</p> <p>H29年度 →</p> <p>H30年度 →</p> <p>H31年度 →</p> | <p>評価</p> <p>B</p> <p>次年度</p> <p>継続</p> |
| <p>予算額(千円) 23,710</p> <p>決算額(千円) 19,792</p> <p>執行率(%) 83.5</p> | <p>28,049</p> | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私学助成対象幼稚園が実施する預かり保育について、実績に応じて補助金を交付した。また、施設型給付幼稚園が実施する一時預かり保育に対しては業務委託を行った。 ・藤沢市私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 26園 15,080,000円 ・幼稚園長時間預かり保育支援事業補助金 1園(市外) 1,368,000円 ・幼稚園型一時預かり事業 8園 3,343,720円 | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度においては、預かり保育の実績が当初予定を下回ってしまっただため ・保育需要の増加に対応するため、保育を必要とする保護者が保育施設だけでなく幼稚園も選択できるよう、また、小規模保育事業所等からの卒園児の受け皿となるよう、幼稚園における預かり保育の長時間化を推進する。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度事業計画 ・幼稚園に対する従来の預かり保育の開設時間・開設日数による補助制度を見直し、年間を通して継続的に開園日に預かり保育を実施する場合は人件費に對して助成を行う。また、夏期休業等の長期休業期間における預かり保育を推進し、保護者の多様な保育ニーズに対応していく。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード 225 | 事業名 幼稚園・保育所・小学校 中学校 特別支援学校連携推進事業 | 担当部 担当課 | 子ども青少年部 教育指導課・保育課 |
|--|-------------------------------------|--|---|
| <p>園児等が小学校の様子を知ることにより、就学後、児童の学校生活がスムーズに行える。(小1プロブレムの解消)</p> <p>・中1ギャップの解消と、義務教育9年間を見通した教育を推進する。</p> <p>事業目的 ・幼稚園・保育所・小・中・特別支援学校の関係者、学識経験者等からなる「幼・保・小・中連携推進協議会」を設置し、幼児教育と小・特別支援学校や小学校と中・特別支援学校の教育の充実及び連携の推進を図るため、協議・研修・研修・交流を行う。</p> <p>事業内容 ・就学前の園児等の小学校訪問及び小学校児童と中学校生徒の交流の推進など、校種間の連携を図る。</p> <p>・校種間教職員の見学交換を積極的に行う。</p> <p>・小中一貫教育の実現の可能性等について研究するとともに連携の推進を図る。</p> | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> | | <p>H27年度 →</p> <p>H28年度 →</p> <p>H29年度 →</p> <p>H30年度 →</p> <p>H31年度 →</p> | <p>評価</p> <p>B</p> <p>次年度</p> <p>継続</p> |
| <p>予算額(千円) 30</p> <p>決算額(千円) 0</p> <p>執行率(%) 0.0</p> | <p>30</p> | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所、小学校、中学校、特別支援学校連携推進担当者会を開催した。小中学校担当者53名と白浜養護学校担当者1名、幼稚園・保育所の担当者28名が出席し、連携にかかわる実践の紹介や情報交換を行った。 ・幼・保、小、中、特別支援学校の職員を対象に合同研修会を行い、連携の必要性や課題、具体的な実践等についての講演を聞き理解を深めた。また、地域協力者会議の代表の方々を招き、地域・家庭・学校の連携活動を紹介した。 ・中学校学区を中心とした近隣の学校や園の間で、年間計画を基に交流、学校見学などについて調整し、交流を実施した。地域の学校や園の教員が協力し合う素地ができた。また、各小学校間の情報交換により、支援を必要とする児童生徒に、きめ細かい支援が継続できるようになった。 ・各校からの異校種間交流の実践報告を受け、それらをまとめた冊子「平成27年度幼保小中特連携実践事例集」を作成した。今まで見られなかった新しい試みや、交流の深まりや広がり報告された。 <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所や私立幼稚園へ担当若手の派遣連携をする際の参加が少ないこと。 ・幼稚園にも実践事例集の原稿執筆を依頼しているが、回収方法に一考を要する。 ・行事の交流や教職員の情報交換などが中心であるため、継続的な学びという視点で教育活動や指導に生かすところまでには至っていない。 | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中特連携についての必要性や効果について、いただいた理解が深まり、幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携については全校で実施されている。実施内容は職員間の情報交換や幼児と児童生徒の交流が行われた。 ・今後の方向 ・幼保小中特の教員が「義務教育を終える段階で身に付けておくべきこととは何か」という観点を共有しながら、幼児教育、小学校教育、中学校教育をそれぞれ必要である。幼児教育を基礎として、小学校9年間を見通して、どのように子どもたちの資質や能力を伸ばしていくのかを考えることと、子どもひとりひとりの個々の発達段階や教育的ニーズを踏まえた実践を推進していく。 <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中特特別支援学校間の連携を推進し、校種間の円滑な接続及び幼児期の教育を基礎として、義務教育9年間を見通した教育の推進を図る。 ・活動の実践事例集の活用を図り、教育連携の実践に役立てる。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 子育てふれあいコーナー事業 | 担当課 | 子ども青少年部 子育て企画課 | | |
|---|---------------|---|------------------|-------------------|------------|------------|
| 231 | 子育てふれあいコーナー事業 | 地域において、子育て中の親子の交流や相談の場を提供し、子育てに対する不安や悩みの軽減を図る。 | 子育て企画課 | 子ども青少年部 子育て企画課 | | |
| <p>事業目的 地域において、子育て中の親子の交流や相談の場を提供し、子育てに対する不安や悩みの軽減を図る。</p> <p>事業内容 地域子供の家や児童館等において、保育士や子育てボランティアなどによる子育て中の親子の交流、情報提供、育児相談を実施する。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | H27年度 21か所で実施 | H28年度 22か所で実施 | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → |
| 予算額(千円) | | 486 | 460 | | | |
| 決算額(千円) | | 342 | | | | |
| 執行率(%) | | 70.4 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 地域子供の家及び児童館の21か所で実施 | | 評価 | | 次年度 継続 |
| 年度末の成果 | | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・あいあい地域子供の家17か所、児童館4か所、計21か所で月1回(3・4・8月は休み)実施 ・年間187日実施、延べ年間利用者数2,971人 ・きらさらぼし藤沢・八松、湘南台子どもの家にて、週1回(8月は休み)実施 ・年間99日実施、延べ年間利用者数は1,424人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力、18人新規登録 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施 | | H27年度の総合評価 | | B |
| 評価の理由 | | ・H26年度より利用者数が増加しており、利用者がピーターとなつてきていること、親子で安心して過ごせる場、相談できる場として、子育ての不安等の軽減がされているため。 | | 今後の方向 | | 継続 |
| 課題・問題点 | | ・子育てボランティア数が増加しているが、実際に活動開始となると、体調関係で欠席等もあり、シフト調整が困難となり活動可能なボランティアが限定される地域もある。1回500円で上限5,000円の見直しも検討するとともに、ボランティアが少ない地域の募集の周知に努める。 | | H28年度事業計画 | | |
| | | ・あいあい石川児童館でも開催となり、きらさらぼしと合わせて22か所で実施。 ・子育てボランティア数は60人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施予定 | | H28年度事業計画 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 地域子育て支援センター事業 | 担当課 | 子ども青少年部 子育て企画課 | | |
|---|---------------|--|-----------------|-------------------|------------|------------|
| 232(211) | 地域子育て支援センター事業 | 安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。 | 子育て企画課 | 子ども青少年部 子育て企画課 | | |
| <p>事業目的 地域の子育て支援拠点として、南・北保健センターや基幹保育所と相互に連携し、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポートの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う(子育て支援センター)を運営する。(H28)</p> <p>事業内容 地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポートの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う(子育て支援センター)を運営する。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | H27年度 3か所の運営 | H28年度 4か所の運営 | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → |
| 予算額(千円) | | 52,783 | 66,140 | | | |
| 決算額(千円) | | 52,365 | | | | |
| 執行率(%) | | 99.2 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センター3か所 | | 評価 | | 次年度 継続 |
| 年度末の成果 | | H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センターの3か所の延べ年間利用者数は61,907人、相談件数は9,322件、巡回子育てひろば(6か所で開催)の延べ年間利用者数は3,605人 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。 | | H27年度の総合評価 | | B |
| 評価の理由 | | ・親子でほっとできる場があり良かった(子育てで悩んでいるのは自分だけじゃない)がわかって気持ち軽くなった(友だちができた)等、利用者の声からも、子育ての悩みや不安等の軽減を図ることができたため。 | | 今後の方向 | | 継続 |
| 課題・問題点 | | ・H28年度から辻堂及び六雲子育て支援センターに正帰職員の保育士を各2名配置し、体制強化を図ったことにより、特に支援が必要な困難ケースに対しては、関係機関等との調整など、さらに迅速かつきめ細かな対応を行うほか、子育て世代包括支援センターとの連携体制で「利用者支援事業」をさらに充実する。 | | H28年度事業計画 | | |
| | | ・子育て支援センターの早期支援としての0～6か月児を待つ保護者を対象とした子育てひろばを充実 ・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業の実施 ・保育士・ベテランに関する情報提供 ・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整、基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流 ・虐待予防講座としてBSP講座、NP講座を実施 | | H28年度事業計画 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------|--|---------|--------|---|-------|-------|-------|-------|
| 233(212) | 子どもの健やかな育ちを支援する。 | 子ども青少年部 | 子育て企画課 | | | | | |
| | 安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。 | | | | | | | |
| | 事業目的 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。 | | | | | | | |
| | 事業内容 ・親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。 | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | | 4か所の運営 | → | → | → | → |
| | 予算額(千円) | 17,152 | 17,580 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 16,663 | | | | | | |
| | 執行率(%) | 97.1 | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | 鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の運営 | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | ・鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の延べ年間利用者数は20,992人、相談件数は1,655件 ・藤沢つどいの広場の開催は フリースペース「にこにこ」 明治 月3回 子育てでさるんのひのび 遠藤 月1回 子育てひろばタンホボ 長後 月3回 大庭子育てひろばひよよ広場 湘南大庭 月1回 子育てフレイルーム 藤沢 月1回 むらつひろば 村岡 月2回 ・地域において、主に乳幼児とその家族が交流できる場所を提供し、子育てに関する相談・情報提供・講習等を行うことで、子育ての不安等が軽減された。 | | | | |
| | 評価の理由 | | | ・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとする」親子でゆったりとした気持ちで過ごせる」等、利用者にとって安心できる場であり、悩みや不安等が軽減されているため。 | | | | |
| | 今後の方向 | | | ・身近な地域における子育て支援の場として、それぞれ地域の特徴を生かした子育て支援を充実させる。 | | | | |
| | H28年度事業計画 | | | ・子育て親子の交流の場の提供 ・相談・地域の情報提供等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会の実施 ・職員の研修の充実 | | | | |
| | 課題・問題点 | | | ・子育て支援センターとの連携を図り、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談を充実させる。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|------------------|---|-------|---------|---|---------|---------|---------|---------|
| 234(216-724-031) | 子どもの健やかな育ちを支援する。 | 教育振興部 | 学校教育企画課 | | | | | |
| | 安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。 | | | | | | | |
| | 事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。 | | | | | | | |
| | 事業内容 ・中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や地域づくりに関わる事業を実施する。 | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | | 参加者総数 33,100人 | 33,200人 | 33,300人 | 33,400人 | 33,500人 |
| | 予算額(千円) | 5,574 | 5,574 | | | | | |
| | 決算額(千円) | 5,460 | | | | | | |
| | 執行率(%) | 98.0 | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | 「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人 | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 *「会長会」の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) *各地域事業総数 119事業 *各地域事業参加者数 33,390人 *地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合 い、実施事業に活かした。 *「家庭科ミシン補助」「知作り支援」「学校別ふれあい事業」「アジサイまつり」「郷土の散策」等、学校支援や、地域住民と子どもたちが世代を超えてふれあう事業を実施した。 | | | | |
| | 評価の理由 | | | ・計画どおりの事業を行うことができた。 | | | | |
| | 今後の方向 | | | ・学校・家庭・地域で連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。 | | | | |
| | H28年度事業計画 | | | ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 | | | | |
| | 課題・問題点 | | | ・より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 要保護標準要保護児童・生徒援助事業 | 担当部 | 担当課 | 実施状況 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|--------------------------------------|--|--------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 241 | 要保護標準要保護児童・生徒援助事業 | 教育部 学務保健課 | 福社部 福祉総務課 | 家(ある場合) | | | | | | |
| | 事業目的 | <p>保護者の経済的負担の軽減 ・義務教育の円滑な推進</p> | | | | | | | | |
| | 事業内容 | <p>経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費などを援助する。</p> | | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>実施 → → → → →</p> | | | | | | | | |
| | 予算額(千円) | 235,023 | 242,050 | | | | | | | |
| | 決算額(千円) | 189,826 | | | | | | | | |
| | 執行率(%) | 80.8 | | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>市立小中学校全校を対象に実施</p> | | | | | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | H30年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | H31年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | 評価 | <p>H27年度の総合評価 B 次年度 継続</p> | | | | | | | | |
| | 評価の理由 | <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,363人 中学生 2,013人 計 5,376人</p> | | | | | | | | |
| | 今後の方向 | <p>・今後も、保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な推進を図るために就学援助制度を実施する。</p> | | | | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <p>・就学援助の申請受付を、認定審査を経て、認定者に対し9月、1月、3月、7月、9月の5回に分けて学用品費・修学旅行費、社会見学費、学校給食費(中学校のみ)、卒業アルバム購入費等を支給する。医療費、めがね購入費等は随時、支給する。</p> | | | | | | | | |
| | 課題・問題点 | <p>・特になし</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 生活困難者自立支援事業 | 担当部 | 担当課 | 実施状況 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|-------|--------------------------------------|---|--------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 242 | 生活困難者自立支援事業 | 生活困難者自立支援事業 | 福社部 福祉総務課 | 家(ある場合) | | | | | | |
| | 事業目的 | <p>生活保護受給世帯及び生活困難世帯の子どもに対する学習支援等を通じて、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止する。</p> | | | | | | | | |
| | 事業内容 | <p>対象となる子どもの状況に応じて、学習の場所・機会の提供や受験等に関する情報提供、順調な学校生活を送るための生活相談に関する支援等を行う。</p> | | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>実施 → → → → →</p> | | | | | | | | |
| | 予算額(千円) | 11,113 | 16,670 | | | | | | | |
| | 決算額(千円) | 11,108 | | | | | | | | |
| | 執行率(%) | 99.9 | | | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>子どもの学習支援事業 利用者数(北部:28人、南部:83人)</p> | | | | | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部と南部で事業を実施。 【北部】 ※開催日数 延べ76回 (月曜日と第2・第4金曜日16時30分～20時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:7名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者9名) 【南部】 ※開催日数 延べ153回 (水・金曜日15時30分～18時30分、土曜日13時30分～18時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:21名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者16名) 【全県】 ※開催日数(全3回) ※課外事業(全4回) 予いキャンパス:6/14(参加者6名)、添いそゆうめん:8/5(参加者6名)、科学実験&スポーツ大会:11/28(参加者4名)、も5つき:1/10、参加者7名 ※食育の日(全6回)10月より1回開催</p> | | | | | | | | |
| | H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部と南部で事業を実施。 【北部】 ※開催日数 延べ76回 (月曜日と第2・第4金曜日16時30分～20時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:7名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者9名) 【南部】 ※開催日数 延べ153回 (水・金曜日15時30分～18時30分、土曜日13時30分～18時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:21名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者16名) 【全県】 ※開催日数(全3回) ※課外事業(全4回) 予いキャンパス:6/14(参加者6名)、添いそゆうめん:8/5(参加者6名)、科学実験&スポーツ大会:11/28(参加者4名)、も5つき:1/10、参加者7名 ※食育の日(全6回)10月より1回開催</p> | | | | | | | | |
| | H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部と南部で事業を実施。 【北部】 ※開催日数 延べ76回 (月曜日と第2・第4金曜日16時30分～20時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:7名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者9名) 【南部】 ※開催日数 延べ153回 (水・金曜日15時30分～18時30分、土曜日13時30分～18時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:21名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者16名) 【全県】 ※開催日数(全3回) ※課外事業(全4回) 予いキャンパス:6/14(参加者6名)、添いそゆうめん:8/5(参加者6名)、科学実験&スポーツ大会:11/28(参加者4名)、も5つき:1/10、参加者7名 ※食育の日(全6回)10月より1回開催</p> | | | | | | | | |
| | H30年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部と南部で事業を実施。 【北部】 ※開催日数 延べ76回 (月曜日と第2・第4金曜日16時30分～20時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:7名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者9名) 【南部】 ※開催日数 延べ153回 (水・金曜日15時30分～18時30分、土曜日13時30分～18時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:21名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者16名) 【全県】 ※開催日数(全3回) ※課外事業(全4回) 予いキャンパス:6/14(参加者6名)、添いそゆうめん:8/5(参加者6名)、科学実験&スポーツ大会:11/28(参加者4名)、も5つき:1/10、参加者7名 ※食育の日(全6回)10月より1回開催</p> | | | | | | | | |
| | H31年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部と南部で事業を実施。 【北部】 ※開催日数 延べ76回 (月曜日と第2・第4金曜日16時30分～20時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:7名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者9名) 【南部】 ※開催日数 延べ153回 (水・金曜日15時30分～18時30分、土曜日13時30分～18時) ※参加延べ人数:3274名(平均参加者数:21名) ※中学生卒業後進路状況 進学率100%(対象者16名) 【全県】 ※開催日数(全3回) ※課外事業(全4回) 予いキャンパス:6/14(参加者6名)、添いそゆうめん:8/5(参加者6名)、科学実験&スポーツ大会:11/28(参加者4名)、も5つき:1/10、参加者7名 ※食育の日(全6回)10月より1回開催</p> | | | | | | | | |
| | 評価 | <p>H27年度の総合評価 B 次年度 継続</p> | | | | | | | | |
| | 評価の理由 | <p>・計画とおりの事業を実施することができた。 ・高校進学率も100%であり、対象となる子どもの状況に応じて支援を提供することができている。</p> | | | | | | | | |
| | 今後の方向 | <p>・事業を周知するため、校長会等に参加し事業の説明を行い、学校との連携のあり方も含め情報交換・意見交換を行っていく。 ・委託事業所のキャパシティのことや参加人数等の状況を確認し、必要に応じて事業の拡充についても検討していく。</p> | | | | | | | | |
| | H28年度事業計画 | <p>・子どもの学習支援事業を引き続きNPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南7カ所等と連携し、北部・南部に加え、湘南大庭地区でも事業を実施する。</p> | | | | | | | | |
| | 課題・問題点 | <p>・事業についてのさらなる周知。</p> | | | | | | | | |
| | 事業についてのさらなる周知 | <p>・事業についてのさらなる周知。</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 福祉部 | | |
|---|---|-------|-------|-------|-------|
| 243(165) | 自立支援推進事業 | 担当課 | 生活支援課 | | |
| <p>事業目的 平成27年度から生活困難者自立支援法施行に基づき、対象者を生活保護受給世帯だけでなく生活困窮世帯に拡大し支援を実施した。(H28)</p> <p>事業内容 0歳から概ね20歳の子ども、若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配属し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。</p> | | | | | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●支援を要する受給世帯への個別支援 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 4,654 | 5,030 | | | |
| 決算額(千円) | 4,654 | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 支援件数 65世帯77人 | | | | |
| 度末の成果 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・支援件数 生活保護受給世帯 49世帯 (再掲)</p> <p>生活困窮世帯 3世帯</p> <p>・教育支援(子ども学校生活・進路等)に関する支援 62人</p> <p>※1人に対し、事業コード165の他の支援との重複もあり。</p> | | | | |
| 評価の理由 | <p>・アウトリーチ型支援の実施により不登校・ひきこもり児童生徒を学校や学習支援事業所への定期通所につなげた。</p> <p>・引き継ぎ、関係機関と連携し、切れ目のない寄り添い型の支援を実施していく。</p> | | | | |
| 今後の方向 | <p>H28年度事業計画</p> <p>・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。</p> <p>・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)</p> | | | | |
| 課題・問題点 | <p>・事業の周知徹底。(特に県域 県立高校等)</p> <p>・支援件数増加に伴う、支援員の勤務時間増。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 教育部 | | |
|---|---|-----------|------------|----------|----------|
| 311 | 特別支援教育整備事業 | 担当課 | 教育指導課 | | |
| <p>事業目的 特別支援学級や通級指導教室など、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた教育の場の整備</p> <p>事業内容 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。</p> | | | | | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●通級指導教室 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 中里小すまいる開校準備 | 中里小すまいる開校 | 通級指導教室開設準備 | 通級指導教室開設 | 通級指導教室開設 |
| | ●特別支援学級 | 大庭中に増設 | 秋葉台小開設準備 | 秋葉台小開設 | 大越小に開設 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 秋葉台小特学検討 | 秋葉台小特学検討 | 大越小特学検討 | 大越小特学検討 | 大越小特学検討 |
| 予算額(千円) | 17,825 | 0 | 通級指導教室検討 | 通級指導教室検討 | 通級指導教室検討 |
| 決算額(千円) | 15,946 | | | | |
| 執行率(%) | 89.5 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の授業環境の整備を行った。 | | | | |
| 度末の成果 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・中里小学校に通級指導教室「すまいる」を開設する「ため」に教室等の工事や準備を行った。</p> <p>・大庭中学校の特別支援学級の増設工事を行った。</p> | | | | |
| 評価の理由 | <p>・中里小学校に通級指導教室「すまいる」を開設するための工事や準備、大庭中学校の特別支援学級の増設工事を行うことができた。</p> | | | | |
| 今後の方向 | <p>・特別支援学級については、早期の全校設置を目指して、特別支援学級仕様スタンダードを見直し、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。</p> <p>・通級指導教室については、ニーズやその形態等も含めて、開設を検討していく。</p> | | | | |
| 課題・問題点 | <p>H28年度事業計画</p> <p>・特別支援学級の開設を検討する。</p> <p>・通級指導教室の児童数の推移を見ながら、開設について検討する。</p> | | | | |
| 特別支援学級については、早期の全校設置を目指して、特別支援学級仕様スタンダードを見直し、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。 | | | | | |
| 通級指導教室については、ニーズやその形態等も含めて、開設を検討していく。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | | |
|--|--------------------------------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 312 | 新入生サポート事業 | 教育部 | 学務保健課 | | | |
| <p>事業目的 ・児童・生徒の定着及び学習意欲の向上並びに集団生活への適応を促進し、安定した学校生活を身につけさせ、教育効果の向上を図る。</p> <p>事業内容 ・市立小学校1年生を対象にして市費講師を配置する。 ・新任講師対象の研修会1回、全講師対象の研修会1回を実施する。 ・校内研修を各講師に対して年間21時間実施する。</p> | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●市費講師の配置 ●研修の実施 | → | → | → | → |
| | 予算額(千円) | 25,535 | 25,786 | | | |
| | 決算額(千円) | 25,369 | | | | |
| | 執行率(%) | 99.3 | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置 | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・計画どおり小学校1年生に市費講師を適性に配置したことにより、基本教科を中心に生活習慣を含めティームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。 ・研修を実施したことにより、担任とサポート講師の連携が深まるなど事業が円滑に行われた。 | | | | |
| | 評価の理由 | ・計画どおりの事業を行うことができた。 | | | | |
| | 今後の方向 | ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置の継続。 ・事故防止研修の実施。 | | | | |
| | H28年度事業計画 | ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置。 ・校内研修各講師21時間。 ・新任講師対象の研修会1回実施。 ・全講師対象の研修会1回実施。 | | | | |
| | 課題・問題点 | ・事故防止研修の時間の確保が課題となっている。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | | |
|--|--------------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 313 | 学校図書館管理運営事業 | 教育部 | 教育指導課 | | | |
| <p>事業目的 ・児童生徒の読書活動の充進と学校図書館の活性化を図る。 ・地域公立図書館との連携を図ることにより、児童生徒がより多くの本と出会う機会を増やす。</p> <p>事業内容 ・学校図書館運営指針に基づき、学校図書館機能の充実を図る。 ・市立小中学校の学校図書館に、「学校図書館専門員」を置き、学校図書館業務の円滑な運営を支援する。</p> | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●学校図書館専門員の配置 ●学校図書館専門員連絡会 ●学校図書館ガイドブック策定 | → | → | → | → |
| | 予算額(千円) | 38,964 | 38,964 | | | |
| | 決算額(千円) | 38,712 | | | | |
| | 執行率(%) | 99.4 | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 学校図書館専門員を市立小・中・全54校に配置し、学校図書館を運営した。 | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・平成27年、28年の2年計画で、学校図書館ガイドブックを作成している。司書教諭を中心とした学校の図書部と学校図書館専門員と図書ボランティアの役割分担や、学校図書館運営に関する活動内容や業務について、ガイドブック作成部会を中心に検討した。 ・学校図書館専門員連絡会を年5回開催し、公立図書館との連携による情報の提供や研修や、ガイドブックの内容検討を実施した。 ・小中合同の連絡会では、学校図書館の見学や各校の情報交換を行い、SLA担当者や共催で研修会を実施した。 ・年度末に活動報告書をまとめてカラーの冊子を作り、学校に配布し、情報や実践例の共有化を図った。 ・本の整理整頓や冊作り、季節ごとの飾り付け、特集コーナーの設置などにより、学校図書館の整備が進められた。また、学校図書館専門員がオリエンテーションやブックトークを行うことで、学校図書館の活性化を図ることができた。 | | | | |
| | 評価の理由 | ・学校図書館専門員の配置により、学校図書館業務が円滑に行われ、環境整備や読書活動の推進が図られた。 | | | | |
| | 今後の方向 | ・藤沢市学校図書館運営指針に基づいたガイドブックを作成させ、学校図書館運営の活動や業務分担について明確にする。 ・司書教諭を中心に、学校図書館がより機能するよう発信し、学校図書館専門員との連携を図る。 | | | | |
| | H28年度事業計画 | ・連絡会を年4回開催し、図書館専門員の技術の向上を図るとともに、市民図書館と連携し、学校に対して情報提供を行う。 ・藤沢市学校図書館運営指針に基づいた学校図書館運営ガイドブックを作成させ、司書教諭や図書館専門員等の活動や業務負担について明確にする。 ・司書教諭連絡会を開催し、学校図書館運営ガイドブックの内容と、司書教諭の役割について共通理解を図る。 ・年度末に活動報告書をまとめて冊子にし、学校に配付し、実践例の共有化を図る。 | | | | |
| | 課題・問題点 | ・学校図書館専門員と司書教諭を中心とする学校の図書部との連携が、まだ十分に図れていない学校がある。 ・学校図書館専門員と司書教諭との役割分担が、明確にされていない。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 教育企画課 | | | |
|---|----------------------------|--|-------------------------|---|-------------------------|------------------------------------|
| 314(113) | 学校ICT機器整備事業 (教育用・校務用PC) | 担当課 | 学校教育企画課 | | | |
| <p>事業目的 教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン)の習得の促進 効果的校務処理とその結果生み出される教育活動の質の改善</p> <p>事業内容 教育用情報機器の整備 学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていることに伴い、藤沢市教育情報推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図り、児童生徒の学習の多くの場面に教育情報機器を活用した学習の充実を図る。 校務支援システムの構築・整備 藤沢市教育情報推進計画に基づき、校務支援システムを整備することによって効果的かつセキュリテイの高い校務処理を行うことが可能にする。</p> | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●小学校校務用LANの整備 | H28年度 ●小学校校務用LANの整備 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●小学校校務支援システムの整備 先行設置 | ●小学校校務支援システムの整備 先行設置 | ●小学校校務支援システムの整備 先行設置 | ●小学校校務支援システムの整備 先行設置 | ●小学校校務支援システムの整備 先行設置 |
| | 予算額(千円) | 105台追加 (累計210台) | 143台追加 (累計353台) | 302台追加105台更新 (累計655台) | 407台追加 (累計1062台) | 1人1台体制で 運用 |
| | 決算額(千円) | 500,949 | 541,962 | | | |
| | 執行率(%) | 492.191 | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●校務用LANを整備した小学校2校のハイロケットにおいて、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。 導入2年目に入る中で、活用法の研修を進めると同時に、より学習で安定して活用できるように機器の調整を行った。 機器の調整以降、学習での活用がよりスムーズに行えるようになった。 無線LANを活用した小学校における校内LAN設置の技術的ノウハウを蓄積することができた。 小学校校務用サーバーセンターを設置するとともに、各校3台計105台の校務用タブレットPCを追加した。 (10人1台→5人に1台)</p> | | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●小学校校務用LANを整備した小学校2校のハイロケットにおいて、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。 導入2年目に入る中で、活用法の研修を進めると同時に、より学習で安定して活用できるように機器の調整を行った。 機器の調整以降、学習での活用がよりスムーズに行えるようになった。 無線LANを活用した小学校における校内LAN設置の技術的ノウハウを蓄積することができた。 小学校校務用サーバーセンターを設置するとともに、各校3台計105台の校務用タブレットPCを追加した。 (10人1台→5人に1台)</p> | | <p>H27年度の 総評価 B</p> |
| | 年度末の成果 | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●校務用LANを整備した小学校2校のハイロケットにおいて、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。 導入2年目に入る中で、活用法の研修を進めると同時に、より学習で安定して活用できるように機器の調整を行った。 機器の調整以降、学習での活用がよりスムーズに行えるようになった。 無線LANを活用した小学校における校内LAN設置の技術的ノウハウを蓄積することができた。 小学校校務用サーバーセンターを設置するとともに、各校3台計105台の校務用タブレットPCを追加した。 (10人1台→5人に1台)</p> | | <p>H27年度の 総評価 B</p> | | <p>評価の理由 ●取組計画の目標値を達成したため。</p> |
| | 今後の方向 | <p>●本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</p> | | <p>●本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</p> | | <p>●取組計画の目標値を達成したため。</p> |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 維持課 | | | |
|--|-------------------------|---|------------------------------|---|---------------------|------------------------------------|
| 321(337) | 学校施設維持保全事業 | 担当課 | 教育課 | | | |
| <p>事業目的 老朽化した校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。</p> <p>事業内容 ●校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ●機械設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)</p> | | | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | H28年度 ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 |
| | 予算額(千円) | 170,387 | 67,228 | | | |
| | 決算額(千円) | 135,698 | | | | |
| | 執行率(%) | 79.6 | | | | |
| | 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施</p> | | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施</p> | | <p>H27年度の 総評価 B</p> |
| | 年度末の成果 | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施</p> | | <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施 ●小学校校舎の外壁改修、屋上防水工事を実施</p> | | <p>評価の理由 ●取組計画の目標値を達成したため。</p> |
| | 今後の方向 | <p>●本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</p> | | <p>●本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</p> | | <p>●取組計画の目標値を達成したため。</p> |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 322 | 学校適正配置研究事業 | 教育部 学務保健課 | | | | | |
| <p>事業目的 市立小中学校の適正な学校規模を維持することにより、学びの環境整備を図る。 ・児童生徒の通学の安全を確保する。</p> <p>事業内容 児童・生徒数の推移に対応した学校の適正配置を検討するため、学校の統廃合を含め、通学区の再編・見直しの研究を行う。</p> | | | | | | | |
| <p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●学校適正配置の研究</p> <p>実施 → → → →</p> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>予算額(千円) 0 0</p> <p>決算額(千円) 0 0</p> <p>執行率(%) 0.0</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・学校適正配置について、調査・研究を進めるため「藤沢市学校適正配置検討部会」を年3回開催した(5/28、9/10、12/24)。</p> <p>評価の理由 ・児童生徒数推計を基に学区の検討や通学区の課題について調査・研究を行った。 ・学校施設の耐力度調査に併せ、過大規模校について個別の地域の状況を把握を行った。 ・通学区等の課題について、引き続き、各学校、各地域ごとなど詳細に現状分析を行うとともに児童生徒の動向や市民要望等を注視しながら、調査・研究を進める。</p> <p>今後の方向 H28年度事業計画 ・老朽化施設の耐力度調査を基に策定される学校施設再整備計画に併せ、昨年引き続き過大規模校の解消に向け、シミュレーションによる学区の検討や通学区の課題について調査・研究を行う。</p> <p>課題・問題点 ・学校の適正規模から適正配置を考えると、通学区の変更や学校の統廃合を検討する場合、地域住民の理解、通学時間・距離、通学路の安全や地域コミュニティなど地域の実態を踏まえ、総合的な配慮が必要であり、実現は非常に困難である。 ・通学区の変更による過大規模の解消は困難な状況であり、学校に必要な施設面の確保や教職員配置の充実などの教育環境の整備が重要である。</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|------------------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 323(821) | 学校施設改善・大規模改修事業 (老朽化解消) | 教育部 学校施設課 | | | | | |
| <p>事業目的 学校施設(校舎・屋内運動場等)の老朽化を解消し、安全で良質な教育環境を確保する。</p> <p>事業内容 ・藤沢市学校施設再整備基本方針に基づく学校施設再整備計画を策定する。 ・再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づく施設の改築または大規模改修を実施する。</p> | | | | | | | |
| <p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●学校施設再整備計画の策定</p> <p>●耐力度調査の実施 21校</p> <p>実施 → → → →</p> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>●改築または大規模改修事業着手 6校</p> <p>設計・工事 → →</p> <p>予算額(千円) 62,511 55,955</p> <p>決算額(千円) 50,112</p> <p>執行率(%) 80.2</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・学校施設再整備第1期実施計画を策定した。 ・小学校4校、中学校2校について耐力度調査を実施した。 ・学校施設再整備第1期実施計画を策定した。</p> <p>評価の理由 ・計画通り実施した。</p> <p>今後の方向 ・本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。</p> <p>H28年度事業計画 ・小学校4校 中学校1校の耐力度調査 * 小学校4校 明治小学校 大道小学校 鶴沼小学校 長後小学校 * 中学校1校 明治中学校</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 学校安全対策事業 | 担当部 | 担当課 | 教育指導課 |
|-------|----------------------------------|--|---------------|------------|----------|
| 331 | 事業名 | 学校安全対策事業 | 担当部 | 担当課 | 教育指導課 |
| | 事業目的 | 児童生徒の安全確保及び学校の安全管理を図る。 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。 | | | 変更(ある場合) |
| | 事業内容 | 学校非常通報システムの整備・運用 スクールガード・リーダーの配置 | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 ●学校非常通報システムの整備・運用 実施 H28年度 → ●スクールガード・リーダーの配置 H29年度 → H30年度 → H31年度 → | | | |
| | 予算額(千円) | 20校 11,855 | 23校 12,609 | 27校 31校 | 35校 |
| | 決算額(千円) | 11,732 | | | |
| | 執行率(%) | 98.9 | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 学校非常通報システムは全55校で運用でき、市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えた。 市内6地域20小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。 | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えられた。 ・市内6地域20小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。 | | | |
| | 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入による非常通報はなく、児童生徒は守られていた。 ・不審者出没時のスクールガード・リーダーの緊急対応や、日々の見守り活動は、犯罪の未然防止に大きく役立っている。 | | | |
| | 今後の方向 | 引き続き、2つの事業を継続し、児童生徒の安全安心の確保に努めていく。 | | | |
| | H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校非常通報システムの整備・運用 ・スクールガード・リーダーの配置(7地域23小学校区に7名) | | | |
| | 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・通報端末の誤操作が年に数回あった。 ・スクールガード・リーダーの人材確保。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 学校施設環境整備事業 | 担当部 | 担当課 | 教育施設課 |
|-------|----------------------------------|---|--------|-----|----------|
| 332 | 事業名 | 学校施設環境整備事業 | 担当部 | 担当課 | 教育施設課 |
| | 事業目的 | 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の学習環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。 | | | 変更(ある場合) |
| | 事業内容 | 真い、暗い、汚いのトイレの3Kの問題や家庭トイレとの環境格差を解消するため、大便器の洋式化、床改修等を実施するとともに、便器を節水型に交換するなどのトイレ改修を実施する。 | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | H27年度 ●小学校トイレ改修整備 7校 H28年度 ●中学校トイレ改修整備 3校 H29年度 4校 H30年度 3校 H31年度 3校(2系統目) | | | |
| | 予算額(千円) | 499,572 | 91,465 | | |
| | 決算額(千円) | 441,440 | | | |
| | 執行率(%) | 88.4 | | | |
| | 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 小学校7校の改修工事を完了 | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校7校の改修工事を完了 ・小糸小学校、大鰐小学校、滝の沢小学校、小糸小学校、駒寄小学校、湘南台小学校、秋葉台小学校 ・ 県野小学校、大鰐小学校、滝の沢小学校、小糸小学校、駒寄小学校、湘南台小学校、秋葉台小学校 | | | |
| | 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施した。 ・改修工事実施対象校・小学校28校改修完了 | | | |
| | 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事実施対象校：中学校12校のうち、残り10校について、特定財源の確保に努めながら、継続して年次計画に基づき実施していく。 | | | |
| | H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1校のトイレ改修工事を実施 ・ 大庭中学校 | | | |
| | 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間の短縮を求める声もあるが、財源の平準化の観点から非常に困難な状況である。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | 学校施設課 | |
|---|---|---------------|--------|--------|------------|--------|
| 333 | 学校施設環境整備事業 (空調設備整備) | 教育部 | 学校施設課 | | | |
| 事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 学校生活、学習環境の向上を図るため、小学校普通教室の空調設備設置及び小・中学校管理講室、特別教室の空調設備更新を実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●小学校空調設備設置・更新 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 普通教室3校 | 普通教室6校 | 普通教室8校 | 普通教室6校 | 管理講室4校 | 管理講室4校 |
| | | | | | ●中学校空調設備更新 | |
| 予算額(千円) | 368,190 | 216,260 | | | 管理講室4校 | |
| 決算額(千円) | 261,091 | | | | | |
| 執行率(%) | 70.9 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 小学校3校の設置を完了 | | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 小学校3校の空調設備設置工事を実施 中里小学校、八松小学校、羽鳥小学校 | | | | | |
| | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施した。 | | | | | |
| | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置、更新実施対象校・小学校25校、中学校8校について、特定財源の確保に努めながら継続して年次計画に基づき実施していく。 | | | | | |
| | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校2校の空調設備設置工事を実施 小学校2校 新林小学校(給食調理室含む) 大神小学校(給食調理室含む) | | | | | |
| | <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業期間の短縮を求める声もあるが、財源の平準化の観点から非常に困難な状況である。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | 学校施設課 | |
|---|--|--------------|--------------|-------|-------|-------|
| 334 | 学校施設環境整備事業 (グラウンド等整備) | 教育部 | 学校施設課 | | | |
| 事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 教育環境の向上を図るため、一部芝生化を含めたグラウンド等整備工事を実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●小学校グラウンド等整備 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 1校 | → | → | → | → | → |
| | | | ●中学校グラウンド等整備 | | | |
| 予算額(千円) | 146,156 | | 1校 | | | |
| 決算額(千円) | 127,164 | | | | | |
| 執行率(%) | 87.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 小学校1校のグラウンド整備工事及び中学校1校のサブグラウンド整備工事を実施した。 | | | | | |
| | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 小学校1校、中学校1校のグラウンド整備工事を実施 * 湘南台小学校 * 滝の沢中学校 | | | | | |
| | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画どおり小学校1校のグラウンド整備及び中学校1校でサブグラウンドの整備を図った。 | | | | | |
| | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を進めていく。 | | | | | |
| | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施予定なし | | | | | |
| | <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定財源の確保 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 教育部 学校施設課 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|
| 335 | 学校施設緑化推進事業 (芝生化・壁面緑化) | 担当課 | 教育部 学校施設課 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>校庭等の一部芝生化及び校舎壁面緑化を推進することで、緑に囲まれた教育環境を確保するとともに、自然環境に対する意識向上を促す。また緑化活動を通じて地域交流を促進する取組を支援する。</p> <p>事業目的 ・芝生化、「壁面緑化」にも計画を上回って実施した。 ・壁面緑化については、全校で実施済みであるが今後も継続して取り組む。(H28)</p> <p>事業内容 校庭等の一部を芝生として整備するとともに、校舎の壁面に緑のカーテンを設置する。またその継続的な取組を支援するため、資材の提供や啓発活動を実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●校庭の芝生化</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>●壁面緑化</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table> | | | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | ●校庭の芝生化 | → | → | → | → | ●壁面緑化 | → | → | → | → |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| ●校庭の芝生化 | → | → | → | → | | | | | | | | | | | | | | |
| ●壁面緑化 | → | → | → | → | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>予算額(千円) 148,910</p> <p>決算額(千円) 128,727</p> <p>執行率(%) 86.4</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>●小学校、中学校各1校の芝生化を実施(実施回数(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果)</p> <p>●小学校4校、中学校4校、村岡小学校、大道小学校、小糸小学校、明治中学校</p> <p>●中学校1校</p> <p>●小学校4校</p> <p>●小学校4校、中学校1校の壁面緑化を実施</p> <p>●湘南台小学校</p> <p>●小学校、中学校各1校の芝生化を実施</p> <p>●湘南台小学校</p> <p>●グランド改修工事に合わせて芝生化。(2,400㎡)</p> <p>●滝の沢中学校</p> <p>→サブグラウンド改修工事に合わせて芝生化。(315㎡)</p> <p>●小学校4校、中学校1校の壁面緑化を実施</p> <p>●小学校4校</p> <p>●本町小学校、大道小学校、小糸小学校、明治中学校</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>●小学校、中学校各1校の芝生化を実施</p> <p>●湘南台小学校</p> <p>→グランド改修工事に合わせて芝生化。(2,400㎡)</p> <p>●滝の沢中学校</p> <p>→サブグラウンド改修工事に合わせて芝生化。(315㎡)</p> <p>●小学校4校、中学校1校の壁面緑化を実施</p> <p>●小学校4校</p> <p>●本町小学校、大道小学校、小糸小学校、明治中学校</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>評価の理由</p> <p>・芝生化について、計画を上回って実施したため。 ・壁面緑化についても、計画を上回って実施し、全校で完了したため。</p> <p>今後の方向 ・既設校の維持補修(管理)についても実施する。 ・壁面緑化については、苗、肥料、プランター等の配布の継続。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <p>●小学校、中学校各1校の芝生化を予定対象校未定</p> <p>●壁面緑化は、苗、肥料、プランター等の配布。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>課題・問題点</p> <p>○校庭の芝生化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝刈り、水まき、草取り等の維持管理 ・養生期間使用できない ・地域との協力関係 <p>○壁面緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当課 | 教育部 学校給食課 | | | | | | | | | | |
|---|----------------|----------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|----------------|----------------|--|--|
| 336 | 学校給食食器改善事業 | 担当課 | 教育部 学校給食課 | | | | | | | | | | |
| <p>学校給食用の食器を改善することで、児童に正しい食習慣を身につけさせ、学校における食育の推進を図る。</p> <p>事業目的 * 事業終了年度を平成29年度に変更 * 食器の名称を「磁器代替食器」から「樹脂食器」に変更</p> <p>事業内容 施設の構造上給食用フワンの使用ができない学校に対し、アルマイト食器に代わる軽量の樹脂食器への変更をする。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●樹脂食器への変更</td> <td>片瀬小学校 鶴洋小学校</td> <td>明治小学校 辻堂小学校</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | ●樹脂食器への変更 | 片瀬小学校 鶴洋小学校 | 明治小学校 辻堂小学校 | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | |
| ●樹脂食器への変更 | 片瀬小学校 鶴洋小学校 | 明治小学校 辻堂小学校 | | | | | | | | | | | |
| <p>予算額(千円) 20,076</p> <p>決算額(千円) 19,444</p> <p>執行率(%) 96.9</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>●鶴洋小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。</p> <p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>●鶴洋小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。</p> <p>評価の理由</p> <p>・計画どおり事業を実施した。</p> <p>今後の方向 アルマイト食器を使用している残り3校の早期改善を目指す。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <p>●片瀬小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善する。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>課題・問題点</p> <p>・特になし</p> | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | 学校施設課 | |
|--|---|--|-------|-------|----------|-------|
| 337(321) | 学校施設維持保全事業 | | | | | |
| | | | | | 変更(ある場合) | |
| <p>老朽化した校舎外壁等の改修や構構設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。</p> <p>事業目的</p> <p>・校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ・機械設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)</p> | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | → | → | → | → | → |
| | | ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | | | | | |
| 予算額(千円) | 170,387 | | | | | |
| 決算額(千円) | 135,698 | | | | | |
| 執行率(%) | 79.6 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | ・ 小学校1校の外壁等改修及び小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借の取組計画に対し、計画どおりの事業を実施した。 | | | | | |
| | | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校校の外壁改修、屋上防水工事を実施 <ul style="list-style-type: none"> * 亀井野小学校 ・ 小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借 <ul style="list-style-type: none"> * 小学校3校 大庭小学校 新林小学校 滝の沢小学校 * 中学校3校 鶴沼中学校 善行中学校 湘南台中学校 | | | | |
| | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組計画の目標値を達成したため。 | | | | |
| | | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。 | | | | |
| | | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校1校の外壁等改修工事 <ul style="list-style-type: none"> * 村岡中学校 ・ 小学校2校、中学校1校の放送設備の賃借 <ul style="list-style-type: none"> * 小学校2校 高谷小学校 亀井野小学校 * 中学校1校 藤ヶ岡中学校 ・ 中学校2校のプール給水ポンプ改修工事 <ul style="list-style-type: none"> * 善行中学校、鶴沼中学校 | | | | |
| | | <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置事業やその他の改修工事をバランスよく実施していくことが必要な状況であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育部 | 学校施設課 | |
|---|-----------------------|--|-------|-------|----------|-------|
| 338(822) | 防災対策事業(津波対策) | | | | | |
| | | | | | 変更(ある場合) | |
| <p>津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>・湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を増築する。</p> | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●校舎棟(津波避難施設) | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施設計 建設 | | | | | |
| 予算額(千円) | 595,445 | | | | | |
| 決算額(千円) | 38,965 | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | ・ 実施設計を実施し、増築工事に着手した。 | | | | | |
| | | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計委託 ・ H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。 ・ 増築工事 <ul style="list-style-type: none"> H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。 | | | | |
| | | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度については、計画通り実施した。 | | | | |
| | | <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に工事の進捗管理を行い、工期内に竣工する。 竣工期限:2017年(H29年)2月28日 | | | | |
| | | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ年継続事業の最終年度として、工事を実施する。 | | | | |
| | | <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|---|--|----------------|--------------|
| 事業コード 339 | 事業名 中学校給食施設整備事業 | 担当部 担当課 | 教育部 学校給食課 |
| 事業目的 成長期にある生徒の健康維持増進及び食育の推進を図る。 *事業終了年度を今回確定した実施計画に合わせ平成31年度に変更 | | | |
| 事業内容 *家庭からの弁当持参とテラバー方式の給食の選択制を実施する。 *栄養バランスの摂れた食事を提供し、望ましい食習慣を養う。 | | | |
| H27年度 給食施設の整備 | H28年度 | H29年度 | H30年度 |
| ●給食施設の整備 | 実施4校 (計9校) | 実施3校 (計12校) | 実施7校(計19校) |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 試行3校 (計5校) | 実施3校 (計12校) | 実施7校(計19校) |
| 予算額(千円) | 16,337 | 37,652 | |
| 決算額(千円) | 16,026 | | |
| 執行率(%) | 98.1 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 中学校給食実施校 5校 | | |
| 度末の成果 | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | 評価の理由 | | |
| ・第一中学校、明治中学校及び六会中学校において給食の試行を開始 | ・計画どおり事業を実施した。 | | |
| ・平成28年度以降の実施計画を策定、市議会定例会に報告 | | | |
| 今後の方向 | 実施計画に基づき平成28年度から順次実施校を拡大し、平成31年度には全19校において給食を実施する。 | | |
| H28年度事業計画 | H28年度事業計画 ・御所見中学校、高倉中学校、大庭中学校及び大清水中学校で中学校給食を実施 | | |
| 課題・問題点 | | | |
| 特になし | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|--|--|------------|------------------|
| 事業コード 411 | 事業名 生涯学習推進事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 生涯学習総務課 |
| 事業目的 *市民活動団体や関係機関とのマルチパートナーシップ等の活用を図り、多様な学習機会や学習情報の提供を行うことにより、市民の生涯学習を推進する。 *各種講座で習得した知識や技術・技能を生かして地域で主体的に活動することができる人材を育成・支援する。 | | | |
| 事業内容 *生涯学習大学事業の実施 *大学市民講座等各種講座の実施 *生涯学習人材バンクの運営 *生涯学習出張講座の実施 *生涯学習情報の収集・提供と学習相談の実施 *生涯学習ふじさわプランの進捗管理 *生涯学習特別貢献表彰の実施 | | | |
| H27年度 各種講座・事業の実施 | H28年度 | H29年度 | H30年度 |
| ●各種講座・事業の実施 | → | → | → |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 ●人材の育成・支援 | → | → |
| 予算額(千円) | 5,385 | | |
| 決算額(千円) | 5,180 | | |
| 執行率(%) | 96.2 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 生涯学習大学事業 実施数24講座 うち市民講師養成コース新規事業 市民講師 16講座 | | |
| 度末の成果 | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | 評価の理由 | | |
| ・年間をとおして、生涯学習情報収集・発信及び学習相談・情報提供を実施し、市民の学習を支援した。 | *生涯学習大学事業や人材バンクの運営をとおして地域の市民人材の育成・活用に努め、一定の成果を得たと考えられるため。 | | |
| ・大学市民講座参加者数(4大学) | *生涯学習ふじさわプラン2016.11について、後期計画の策定及び進捗管理を行ったことにより、生涯学習施策の体系化を推進することができたため。 | | |
| H27 171 911 344 51 1,477 | 今後の方向 | | |
| H28 171 911 344 51 1,477 | *生涯学習大学事業をとおして、地域の生涯学習を推進する市民人材を育成するために、事業の参加者が自由に集い、交流し、研究を行うための拠点を整備していく必要がある。 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 生涯学習大学事業「地域デジタルコミュニティを担っている団体に事業委託することにより、団体の有する専門性を生かした事業内容となった。 | | |
| 度末の成果 | 生涯学習大学事業の「市民講師養成コース」では、「人材バンクエッセイナル」を掲載を拡大して実施した。また、新たに「市民講師企画講座」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。 | | |
| H28年度事業計画 | H28年度事業計画 *生涯学習出張講座の実施 *生涯学習出張講座の運営 *生涯学習ふじさわプラン2016(中間見直し)を行い策定した後期計画に基づき、後期実施計画事業140事業について平成26年度の進捗管理を行った。 | | |
| 課題・問題点 | *生涯学習特別貢献表彰式を6回実施し、個人37人、団体が活躍することができている場や機会を創出する。 | | |
| 特になし | *生涯学習ネットワークをさらに広げるために、生涯学習大学事業については、より多くの機関や団体と連携し、多様な学びの場を提供することが必要である。 *人材バンク制度のさらなる活用を促進するために、登録者が活躍することができる場や機会を創出する。 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------------|---------------|-----|-------|--|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 412 | 地球温暖化対策普及啓発事業 | 環境部 | 環境総務課 | | | | | |
| 事業目的 | | | | 「年次ごとの取組計画」を「ふじさわ環境フェア」の開催に變更し、入場者数と出展団体の目標値として設定した。(H28) | | | | |
| 事業内容 | | | | 地球温暖化防止のため、ふじさわ環境フェアの開催、環境ポータルサイトの運営、エコライフハンドブック概要版の配布など啓発施策を実施する。 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | 4,000人 出展団体 50団体 | 4,000人 50団体 | 4,000人 50団体 | 4,000人 50団体 | 4,000人 50団体 |
| 予算額(千円) | | | | 8,335 | 280 | | | |
| 決算額(千円) | | | | 6,746 | | | | |
| 執行率(%) | | | | 80.9 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | | ふじさわ環境フェア 入場者数 3,888人 出展団体 46団体 | | | | 次年度 継続 |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | 【ふじさわ環境フェアの開催】 ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。 【環境ポータルサイトの運営】 ・これまでの施策を継続していくものの、新規要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページの更新数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部 | | | | |
| H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。 【環境ポータルサイトの運営】 ・これまでの施策を継続していくものの、新規要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページの更新数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部 | | | | |
| H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。 【環境ポータルサイトの運営】 ・これまでの施策を継続していくものの、新規要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページの更新数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部 | | | | |
| H30年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。 【環境ポータルサイトの運営】 ・これまでの施策を継続していくものの、新規要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページの更新数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部 | | | | |
| H31年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。 【環境ポータルサイトの運営】 ・これまでの施策を継続していくものの、新規要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページの更新数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月 【エコライフハンドブック概要版の配布】 ・家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|----------------------------------|-------------|-------|---------|---|---------|---------|---------|---------|
| 421 | 総合市民図書館運営事業 | 生涯学習部 | 総合市民図書館 | | | | | |
| 事業目的 | | | | 市民が「学ぶ楽しさ」や「知る喜び」を立つ情報「深い思考」や「やさしさ」を「ふれあひ」を得られるよう、資料・情報・施設の提供を行う。 | | | | |
| 事業内容 | | | | 市民の多様な学びを支援するために、4館・11市民図書館で資料・情報・施設を提供する。 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | 390万件/年 | 391万件/年 | 392万件/年 | 393万件/年 | 394万件/年 |
| 予算額(千円) | | | | 308,928 | 310,412 | | | |
| 決算額(千円) | | | | 305,364 | | | | |
| 執行率(%) | | | | 98.8 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・4市民図書館・11市民図書館を開設し、資料の閲覧、貸出し、レファレンス等のサービス事業を実施した。 ・定期的に、おはなし会、映画会等を開催した。 ・視聴覚機材の貸出しを実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・会議室・ホール等の貸出しを得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。 | | | | |
| H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧、貸出し、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供できた。 ・視聴覚機材の貸出しを実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・会議室・ホール等の貸出しを得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。 | | | | |
| H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧、貸出し、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供できた。 ・視聴覚機材の貸出しを実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・会議室・ホール等の貸出しを得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。 | | | | |
| H30年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧、貸出し、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供できた。 ・視聴覚機材の貸出しを実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・会議室・ホール等の貸出しを得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。 | | | | |
| H31年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧、貸出し、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供できた。 ・視聴覚機材の貸出しを実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・会議室・ホール等の貸出しを得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。 | | | | |
| 評価の理由 | | | | ・市民や時代のニーズに対応しながら、引き続き4市民図書館・11市民図書館において資料・情報・施設を提供していく。 ・総合市民図書館の運営を行うため、清掃、警備等の施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を維持する。 今後の方向 ・市民や時代のニーズに対応しながら、引き続き4市民図書館・11市民図書館において資料・情報・施設を提供していく。 ・総合市民図書館の運営を行うため、清掃、警備等の施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を維持する。 | | | | |
| H28年度 事業計画 | | | | ・資料の閲覧・貸出し、レファレンス等のサービス事業の実施 ・おはなし会、映画会等の開催 ・視聴覚機材の貸出し及び16ミリ映画機操作講習会の実施 ・読書週間等における講座等の実施 ・展示コーナーの設置 ・会議室・ホール等の貸出し ・「図書館まつり」の開催 ・図書館協議会の開催 ・総合市民図書館開館30周年記念事業の実施 ・施設の維持管理 | | | | |
| 課題・問題点 | | | | ・利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めているが、施設の高齢化に伴い故障や破壊、不具合が発生しており、計画的に対応していく必要がある。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | | |
|---|--|------------------|------------------------------|------------------|------------------|
| 事業コード 422 | 事業名 総合市民図書館市民運営事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合) | | |
| <p>これまで図書館業務に携わってきた図書館業務を委託することにより、効果的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。</p> <p>事業目的 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務を委託することにより、効果的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。</p> <p>事業内容 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務を委託することにより、効果的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。</p> | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 貸出件数 390万件/年 | H28年度 391万件/年 | H29年度 392万件/年 | H30年度 393万件/年 | H31年度 394万件/年 |
| 予算額(千円) | 137,756 | 138,662 | | | |
| 決算額(千円) | 136,566 | | | | |
| 執行率(%) | 99.1 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。 ・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証するとともに、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行った。 ・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。 | | | | |
| 評価 | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の2館とも円滑に運営され、従来の図書館サービスの水準を維持できている。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合市民図書館は、NPO法人に運営業務を委託した辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館に対して、今後とも施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を引き続き行う。 | | | | |
| 課題・問題点 | <p>H28年度事業計画</p> <p>NPO法人による辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能に ついての検証を継続する。</p> | | | | |
| 課題・問題点 | <p>課題・問題点</p> <p>・辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館が引き続き質の高い図書館サービスを維持できるよう、2館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能を検証していく。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | | |
|--|--|----------------------|------------------------------|-------|-------|
| 事業コード 423 | 事業名 総合市民図書館整備事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合) | | |
| <p>安心して快適な読書環境を整備し、市民の満足度の向上を図る。</p> <p>事業目的 安心して快適な読書環境を整備し、市民の満足度の向上を図る。</p> <p>事業内容 市民が安心して利用できる図書館施設を維持していくために4市民図書館の施設修繕と改修工事を行う。</p> | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●施設修繕及び改修工事 | H28年度 ●施設修繕及び改修工事 | H29年度 ●施設修繕及び改修工事 | H30年度 | H31年度 |
| 予算額(千円) | 20,498 | 4,731 | | | |
| 決算額(千円) | 16,610 | | | | |
| 執行率(%) | 81.0 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合市民図書館2階視聴覚ホール空調設備改修工事実施 ・総合市民図書館視聴覚ホール空調設備改修工事 ●全給交換機一体型外調機改修工事 | | | | |
| 評価 | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して快適な環境を利用者に提供することができた。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の維持・管理のため、計画的に施設修繕と改修工事を実施していく。 | | | | |
| 課題・問題点 | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合市民図書館全給交換機一体型外調機の改修工事を行う。 | | | | |
| 課題・問題点 | <p>課題・問題点</p> <p>・各施設の状況を把握し、利用者への影響がないように、引き続き、老朽化した施設設備の修繕計画を立て、施設修繕と改修工事を行う必要がある。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|----------------------|------------|------------------------------|-------|
| 事業コード 424 | 事業名 図書館情報ネットワーク事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合) | |
| 資料・情報の迅速・的確な提供により市民サービスの向上を図る。 | | | | |
| 事業目的 図書館情報ネットワークシステムの維持管理及び県内公立図書館・市内大学図書館との連携を推進する。 | | | | |
| 事業内容 図書館情報ネットワークシステムの維持管理等 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 48万件 | 49万件 | 50万件 | 51万件 | 52万件 |
| ●図書館情報ネットワークシステムの維持管理等 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | |
| 48万件 | 49万件 | 50万件 | 51万件 | 52万件 |
| 予算額(千円) | 39,245 | | | |
| 決算額(千円) | 39,236 | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・4館コンピュータシステム及び機器の維持管理並びに11室の利便性の向上が図れた。 ・図書館ホームページからの予約件数 48万件 ・図書館ホームページからの予約件数 49万件 ・県内公立図書館及び市内大学図書館と連携を図り市民サービスの向上を図った。 ・湘南地区図書館連絡会を開催し、近隣市図書館と情報交換を行った。 ・市内4大学図書館と相互協力関係者勉強会を開催し、情報交換を行った。 ・市民図書館のオンライン化に向けて、事務の見直しなど検討を行った。 | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館コンピュータシステムの維持管理を行い、利用者の利便性の向上が図れた。 ・4館11室ネットワークシステムの充実及び県内公立図書館や市内大学図書館の連携が図れた。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4館11室のネットワークシステムの更なる充実を図るとともに、県内公立図書館や市内大学図書館の一層の連携強化を図ることにより、図書館サービスの更なる向上に取り組んでいく。 | | | | |
| H28年度事業計画 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年のシステムのリリースに向けて、平成29年度に実施予定のプロポーザルの準備を行う。 ・市民図書館について、4館11室を一元管理し、市民の利便性の向上を図るために、平成30年10月のリリースと同時にオンライン化を実施することの検討をさらに進める。 | | | | |
| 課題・問題点 | | | | |
| 市民サービスの多様化や高度情報化社会に対応するため、平成30年度の図書館コンピュータシステムのリリースに向け、新たな機能の追加として市民図書館の蔵書登録とオンラインシステム化を計画している。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|---------------------------|------------|------------------------------|--------|
| 事業コード 425 | 事業名 障がい者・高齢者への宅配サービス事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合) | |
| 図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書利用を可能にし、市民サービスの向上を図る。 | | | | |
| 事業目的 図書館・図書室により図書館資料を宅配する。 | | | | |
| 事業内容 図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し、ボランティアにより図書館資料を宅配する。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 7,450件 | 7,600件 | 7,750件 | 7,900件 | 8,050件 |
| ●宅配サービス事業の実施 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | |
| 7,450件 | 7,600件 | 7,750件 | 7,900件 | 8,050件 |
| 予算額(千円) | 673 | | | |
| 決算額(千円) | 637 | | | |
| 執行率(%) | 94.7 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 2,036人 ・貸出資料件数 7,753件 ・自動車でのボランティア活動に対応するボランティア保険加入手続きを行った。保険対象者 50人 ・広報ふじさわに宅配サービスの利用者及びボランティアの募集記事掲載を行った。 ・ボランティア交流会を開催した。11月19日(木) 参加者17名 ・職員とボランティアが協力して宅配利用者に資料の紹介をするための方法について検討した。 | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険を活用することにより、ボランティアの活動範囲が広がり、待機ボランティアの解消につながった。 ・利用者一人あたりの貸出件数が増加している。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の利用希望者に対応できるよう、ボランティアの確保を図ることもボランティアの養成をしていく。 ・今サービスを利用している利用者に対し、資料の紹介を行うことにより多くの資料にふれられるようしていく。 | | | | |
| H28年度事業計画 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる宅配サービスの実施 ・広報ふじさわ、館内ポスター掲示、図書館ホームページ等による事業のPR及びボランティアの募集 ・ボランティア交流会の開催 | | | | |
| 課題・問題点 | | | | |
| 市内全域の利用希望者について募入及び対応可能とするためのボランティアの確保とマッチングが課題である。利用希望者及びボランティア希望者によりわかりやすく事業を周知するためのPR方法を検討する必要がある。ボランティアから宅配利用者に対し、本の紹介をしたいという提案があったことから、実施できるような具体的な方法等を検討する。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------|---------|----------------------------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|--|--|--|--|--|--------------|---|---|---|---|---|------------|--|--|--|--|--|-------------|---|---|---|---|---|
| 426 | 子ども読書活動推進事業 | 生涯学習部 | 総合市民図書館 | ●学校及び子どもに関わる施設団体等との連携事業の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>子どもが言葉や喜び・感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生き生きと身に付けることができるよう、子ども読書環境を整備し、読書機会の充実を図る。</p> <p>事業目的 藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。 ・ブックスタート事業など子どもの発達段階にあわせた事業等の充実 ・団体貸出など学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の充実 ・子ども読書に関わるボランティアの育成 ・学校図書館の運営等への支援</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>団体貸出回数</td> <td>750回</td> <td>800回</td> <td>850回</td> <td>900回</td> <td>950回</td> </tr> <tr> <td>●子どもの発達段階にあわせた事業等の実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブックスタート事業の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>●ボランティアの育成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交流会・研修会等の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table> | | | | | | | | | 団体貸出回数 | 750回 | 800回 | 850回 | 900回 | 950回 | ●子どもの発達段階にあわせた事業等の実施 | | | | | | ブックスタート事業の実施 | → | → | → | → | → | ●ボランティアの育成 | | | | | | 交流会・研修会等の実施 | → | → | → | → | → |
| 団体貸出回数 | 750回 | 800回 | 850回 | 900回 | 950回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●子どもの発達段階にあわせた事業等の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブックスタート事業の実施 | → | → | → | → | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●ボランティアの育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交流会・研修会等の実施 | → | → | → | → | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額(千円) | 5,542 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額(千円) | 5,235 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 執行率(%) | 94.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>●学校及び子どもに関わる施設団体への団体貸出回数(953回) ・ブックスタート事業の実施(48回) ・ブックスタート交流会(9回)、研修会(3回)の実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定した。 ・ブックスタート事業を48回実施し、幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行い、子育て支援情報・図書館案内・絵本リスト等の入ったブックスタートパックを3,574人に手渡し、絵本を介したふれあひ時間を持つきっかけとなるよう努めた。 ・母子健康手帳交付時「にんには赤ちゃん、職業」3歳6か月健康診察で、保護者に啓発リーフレットを交付し、読書に関心を喚起する機会を設けた。 ・学校及び子どもに関わる施設・団体等に団体貸出を958回実施し、資料の貸出しが約2,000冊、学校及び幼稚園・保育園等に別して資料提供を行い、各地域等の資料の充実を図ることができた。 ・図書館・図書室おはなし会ボランティア連絡会を4回実施し、ボランティア向いの意見交流や情報共有を回実施し、情報共有に努め、活動の充実を図ることができた。 ・図書館・図書室おはなし会ボランティア研修会を2回、ブックスタートボランティア研修会を1回実施し、今後の活動の充実のために参考とすることができた。 ・藤沢市子ども読書活動推進会議を開催し、事業報告及び評価と、進捗状況の確認を行い、今後の取組の参考とした。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>●計画どおり事業を行うことができた。 ・団体貸出等、学校及び子どもにも関わる施設団体等との連携事業について周知を図り、多く利用された。また、ブックスタート事業前後のフォローアップ事業として、新たに母子健康手帳交付時に啓発リーフレットの配付がはじまった。 ・学校及び子どもに関わる施設団体等への団体貸出については、市内全体の増加が見込みに以上一著しく多かつたため、目標値を大きく超えることとなった。一方で館によれば貸出回数の減少も見られることから、H28年度の目標値については控え置きとし、経過を観察するとともに、事業の更なる周知に努める。 ・ボランティア交流会及び研修会等の実施については、日程や研修内容の充実について検討する。 ・ブックスタート事業前後のフォローアップ事業については、関係各課と調整しつつ引き続き実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>●H28年度事業計画 ・学校及び子どもに関わる施設・団体等に対する資料の団体貸出・配布等、連携事業の実施 ・学校図書館事業への参加等学校図書館運営に関わる支援の実施 ・ブックスタート事業及びフォローアップ事業の実施 ・各種ボランティア交流会及び研修会の実施 ・藤沢市子ども読書活動推進会議の開催 ・「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係部署等と連携を図りながら、計画の推進に向けて取り組む。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------|-----------|---------------------|-----------|-------|-------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|--|--|--|--|--|-------|---|---|---|---|---|
| 427 | 点字図書館事業 | 生涯学習部 | 総合市民図書館 | ●視覚障がい者向け点字・録音図書蔵書数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>視覚障がい者の生活向上を図る。</p> <p>事業目的 点字カナタイプ指導を点字指導に変更(H28)</p> <p>事業内容 視覚障がい者への点字・録音図書の製作・貸出サービス、文化レクリエーション活動への支援、点字指導及びボランティアの育成を行う。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>蔵書数</td> <td>9,340タイトル</td> <td>9,400タイトル</td> <td>9,460タイトル</td> <td>9,520タイトル</td> <td>9,580タイトル</td> </tr> <tr> <td>●ボランティア養成の基本講習会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講習会実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table> | | | | | | | | | 蔵書数 | 9,340タイトル | 9,400タイトル | 9,460タイトル | 9,520タイトル | 9,580タイトル | ●ボランティア養成の基本講習会 | | | | | | 講習会実施 | → | → | → | → | → |
| 蔵書数 | 9,340タイトル | 9,400タイトル | 9,460タイトル | 9,520タイトル | 9,580タイトル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●ボランティア養成の基本講習会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講習会実施 | → | → | → | → | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額(千円) | 11,164 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額(千円) | 10,875 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 執行率(%) | 94.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | <p>●H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・点字ボランティア、音訳ボランティアの協力により、点字図書及び録音(オーディオ)図書を製作し、利用者に提供した。 ・点字(新装)・点字図書 14タイトル *録音(オーディオ)・ボランティア養成のための講習会を実施した。 ・ボランティア基本講習会 修了10人(延べ人数77人) ・点字ボランティア講習会 39人(延べ人数370人) ・音訳ボランティア勉強会 39人 視覚障がい者料理教室協賛ボランティア研修会 12人 ・ボランティア等の協力により、視覚障がい者を対象とした講座等を実施した。(人数はボランティア等を含む) ・春・秋のバスハイク 計86人 文字歴史散歩 25人 IT講習会 26人 バンコン教室 8人 点字競技会(ミニ教養講座) 31人 教養講座 65人 ・手で触れて見る彫刻展来場者 1,327人(うち視覚障がい者 約60人)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>●H28年度事業計画 ・ボランティア基本講習会 ・音訳ボランティア講習会 ・ボランティア向け講習会、勉強会 ・春・秋のバスハイク ・文学歴史散歩 ・IT講習会 ・バンコン教室 ・点字競技会 ・教養講座(2回) ・手で触れて見る彫刻展 ・啓発事業(2回) ・副音声付映画体験会、バリアフリー映画体験会 ・歴史的音源コンサート</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | |
|-------------------------|--|---|---------|-------|-------|
| 428 | 新しい時代に即した「これからの図書館」推進事業 | 生涯学習部 | 総合市民図書館 | | |
| | 事業目的 | 新しい時代に即した「これからの図書館」について考え、方針・計画等を策定し、実行することにより、更なる図書館サービスの充実を図る。 | | | |
| | 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に即した「これからの図書館」のあり方について研究・検討し、今後の図書館の運営方針及び計画を策定する。 ・南市民図書館再整備にあたり、必要な機能・設備等について検討する。 | | | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●方針・計画等の策定 | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → |
| | ●南市民図書館再整備 | | | | |
| | 検討 | → | → | → | → |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | | | | |
| 予算額(千円) | 853 | 930 | | | |
| 決算額(千円) | 764 | | | | |
| 執行率(%) | 89.6 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 新しい時代に即した「これからの図書館」のあり方について、4市民図書館11市民図書館の役割と新たな機能、及び、南市民図書館の再整備の検討を行う。 | | | | |
| 年度末の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に即した「これからの図書館」を考えるため、検討委員会を構成し、4市民図書館の役割と新たな機能、及び、南市民図書館の再整備の検討課題として①4市民図書館11市民図書館の役割と新たな機能、②南市民図書館の再整備、③図書館サービス、④資料の収集・保存・整理、⑤他団体との連携、⑥施設・設備・機能の6つを挙げ、平成27年度には主に①と②について検討した。 ・文化ゾーン再整備の基本構想に反映するため、検討課題②において、南市民図書館の建て替えに際して新たに求められる施設・設備・機能等について検討した。 ・検討委員会において先進図書館の視察を行った。 ・平成27年度の検討状況について、中間報告を行った。 | | | | |
| | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの図書館」において、4市民図書館11市民図書館の役割と新たな機能、及び、南市民図書館の再整備についての検討が進み、中間報告を行った。 ・新しい時代に即した「これからの図書館」を考えるため、引き続き、「これからの図書館」を考えるため、検討委員会において、図書館の役割と機能・設備等について検討していく。また、建て替えを行う南市民図書館についても、併せて検討を行っていく。 ・平成28年度に最終報告をまとめる。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの図書館」を考えるため、引き続き、「これからの図書館」を考えるため、検討委員会において、図書館の役割と機能・設備等について検討していく。また、建て替えを行う南市民図書館についても、併せて検討を行っていく。 ・平成28年度に最終報告をまとめる。 | | | | |
| | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「これからの図書館」検討委員会において検討を行う。平成28年度には主に検討課題③④⑤⑥を中心に検討し、平成27年度に検討した事項も含め「これからの図書館」のあり方を最終報告としてまとめる。 ・検討委員会において先進図書館の視察を行う。 ・市民ニーズを把握するために、利用者アンケートを実施する。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | |
|-------------------------|---|---|---------|-------|-------|
| 431 | 公民館運営事業 | 生涯学習部 | 生涯学習総務課 | | |
| | 事業目的 | 13地区の公民館において、地域が有する教育資源(人材、文化学習成果等)を積極的に活用すること、市民の学習ニーズや地域課題を捉えるとともに、地域特性を生かした事業の展開を図る。 | | | |
| | 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の生活の質を高めるとともに、学習を通じて人間関係を深め、豊かな地域づくりを進める。 ・快適な学習環境の中で、市民の主体的学習活動の推進を図る。 ・他機関との連携や地域が有する教育資源の活用及び市民の学習ニーズに応じた多様な事業の実施 ・公民館サークル等の育成、生涯学習活動への支援 ・公民館運営審議会による公民館事業の調査・審議 ・藤沢市公民館あり方検討委員会による公民館のあり方の検討 ・公民館施設の維持管理・改善による学習環境の整備 | | | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | ●各種公民館事業の実施 | | | | |
| | ●審議会等による公民館運営の調査・検討 | | | | |
| | ●公民館施設維持・管理 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 262,943 | 267,411 | | | |
| 決算額(千円) | 246,036 | | | | |
| 執行率(%) | 93.6 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 審議会の意見をとり入れた公民館の改善(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | | | | |
| 年度末の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・乳幼児家庭教育支援・高齢者学級等の学級・地域の特性を生かした各種講座や公民館まつり等を実施した。 ・公民館サークル等の育成や、地域住民の生涯学習活動に対して支援を図った。 ・公民館運営審議会を開催し、全体的な視野で公民館事業について審議し、公民館自己評価や各公民館評議員会との連携など、より良い公民館の体制づくりを図った。 ・「公民館あり方検討委員会」による議論がまとまり、提言書「地域とともに歩む公民館」を市表に提出した。 <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公民館」に関する諸課題について、改善のために審議会等からの意見を実行に移したことで、きっかけをつくることができた。 ・「公民館」について、地域に寄り添い、それぞれが特色のある活動を継続していけるよう、課題の解決や、連携を深めていく。 ・公民館が地域課題に取り組み、その中から地域に貢献し得る人材が育成されるような事業を展開していく。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公民館について、地域に寄り添い、それぞれが特色のある活動を継続していけるよう、課題の解決や、連携を深めていく。 ・公民館が地域課題に取り組み、その中から地域に貢献し得る人材が育成されるような事業を展開していく。 | | | | |
| | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児家庭教育支援、高齢者学級等の学級、地域特性を活用した各種講座や公民館まつり等を実施する。 ・公民館サークル等の育成や地域住民の生涯学習活動に対して支援を図る。 ・公民館運営審議会を開催し、全体的な視野で公民館について審議する。 ・「公民館あり方検討委員会」による議論に基づき、公民館事業への職員の関わりについて調査・検証を行う。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 生涯学習総務課 |
|--|--|-----------------|-----------------|------------|------------|
| 432 | 藤沢公民館・村岡公民館再整備事業 | | | | |
| <p>事業目的 老朽化し手狭な状況の公民館の再整備を行い、バリアフリー化や施設の拡充などを行うことにより、市民がより一層学習活動や地域コミュニティ活動に参加しやすい施設とする。</p> <p>事業内容 ・藤沢…労働会館等との複合化による再整備を行う。 ・村岡…地区のまちづくりの状況等を踏まえ、再整備を検討する。</p> | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●藤沢公民館 | H28年度 ●藤沢公民館 | H29年度 ●藤沢公民館 | H30年度 → | H31年度 → |
| 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 | | | 供用開始 |
| ●村岡公民館 | | | | | |
| 検討 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>藤沢公民館・労働会館等複合施設建設基本計画に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>【藤沢公民館再整備事業】 ・市内検討プロジェクト・協議を4回実施(H27まで計14回)。 ・藤沢公民館建設検討委員会を4回開催(藤沢公民館主催・H27まで計6回)。 ・地域団体及び施設利用者等への説明会を対象別に計2回開催(藤沢公民館主催・H27まで計2回)。 ・基本設計の策定 ・家屋調査(事前)の実施(産業労働課) ・敷地測量の実施(産業労働課)</p> <p>【村岡公民館再整備事業】 ・村岡郷土づくり推進会議から提出された「村岡公民館建て替えに関する要望書」に対し回答を提出した。</p> | | | | |
| 予算額(千円) | 0 | | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・藤沢公民館・労働会館等再整備事業において、市内プロジェクトや藤沢公民館建設検討委員会、各説明会を経て、計画どおり基本設計を策定することができたため。</p> <p>今後の方向 【藤沢公民館の再整備について】 ・平成31年度の供用開始に向け、産業労働課を中心に市内各課等と連携して、基本構想にあるスケジュールどおりに再整備事業を進めていく。 【村岡公民館の再整備について】 ・地域からの要望書に対し回答を提出したことから、再整備の実現に向け、検討を進めていく。</p> | | | | |
| 評価 | B | | | | |
| H27年度の総合評価 | B | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 文化芸術課 |
|---|--|------------------------|------------------------|------------|------------|
| 511 | 市民ギャラリー事業 | | | | |
| <p>事業目的 市民文化の支援と育成を図るとともに、市民の創作活動の充実を図る。</p> <p>事業内容 市民の美術創作活動の推進及び美術作品鑑賞のための主催・共催等の事業を行う。 (公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年)・藤沢市展・芸術文化展など)</p> | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●公民館サークル美術写真展 | H28年度 ●公民館サークル美術写真展 | H29年度 ●公民館サークル美術写真展 | H30年度 → | H31年度 → |
| 実施 | → | → | → | → | → |
| ●カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年で実施) | | | | | |
| 実施 | | | | | 実施 |
| 予算額(千円) | 130 | 140 | | | |
| 決算額(千円) | 127 | | | | |
| 執行率(%) | 97.7 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・第65回藤沢市展 入場者数6,880人 ・第18回カナガワビエンナーレ国際児童画展 2015年9月15日(火)～9月20日(日) 入場者数522人 ・芸術文化展 2015年11月3日(火)～11月8日(日) 入場者数1,129人 ・公民館サークル美術展 2015年11月24日(火)～11月29日(日) 入場者数1,024人 ・公民館サークル写真展 2014年12月1日(火)～12月6日(日) 入場者数709人 ・高等学校美術展 2016年1月12日(火)～1月17日(日) 入場者数837人</p> | | | | |
| 予算額(千円) | 130 | | | | |
| 決算額(千円) | 127 | | | | |
| 執行率(%) | 97.7 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・入場者数は、昨年度に比べて概ね増え、よりよい方向に向かっていると考えられるため。</p> <p>今後の方向 さらに内容の充実を図っていくため、各事業の実行委員会において、今後も検討を進めていきたい。</p> | | | | |
| 評価 | B | | | | |
| H27年度の総合評価 | B | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | |
| 課題・問題点 | <p>各事業の実行委員会において、前年度の反省点を踏まえた内容の検討を行い、入場者数等の増加に努めている。</p> | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>第66回藤沢市展 ・芸術文化展 ・公民館サークル美術展 ・公民館サークル写真展 ・高等学校美術展</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 文化芸術課 | | | | | | | | | | |
|--|------------|------------|------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 512 | 文化芸術振興事業 | | | 変更(ある場合) | | | | | | | | | | |
| <p>本市が草年培ってきた文化基盤と、市民が持つ熟成された芸術的能力を生かし、市民を主体とした文化芸術活動などを総合的に展開することにより、文化芸術創造都市として、市民が誇れる文化の創造・発展と、文化の薫りあふれるまちづくりを推進する。</p> <p>・ゆとりと潤いの実感できる、豊かな市民生活の実現のため、芸術鑑賞事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、文化芸術の鑑賞機会や活動の機会のさらなる充実を図るとともに、市民とパートナーシップによる文化芸術の推進や、魅力ある文化創造の発信に向けた総合的な文化芸術事業の展開を図る。 ・市民文化振興事業を安定的・継続的に実施するため、「藤沢市文化振興基金」への積立・運用を行う。 (市民オペラなどの音楽事業・親劇などの演劇事業・若い世代の育成のためのアウトリーチ事業・文化芸術団体による文化事業・文化振興基金積立事業)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>事業目的</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>事業内容</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,000人</td> <td>31,500人</td> <td>32,000人</td> <td>32,500人</td> <td>33,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>●音楽事業・演劇事業・アウトリーチ事業・文化事業等</p> | | | | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | 31,000人 | 31,500人 | 32,000人 | 32,500人 | 33,000人 |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | | |
| 31,000人 | 31,500人 | 32,000人 | 32,500人 | 33,000人 | | | | | | | | | | |
| <p>予算額(千円) 119,557</p> <p>決算額(千円) 119,537</p> <p>執行率(%) 100.0</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽事業の実施 5,163人 演劇事業の実施 3,256人 アウトリーチ(学校訪問)事業の実施 1,956人 文化事業の実施 13,522人 文化振興基金積立事業 合計17件 1,324,998円の寄付があった。 <p>計画とおりの事業を行うことができ、文化芸術の発信ができており、市民の関心が高まり、文化芸術の発展が期待できていると考えられるため。</p> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民を主体とした文化芸術活動を総合的に展開し、文化芸術の鑑賞や活動の機会のさらなる充実を図る。また、今後の文化芸術事業のあり方について、協議・検討を行う。 <p>評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度の総合評価</th> <th>H28年度の総合評価</th> <th>H29年度の総合評価</th> <th>H30年度の総合評価</th> <th>H31年度の総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画とおりの事業を行うことができ、文化芸術関係団体との連携、調整がスムーズに行われたと考えられるため。 事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。 <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽事業 演劇事業 アウトリーチ(学校訪問)事業 文化事業 文化振興基金積立事業 | | | | | H27年度の総合評価 | H28年度の総合評価 | H29年度の総合評価 | H30年度の総合評価 | H31年度の総合評価 | B | B | B | B | B |
| H27年度の総合評価 | H28年度の総合評価 | H29年度の総合評価 | H30年度の総合評価 | H31年度の総合評価 | | | | | | | | | | |
| B | B | B | B | B | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 文化芸術課 | | | | | | | | | | |
|---|------------|------------|------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 513 | 市民文化創造事業 | | | 変更(ある場合) | | | | | | | | | | |
| <p>市民に元気を与え、地域社会を活性化させるため、魅力ある文化の創造・発展に努める。</p> <p>事業目的</p> <p>事業内容</p> <p>文化芸術団体を始め、市民・NPO・ボランティアや企業などと行政が連携・協働して、文化芸術の人づくりや場づくりを進め、子どもから青少年をも含めた将来の藤沢の文化芸術を担う人材の育成など、一人ひとりの個性や目らしさを引き出し、多種多様な文化芸術の発見と発展につなげる。 (このころの劇場小学生招待事業・市民シアター第九演奏会(3年に1回開催)・市民力・地域力向上のための事業の検討・実施)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●このころの劇場小学生招待事業</p> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,000人</td> <td>3,900人</td> <td>3,700人</td> <td>3,800人</td> <td>3,900人</td> </tr> </tbody> </table> <p>●第九演奏会実施</p> | | | | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | 4,000人 | 3,900人 | 3,700人 | 3,800人 | 3,900人 |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | | | | | | | | |
| 4,000人 | 3,900人 | 3,700人 | 3,800人 | 3,900人 | | | | | | | | | | |
| <p>予算額(千円) 6,970</p> <p>決算額(千円) 6,970</p> <p>執行率(%) 100.0</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> このころの劇場小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2015年6月25日(木)、26日(金) 4公演 演目 ミュージカル「むかしむかしソウがきた」 参加 市内37校(私立2校含む)4,198人 市民シアター第九演奏会 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2015年12月27日(日) みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 開催日 2016年2月13日(土)、14日(日) <p>計画とおりの事業を行うことができ、小学校長会・関係団体との連携、調整がスムーズに行われたと考えられるため。</p> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。 <p>評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度の総合評価</th> <th>H28年度の総合評価</th> <th>H29年度の総合評価</th> <th>H30年度の総合評価</th> <th>H31年度の総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画とおりの事業を行うことができ、小学校長会・関係団体との連携、調整がスムーズに行われたと考えられるため。 事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。 <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> このころの劇場小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2016年6月2日(木)、3日(金) 4公演 演目 ミュージカル「エルゴスの祈り」 みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 日程 2017年3月11日(土)、12日(日) | | | | | H27年度の総合評価 | H28年度の総合評価 | H29年度の総合評価 | H30年度の総合評価 | H31年度の総合評価 | B | B | B | B | B |
| H27年度の総合評価 | H28年度の総合評価 | H29年度の総合評価 | H30年度の総合評価 | H31年度の総合評価 | | | | | | | | | | |
| B | B | B | B | B | | | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 文化芸術課 | |
|---|---|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 514 | 文化活動支援事業 | | | | | |
| <p>事業目的 文化芸術団体の自主的な活動や次世代を育成する事業等に支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進する。これらの取組により、文化芸術団体の水準の向上を図るとともに、郷土愛あふれるまちづくりを推進する。</p> <p>事業内容 市民の主体的な文化活動を促進するため、団体助成制度の充実や、側面支援として行政の後援等の活用や、活動場所の優先的な提供等、多様な手法による支援を行う。(芸術文化助成事業) ・藤沢市文化団体連合会及びその加盟文化団体が実施する、将来の文化を担う次世代育成事業等に対する支援を行う。(次世代育成事業)</p> | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●芸術文化助成事業 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| | ●次世代育成事業 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 1,000 | | 1,000 | | | |
| 決算額(千円) | 800 | | | | | |
| 執行率(%) | 80.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度の完了のための必要な経費の一部を助成し、度末の成果をもって本市の文化の発展に寄与した。 | 音楽・演劇等舞台芸術を対象とした活動を 行っている個人または団体に対し、その事業 に対するH27年度の完了のための必要な経費の一部を助成し、 度末の成果をもって本市の文化の発展に寄与した。 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・音楽・演劇等舞台芸術を対象とした活動を行っている個人または団体に対し、必要な経費の一部を助成し、本市の文化発展に寄与した。 ①湘南コール・グリューン 創立65周年記念第65回定期演奏会 ②湘南ゆうの会 人形劇「よわむし騎士とすってんころりんの王女様」 ③藤沢男声合唱団 創立35周年記念第26回定期演奏会 ④藤沢ジュニアオーケストラ 第33回定期演奏会 ⑤朗読の会海の音 第24回海の音定期朗読会 | | | | | |
| 評価の理由 | ・助成決定後、2団体が事業取りやめとなったが、その他の5団体は計画どおりの事業を行い、側面から支援を行う事ができた。 今後、多様な活動を促進していく。 | | | | | |
| 今後の方向 | ・今後、多様な活動を促進していく。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | ・助成団体4団体 ①藤沢男声合唱団 第27回定期演奏会 ②藤沢合唱団 35周年記念コンサート ③遊行舎 遊行かぶぶき20周年記念公演「小栗判官と照手姫」 ④湘南女声合唱団 創立50周年第15回演奏会 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 文化芸術課 | |
|--|--|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 515 | 文化芸術活動広域ネットワーク事業 | | | | | |
| <p>事業目的 本市の文化芸術に新たな分野を創り上げていくために、他市との文化交流を推進する。</p> <p>事業内容 本市の優れた文化芸術の地域資源を再認識・再発掘し、今後も一層広域・横断的なネットワークを創る。 (藤沢・茅ヶ崎・寒川による広域文化交流委員会・他市の市民文化会館等で活動している団体との交流等)</p> | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| | | ●湘南広域文化事業 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| | 会場担当市町 藤沢市 | 茅ヶ崎市 | 寒川町 | 藤沢市 | 茅ヶ崎市 | |
| 予算額(千円) | 235 | | 235 | | | |
| 決算額(千円) | 235 | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度の完了のための必要な経費の一部を助成し、度末の成果をもって本市の文化の発展に寄与した。 | 幅広い世代が参加でき、近年様々なジャンルの活動が活発なダンスを取り組むチームとして、公募及びゲスト団体によりダンス発表会「いいね湘南！ダンスハラスタイル」を開催し、多くの参加者の中、ハラエライに賞状を授与した発表会となった。 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・湘南文化交流事業「いいね湘南！ダンスハラスタイル」 日時：平成28年1月24日(日) 13時15分～16時20分 会場：藤沢市民会館大ホール 13時15分～16時20分 出演団体：藤沢市5団体、茅ヶ崎市5団体、寒川町5団体 合計 15団体、360人 参加者数：出演者360人 来場者850人 合計1,210人 | | | | | |
| 評価の理由 | ・藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町における文化交流が推進された。 | | | | | |
| 今後の方向 | ・平成28年度以降については、次世代育成をテーマに文化芸術の様々な手法(絵画・写真・映像・彫刻など)を使って作品を共同で制作するワークショップ形式の事業を展開し、2市1町の湘南地域の文化交流を積極的に推進する。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | ・次世代育成をテーマに映像作品を共同で制作するワークショップ形式の事業を展開。 | | | | | |
| 課題・問題点 | ・2市1町で組織する広域行政協議会の中の広域文化活動部会として、多様な文化の交流を図ることのできる共通の事業を企画・検討し、実施していかなければならない。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|--------------------|---|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|
| 516 | アーティストスペースの整備・運営事業 | 生涯学習部 | 文化芸術課 | | | | | |
| <p>事業目的 芸術家等の創作活動の支援、芸術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を主な目的に、本市の芸術振興の拠点施設として整備する。</p> <p>事業内容 美術の振興を図る新たな機能を持つ施設として、アーティストスペースを整備する。 ・レジダンスルーム(アトリエ)、展示ルーム等の整備 ・個室やグループ展など、幅広い分野の美術作品の展示 ・若手芸術家等の創作活動及び展示・発表等の支援等</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 開設・供用開始 入場者及び利用者数 | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | | 64,360 | | 68,098 | | | | |
| 決算額(千円) | | 60,182 | | | | | | |
| 執行率(%) | | 93.5 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 年間来館・来場者数約 24,000人 神台公園会場観覧者約17,000人 | | H27年度の 総合評価 | | H28年度の 総合評価 | | H29年度の 総合評価 |
| 度末の成果 | | B | | B | | B | | 継続 |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストスペース開館直前シンポジウムの開催 2015/8/30 ・講演会:美術館は何をばじめたのか 講師:神奈川県立近代美術館長 水沢 勉 ・ハナネル・イズカッソン・アートが導く!「文化都市・藤沢」の新たな展開に向けて、パネリスト:神奈川芸術文化財団学芸員中野仁詞 他2人、司会:美術評論家 岡部あおみ *参加者114人 ・開館記念特別展覧会「From now on!!」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1期:10/3-11/3 参加作家:4人 第2期:11/7-12/6 参加作家:3人 第3期:12/12-1/17 参加作家:2人 *来館者数 3,277人 ・企画展Ⅱ「まちをとらえる一記憶のドキュメント」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 1/23-2/28 参加作家:4人 *来館者数1,173人 ・企画展Ⅲ「みつけること/またみつけること」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 3/5-4/10 参加作家:4人 *来館者数 1,389人 神台公園会場観覧者数 約17,000人 <p>課題・問題点 ・アーティストスペースがある湘南C-XC2街区は、特別景観形成地区であり、広告看板等の掲出について、きめ細やかな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。 ・施設の周知等について、他の公共的な施設や地域域の商店街、及び民間施設と連携をしていく必要がある。</p> | | | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画 ・公募による公開制作展の開催:多彩な創作活動に携わるアーティストから制作したい作品と展示についてのプランを全国から広く募集し開催する。 ・藤沢(湘南)ゆかりの作家展:藤沢を中心として湘南地域で活動する若手作家を紹介する展覧会を3回開催する。 ・レジダンスルーム、展示ルームの一般への貸し出し ・展覧会に関連したイベントの開催及び、子どもや各世代で楽しめるワークショップ、美術講座を定期的に開催する。</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|------------|---|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|
| 517 | 文化ゾーン再整備事業 | 生涯学習部 | 文化芸術課 | | | | | |
| <p>事業目的 市民会館・南市民図書館については、文化芸術を牽引する文化ゾーンに位置し、ともに老朽化や機能劣化が著しい状況であるため、再整備を基本に、当該地域を活用した周辺公共施設の機能集約も検討する。</p> <p>事業内容 老朽化や機能劣化が著しい市民会館と南市民図書館について、周辺公共施設の機能集約も検討する。</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 基本構想策定 庁内検討 | | ●在り方の検討 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | | 0 | | 930 | | | | |
| 決算額(千円) | | 0 | | | | | | |
| 執行率(%) | | 0.0 | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 企画政策課主体の庁内検討はなされなかった が、文化芸術課、総合市民図書館において、再整備に向けた検討等を行った。 | | H27年度の 総合評価 | | H28年度の 総合評価 | | H29年度の 総合評価 |
| 度末の成果 | | D | | D | | D | | 継続 |
| <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(文化芸術課)基本構想策定に向けた市民アンケート調査及び利用団体ヒアリングを行い、結果がレポートとしてまとまっている。この中で、市民会館として、どの程度の施設規模とするのか、どのような機能を持てるのか、また文化ゾーンなのか、どのような機能を持たせた複合施設とするのかについて提案がなされている。 ・(総合市民図書館)平成27年度は、学識経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を設置し、検討委員会6回及び先進図書館視察を行い、4市民図書館11市民図書室の役割と新たな施設・設備・機能や図書館サービス等について検討を行い、検討委員会として中間報告をまとめた。 <p>課題・問題点 ・市民会館、南市民図書館ともに旧耐震基準で建設され、老朽化や機能劣化が進んでいる。 また、当該地区が文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっている。 ・市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また、文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設としていくのか引き続き検討が必要である。</p> | | | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画 ・図書館については、平成28年度も引き続き「これからの図書館検討委員会」で検討を行い、最終報告としてまとめるとともに、基本構想策定に向けた検討を行う。 ・公共施設再整備プランの見直し年度となっているため、文化ゾーンの再整備についてしっかりとらした計画となるよう、その事業手法や具体的なスケジュールも含めて企画政策部と協議し、計画に位置づけることとする。</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|--|----------------------------|----------------------|----------------------|
| 事業コード 521 | 事業名 歴史遺産保存整備活用事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 | |
| 事業目的 歴史・文化の継承や地域の特性を生かした文化の発展を図る。 | | 変更(ある場合) 年次取組計画を変更(H28) | | |
| 事業内容 市内に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、歴史的資産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図られるように整備する。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●市指定文化財の指定 | ●市指定文化財の指定 | ●市指定文化財の指定 | ●市指定文化財の指定 | ●市指定文化財の指定 |
| 1件 | 1件 | 1件 | 1件 | 1件 |
| ●国登録文化財の登録 | ●国登録文化財の登録 | ●国登録文化財の登録 | ●国登録文化財の登録 | ●国登録文化財の登録 |
| 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 |
| ●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整 | ●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整 | ●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整 | ●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整 | ●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整 |
| 実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 280 | 290 | | |
| 決算額(千円) | 280 | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 市指定文化財は目標値を超えて3件新たに指定。国登録文化財は目標値を超えて4箇所を新たに登録。 | | | |
| 年度末の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●市指定文化財 遊行寺境内の中雀門、青銅製灯籠、常光寺の木造地藏菩薩立像の3件の指定をした。 ●国登録有形文化財 辻堂太平台に所在する月山堂滴水庵の主屋、待合、大門の3件、遊行寺境内の本堂、御書方、小書庫、百間蔵下、回向堂、宇賀神社、鐘樓、手水舎、物門、石垣及び築地塀の10件、旧藤沢酒内の岡次商店穀物蔵、肥料蔵の2件、旧福元屋呉服店内蔵、一番蔵の2件、合わせて4箇所17件の登録ができた。 ●候補物件の調査 盛岩寺境内に移築された、旧雨谷商店店舗兼主屋を登録文化財の候補として調査を実施した。 ●江の島道治の歴史的建造物の所在調査を実施。 | | | |
| 評価 | H27年度の総合評価 A | | | |
| 次年度 | 継続 | | | |
| 評価の理由 計画を上回る件数の物件について指定、登録をすることができた。 ●市指定文化財 今後の方向 市指定文化財 候補物件の調査のための予算要求 ●国登録文化財 街なみ継承地区については、引き続き街なみ景観課と連携しながら優先的に進める。 江の島道治の建造物については、片瀬市民センターと連携を図って進める。 | | | | |
| 課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されてたため公開・活用が難しい。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|--|--|----------------------|----------------|---------------|
| 事業コード 522 | 事業名 文化財保護事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 | |
| 事業目的 歴史的遺産の後世への継承と地域文化財の活用を推進する。 ●郷土愛と豊かな心を育てる。 | | 変更(ある場合) 変更(ある場合) | | |
| 事業内容 文化財の調査・研究・保存・管理、普及・活用及び埋蔵文化財の調査等を実施する。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●遺跡調査速報展の開催 | ●遺跡調査速報展の開催 | ●遺跡調査速報展の開催 | ●遺跡調査速報展の開催 | ●遺跡調査速報展の開催 |
| ●保存管理奨励交付金の交付 | ●保存管理奨励交付金の交付 | ●保存管理奨励交付金の交付 | ●保存管理奨励交付金の交付 | ●保存管理奨励交付金の交付 |
| ●江の島道標の移設 | ●江の島道標の移設 | ●江の島道標の移設 | ●江の島道標の移設 | ●江の島道標の移設 |
| ●文化財説明板の設置 | ●文化財説明板の設置 | ●文化財説明板の設置 | ●文化財説明板の設置 | ●文化財説明板の設置 |
| 実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 2,370 | 3,613 | | |
| 決算額(千円) | 2,304 | | | |
| 執行率(%) | 97.2 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 遺跡調査速報展の開催 3,201名 保存管理奨励交付金の交付 1,520,000円 修理等補助金の交付 397,060円 江の島道標の移設 2箇所 文化財説明板の設置 2箇所 | | | |
| 年度末の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●遺跡調査速報展 「ふたつの考古資料展」として11/17～1/24(53日間)、藤沢市民ギャラリー一常設展示室にて開催した。入場者は3,201名である。 ●保存管理奨励交付金の交付 40管理者69件の指定文化財に対し、1,520,000円交付した。 ●修理等補助金の交付 鷗沼皇大神宮入形山車修理(仲町・清水町)に対し、597,060円交付した。 ●江の島道標の移設 市役所本館前に設置されていた江の島道標を、藤沢橋脇と低上公園に移設した。 ●文化財説明板の設置(186,840円) 旧後藤医院鶴沼分院、江の島道標(低上公園内)の文化財説明板を設置した。 | | | |
| 評価 | H27年度の総合評価 B | | | |
| 次年度 | 継続 | | | |
| 評価の理由 ●ほぼ計画通りに事業を行うことができた。 ●江の島道標の移設については、移設予定を終了した。 ●文化財保護に関して、継続的に行っている。 | | | | |
| 課題・問題点 ●説明板の設置については、限られた予算の中で行うため、新指定文化財があっても、すぐに対応できない。 ●修理等補助金については、必要が生じても事前に予算化できないため、すぐに対応するのが難しい。 | | | | |
| H28年度事業計画 ●遺跡調査速報展については、大地に刻まれた藤沢の歴史と同時に関わる。 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(遊行寺 中雀門、青銅製燈籠、常光寺 木造地藏菩薩立像)の管理者に追加で交付する。 ●修理等補助金については、鷗沼入形山車(原町)と常光寺木造地藏菩薩立像の修理に交付する。 ●文化財説明板は新たに遊行寺青銅製燈籠に設置する。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|---|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 事業コード 523 | 事業名 広域連携展示事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 |
| 事業目的 広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用に よる幅広い公開活用事業の展開を図り、それにより市民へ多様な 公開を行う。 | | | |
| 事業内容 茅ヶ崎市美術館を利用した共同作業による展示会を、広域文化活 動部会事業に位置づけ開催する。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●合同美術展実施 入場者数 3,000人 | H28年度 ●合同美術展実施 入場者数 3,000人 | H29年度 ●合同美術展実施 入場者数 3,000人 |
| 予算額(千円) | 1,124 | 0 | |
| 決算額(千円) | 0 | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | |
| 年次ごとの取組計 画(年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果 | 広域連携展示事業 参加者総数(3,606人) | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>●湘南地域の文化振興を図るために、藤沢市、茅ヶ崎市、 寒川町にゆかりのある作品を展示する展示会を開催した。</p> <p>名称：「絵はがきになった湘南の風景」 開催期間：平成27年12月6日(日)～平成28年1月31日 (日)</p> <p>会場：茅ヶ崎市美術館 展示室1 観覧料：無料 関連事業：展示関連講演会「絵葉書に見る南湖院」 茅ヶ崎市 平成27年12月13日(日) ギヤラリー・アート・ク(市)市担当者による展示(韓説) 茅ヶ崎市 平成28年1月9日(土) 茅ヶ崎市 平成28年1月16日(土) 茅ヶ崎市 平成28年1月23日(土)</p> <p>展示資料：54点 観覧者数：3,606人(1日平均観覧者数：88人)</p> | | |
| 評価の理由 | <p>●平成27年度目標値より812人増となったため。</p> <p>●平成27年度目標値の達成が確実であり、平成26年 度参加者総数より812人増となったため。</p> | | |
| 今後の方向 | <p>●湘南広域都市行政協議会の湘南広域文化交流事 業と広域連携展示事業を一つに統合し、新顔(財) 神奈川県市町村振興協会市町村広域行政助成事 業を実施する。</p> | | |
| H28年度事業計画 | | | |
| ●広域文化活動事業として担当が文化芸術課に変更 | | | |
| 課題・問題点 ●事業を開始して一定の期間が過ぎたため、2市1町(ゆかり の作品というコンセプト)に合致する資料を集めるのが困難 になってきたことから、新たな事業展開を検討する。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|--|---|----------------------------|----------------------------|
| 事業コード 524 | 事業名 文化財収蔵庫整備事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 |
| 事業目的 文化財収蔵庫の集約化と適正な文化財の収集・整理・保管・活 用 | | | |
| 事業内容 市内各所に分散、老朽化した収蔵庫の集約化と文化財の適正な 収集・整理・保管・活用ができる施設について検討を進める。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 | H28年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 | H29年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | |
| 決算額(千円) | 0 | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | |
| 年次ごとの取組計 画(年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果 | <p>●収蔵庫の集約化と適正な文化財の収集・整理・保管・活用 の推進を図るため、市内各所に分散した収蔵庫の集約化と 適正な文化財の収集・整理・保管・活用ができる施設につ いて検討を進める。</p> | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>●前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収 蔵庫の集約に向けた文化財の整理方針と、新たな収蔵庫 に必要な機能等について検討した。また、近々使わなくな る公共施設を洗い出し、利用可能性を検討したが、公共施 設の再利用については、収蔵庫として使用するための施設 の課題があることがわかった。そのため、公共施設の再 利用はせず、文化財収蔵専用の新たな施設を整備するこ とを旨として検討を進めることとした。</p> | | |
| 評価の理由 | <p>●不用公共施設建物の再利用について検討し、今後 の取り組みの方向性としては、採用しないこととし た。そのような検討の過程を一段階済み、目標を達 成した。</p> | | |
| 今後の方向 | <p>●将来的に文化ゾーン再整備地区内に市民キヤ ラーが移設される計画があるため、常設展示室の バックヤードとして現在分散している収蔵施設をまと め、この地区内に整備することを視野に入れて検討 したい。</p> | | |
| H28年度事業計画 | | | |
| ●前年度までの検討内容をふまえ、現存する収蔵品 の整理と、今後の文化財の収集に関する考え方をま とめる。 | | | |
| ●新たな収蔵庫の規模、必要な機能等を整理し、保 管施設整備方針をまとめることにも、文化ゾーンの可 再整備計画に保管施設の整備を組み込むことの可 能性を検討する。 | | | |
| 課題・問題点 ●現在の収蔵庫が縮小状態にあるため、現存する収蔵品 を整理するためには新たなスペースが必要となる。新たな 保管施設整備までの間、公共施設を再利用してスペース を確保することが必要。 ●また、膨大な量の収蔵品があるため、現在の執行体制で は、整理作業に係る人員の確保が難しい。外部委託等の 検討が必要。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 |
|---|---|------------|------------|------------|------------|
| 525 | 映像資料保存公開事業 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 | | |
| 事業目的 市民との協働によって映像記録の収集・公開を行い、市民の生涯学習の向上と歴史や民俗・文化の継承を図る。 | | | | | |
| 事業内容 ・現在保有する映像資料を劣化から守るため、新たなメディアに保存するなど整備を進め、将来の市民に映像資産を引き継ぐ。 ・フィルムの点検・清掃・修繕 ・フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成 ・市民との協働で上映会開催及び映像資料の調査・収集 ・記録映画等を制作して地域文化を継承 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●フィルム資料のDVD化・上映会開催 | H28年度 → | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → |
| 実施 | ●記録映画制作 | 準備 | 実施 | 撮影・編集 | 完成・公開 |
| 予算額(千円) | 119 | 120 | | | |
| 決算額(千円) | 119 | | | | |
| 執行率(%) | 1000 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 所蔵フィルムのDVD化 1本 上映会開催 1回 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・所蔵フィルム(ライフタウン開発の記録映画シリーズの1)をDVD化した。 ・まちづくりパートナーシップ事業として、NPO法人湘南市民メディアネットワークとの協働により、11本のふじさわ郷土民俗・文化映像を制作し、映像の上映会を開催した。 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・フィルムのDVD化、映像上映会を予定しており実施した。 ・所蔵フィルムをDVD化を推進して保存を図るとともに、貸出や上映会に対応できるようにする。 | | | | |
| 評価の理由 | H27年度のDVD化、映像上映会を予定しており実施した。 | | | | |
| 評価 | H27年度の総合評価 B | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | |
| 課題・問題点 | ・フィルムのDVD化に当たり、音楽に残すものとして、映像の品質が十分ではない。 | | | | |
| 課題・問題点 | ・所蔵フィルムをDVD化を推進して保存を図るとともに、貸出や上映会に対応できるようにする。 | | | | |
| 課題・問題点 | H28年度事業計画 ・保存フィルム1本のDVD化を実施。 ・記録作成対象の選定を行い、実施計画を立てる。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 |
|---|--|------------|------------|------------|------------|
| 526 | 歴史的建造物維持活用事業 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 | | |
| 事業目的 郷土の歴史・文化遺産として歴史的建造物を維持・保存することにも、公開、活用することで文化の向上を図る。 | | | | | |
| 事業内容 ・旧三鶯八郎右衛門家住宅等、歴史的建造物の維持・保存 ・古民家を活用した事業の実施 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●旧三鶯家の公開 ●古民家を利用した事業 ●新たな古民家の活用検討 | H28年度 → | H29年度 → | H30年度 → | H31年度 → |
| 実施 | | | | | |
| 予算額(千円) | 4,482 | 4,482 | | | |
| 決算額(千円) | 4,191 | | | | |
| 執行率(%) | 93.5 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 旧三鶯家の公開 1,153人 古民家を利用した事業 6回 旧稲元屋の蔵について利用を検討した。 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・旧三鶯邸の公開を、明治地区郷土資料室に委託して、週2回(10時～16時)実施した。来館者 1,153人 ・古民家を活用した事業として、旧三鶯邸で和楽器演奏会を2回、講演会を1回、旧小池邸で紙芝居を2回、音話を1回開催した。 ・旧稲元屋の蔵の国登録有形文化財の登録にとまない、公開、活用の検討をした。 | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | ・概ね計画とおりの事業を実施できた。 | | | | |
| 評価の理由 | H27年度の総合評価 B | | | | |
| 評価 | H27年度の総合評価 B | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | |
| 課題・問題点 | 引き継ぎ、旧三鶯邸を中心に歴史的建造物の維持、活用を図る。 | | | | |
| 課題・問題点 | H28年度事業計画 ・旧三鶯邸の公開(週2日、10時～15時) ・旧三鶯邸、旧小池邸を活用した事業の実施。 ・旧稲元屋の蔵の活用方法の検討。 | | | | |
| 課題・問題点 | ・歴史的建造物の公開、活用については、所有者の意向や修繕等にかかる経費などにより、円滑に進めることが困難である。 | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|---|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 527 | 歴史資料公開活用事業 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>展示会開催等により、地域の歴史・文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>地域施設における展示事業実施、学校等における郷土資料講座の実施、電子博物館の整備等、公開活用事業の充実を図る。</p> <p>事業内容</p> <p>展示会開催等による展示事業実施、学校等における郷土資料講座の実施、電子博物館の整備等、公開活用事業の充実を図る。</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 展示会開催延日数 | 300日 | 300日 | 300日 | 300日 | 300日 | 300日 | 300日 |
| 予算額(千円) | 3,707 | 3,658 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 3,231 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 87.2 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 展示会開催延日数(303日) | | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・常設展示室展示会「鳥瞰図(空から見た世界)展」等5件。開催日数199日</p> <p>・地域(図書館等)開催展示会:「東海道藤沢宿パネル展(藤沢公民館)」、国至「一巡聖絵パネル展」等6件。開催日数69日</p> <p>・年中行事ミニ展示(新林公園):「こいのぼりと室内飾り」</p> <p>「おひなさま」開催日数35日</p> <p>・小学生のための郷土資料講座 17校54クラス</p> <p>・電子博物館「みゆネットふじさわ」のリニューアル。スマートフォン版の開設。</p> | | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>・常設展示室以外の図書館等での展示活動の充実が図られたため。</p> <p>・引き続き公開活用事業の充実を図る。</p> | | | | | | | |
| 今後の方向 | <p>・引き続き公開活用事業の充実を図る。</p> | | | | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・常設展示室展示会:「ちよつとむかしの道具展」ほか5件</p> <p>・ふじさわ宿交流館郷土資料展示室での宿場関連展示の実施</p> <p>・地域(図書館等)開催展示会:「交流館開館記念パネル展」の開催</p> <p>・小学生のための郷土資料講座「考古」「民俗」の実施</p> <p>・洋世絵館ホームページと連携した「みゆネットふじさわ」の充実</p> | | | | | | | |
| 課題・問題点 | <p>・平成28年度に開催するふじさわ宿交流館、藤澤洋世絵館及びアートスペースの3施設が連携した公開活用事業の実施。</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|--|--------|-------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 528 | ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 | 生涯学習部 | 郷土歴史課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な取組と併せて地域の活性化に繋がる活用を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学ぶ、休憩や交流の場としても活用できる施設として(仮称)ふじさわ宿交流館を整備する。</p> <p>藤沢宿の歴史・文化・なごわいの紹介</p> <p>伝統芸能の発表の場の提供</p> <p>地域の活性化のための事業実施</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 新築工事 | 開館 | 利用者数 | 25,000人 | 26,000人 | 26,000人 | 26,000人 | 26,000人 |
| 予算額(千円) | 214,457 | 31,049 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 154,880 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 72.2 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 新築工事について、年度末までに竣工できず | | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・6月議会に案例案を上げ、議決した。</p> <p>・議決後、指定管理者の選定を行った。</p> <p>・8月10日、新築工事を建築・電気・設備に分けて発注した。</p> <p>・12月議会に指定管理者の指定議案を上げ、議決した。</p> <p>・3つの工事のうち、建築工事について、年度末までに竣工せず事故繰越となった。</p> <p>・運営、活用についての地域・関係団体等との意見交換会を2回実施した。</p> <p>・藤沢地区郷土づくり推進会議、藤沢東部・西部自治連総会それぞれ交流館建設の進捗状況、運営、活用方法について説明した。</p> | | | | | | | |
| 評価の理由 | <p>・新築工事が完了しなかったため。</p> | | | | | | | |
| 今後の方向 | <p>平成28年4月1日から藤沢市観光協会が指定管理者として運営準備を行い、4月29日に閉館予定。庶務業務は市が行い、各種イベント、PRは主に指定管理者が行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域ににぎわいの創出を目指す。</p> | | | | | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・4月29日閉館</p> <p>・運営協議会の開催</p> <p>・伝統芸能等各種イベントの実施</p> <p>・藤沢宿のPR</p> <p>・市民団体との協働事業の実施</p> | | | | | | | |
| 課題・問題点 | <p>・交流館をいかに市内外にPRするか、そして集客を地域の活性化ににぎわいの創出に繋げていくかを、指定管理者、地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践していく。</p> | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|---|---|-----------------------|----------------|-----------------|
| 事業コード 529 | 事業名 （仮称）藤澤浮世絵館の整備・運営事業 | 担当部 担当課 | 生涯学習部 郷土歴史課 | 計画建設部 街なみ景観課 |
| 事業目的 これまで市が収集してきた浮世絵額を中心とした資料を市民を被め多くの人に見ていただく場を提供することにより、郷土の歴史・文化についての関心を喚起し、郷土愛あふれる藤沢の実現に資する。 | | | | |
| 事業内容 市民等が気軽に訪れ、学び、眺めるスペースの設置 ・地図や写真などのデジタル資料も駆使した地域の歴史の紹介 展示を中心とした（仮称）藤澤浮世絵館を整備する。 ・東海道、藤沢宿、江の島など所蔵する浮世絵の特色を活かした展 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●（仮称）藤澤浮世絵館の整備・運営 | | | | |
| 年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値） | 設置工事 利用者数 10,000人 | 開館 利用者数 10,000人 | 20,000人 | 21,000人 |
| 予算額(千円) | 168,000 | 62,866 | | |
| 決算額(千円) | 160,651 | | | |
| 執行率(%) | 95.6 | | | |
| 年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）に対するH27年度末の成果 | 設置工事達成率100% | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・8月19日に27年度第1回活用検討会議を開催した。 ・9月に工事の発注を行った。 ・10月1日付で、主任学芸員として常勤嘱託職員を採用した。 ・1月15日に、第2回活用検討会議を開催した。 ・2月末に工事が竣工した。 ・2月議会に案例案を上程、議決した。 | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり工事が竣工し執行体制も整ったため。 | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月の開館に向けて準備を進める。 | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月、浮世絵館専門員として、非常勤職員4名を採用する。 ・平成28年7月開館予定。 ・開館記念展示会及びワークショップ等の事業を開催。 | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方に知っていただくためのPR ・地域や学校等との連携 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|---|--|------------|-----------------|-------|
| 事業コード 5210 | 事業名 景観資源推進事業 | 担当部 担当課 | 計画建設部 街なみ景観課 | |
| 事業目的 街なみ百年祭りに基づく歴史的・文化的な資産の保全、継承と景観まちづくりの推進 | | | | |
| 事業内容 ・旧東海道藤沢宿周辺を街なみ継承地区に指定し、歴史・文化を大切にした魅力ある街なみの形成を図る。 ・良質な街なみの形成に向け、街なみ景観フォーラム等を開催し、市民が主体となる景観まちづくりにつなげる。 | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) | | | | |
| 年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値） | 補助事業実施 ●市民主体の景観まちづくりへの意識啓発 | → | → | → |
| 街なみ景観フォーラム等の実施 | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 8,861 | 7,550 | | |
| 決算額(千円) | 2,295 | | | |
| 執行率(%) | 25.9 | | | |
| 年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）に対するH27年度末の成果 | 歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) 1,267,000円の補助(補助率1/2、上限500万) | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) 補助事業実施 ※町家1棟 ※蔵2棟 ①修景(門扉)工事 ②耐震診断 ③外観保全工事 ・市民主体の景観まちづくりへの意識啓発 街なみ景観フォーラム等を開催 参加者合計1,512人 *「第25回景観ワークショップ2015」42人 *「藤沢今昔まちなかアートめぐり2015 講演会」69人 *「景観ウォーク(130票を歩く!)」全12回 1,386人 *「藤沢宿親子まちなかあるき」15人 | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業については、歴史的建造物の維持・保全に対する所有者の理解を得ることが難しい。結果として、初年度でもある平成27年度の進捗は目標を下回ったものである。 | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・旧東海道藤沢宿街なみについては、歴史的建造物を維持・保全していくことが重要であり、所有者に対して維持・保全の為の支援が必要である。 | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度から引き続き補助事業を予定している。また、景観まちづくりへの意識啓発として、「まちあるき」や「フォーラム」等の開催を予定している。 | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を高めるためには、歴史的建造物の維持・保全だけでなく、その後の利活用をすることが重要であり、検討が必要となってきている。 また、5年間の補助事業が終了した後も、歴史的建造物の維持・保全が続く仕組み作りが必要である。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|---------------------------------------|-------|-------|--|-------|-------|-------|-------|
| 011 | 健康づくり推進事業 | 保健医療部 | 健康増進課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>市民が生涯にわたり生活習慣病の予防・改善及び健康・体力の維持・増進を図り、日常生活で適切な生活習慣が身につくよう支援する。</p> <p>事業目的 積極的な健康づくりを行うために、市民を対象に健康度・体力度チェックを経て健康づくりトレーニングを実施する。</p> <p>事業内容 健康度・体力度チェック及び健康づくりトレーニング</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 3,458 | 3,458 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 2,263 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 65.4 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 健康度 27人 体力度 550人 トレーニング 26,758人 | | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・健康度・体力度・トレーニング利用状況(3月末現在) *健康度 27人(実・延) *体力度 550人(実・延) *トレーニング 837人(実) 26,758人(延) | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・原学生徒の体力向上に向けた啓蒙を図ることができた。 ・希望校には測定員を派遣し、市内54校で実施することができた。 ・市内小学校32校から測定員の派遣依頼があり、4月20日から6月29日の期間で実施した。 ・平成25年度より、全校で8種目を測定している。 ・測定員意見交換会については、11月15日に行い、次年度に向けた検討を行った。 | | | | |
| 評価の理由 | | | | ・各事業の利用人数が減少しているため。 今後の方向 ・本事業については、生活習慣病予防および重症化予防を目的とする事業として、市内各所で実施し、より多くの人が利用しやすい方法を検討していく必要がある。 | | | | |
| H28年度事業計画 | | | | ・H28年度については、現行の事業内容で実施するのとともに、H29年度に向けて事業内容の検討を行う。 | | | | |
| <p>課題・問題点 ・トレーニング事業については、H27年度に生活習慣病予防および重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として変更したところではあるが、利用者増加には至っていない。関係機関等との連携を図りながら、必要な対象者が活用できるよう周知を図り、多くの市民の活用を促進する必要がある。</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|--------------------|-------|---------|--|-------|-------|-------|-------|
| 021 | 子どもの体力向上対策事業 | 教育部 | スポーツ推進課 | 変更(ある場合) | | | | |
| <p>小中学生の体力向上のための教育プログラムを研究・実践する。</p> <p>事業目的 スポーツ推進課 (教育指導課) ・市立小学校5年生と中学校2年生を対象に「体力・運動能力テスト」を実施し、その結果を基に、子どもの体力を分析して、子どもの体力向上のための方策を検討する。</p> <p>事業内容 ・新体力テスト実施に向けた測定員の養成と派遣。</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 5,857 | 5,799 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 5,857 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 体力・運動能力テストの実施校数54校 | | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | | ・市内54校で体力・運動能力テストを実施。 ・学校との日程調整を含め、事業目的に沿った事業展開を実施できた。 | | | | |
| 評価の理由 | | | | ・市内54校で実施 ・希望校には体力テスト測定員登録台帳の管理 ・体力テスト測定員登録台帳の管理 ・市内各学校の派遣要請受付 ・測定員への謝金・交通費等支払業務 | | | | |
| 今後の方向 | | | | 全種目・全校を対象として、継続実行する。 ・国や県の動向を踏まえながら検討していく。 | | | | |
| H28年度事業計画 | | | | ・市内54校で実施 ・希望校には体力テスト測定員登録台帳の管理 ・体力テスト測定員登録台帳の管理 ・市内各学校の派遣要請受付 ・測定員への謝金・交通費等支払業務 | | | | |
| <p>課題・問題点 ・平成25年度から抽出校がなくなり、全種目を全校対象となったため、派遣人員を増やす必要が生じ、派遣員の確保及び予算計上に苦慮した。 ・測定員を派遣するスケジュールの関係で、実施時期に差が出てしまう。</p> | | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | スポーツ施設整備事業 | 担当部 | 生涯学習部 |
|--|--|---|----------|---------|
| | | | 担当課 | スポーツ推進課 |
| | | 事業目的 | 変更(ある場合) | |
| G22 | 市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しむ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。 | 市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しむ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。 | | |
| <p>事業内容</p> <p>多様な市民ニーズに対応できる施設を整備する必要があり、安全で安心して利用できる施設はもとより、誰もが健康でいづても楽しめる生涯スポーツ環境の充実を図る。また、市内野球場が不足しているため、少年野球場については早期に確保するよう努める。</p> | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●(仮称)天神スポーツ広場の整備 | | | | |
| ●葛原スポーツ広場野球場2面化整備 | | | | |
| ●実施 | | | | |
| ●実施 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 69,793 | 157,968 | | |
| 決算額(千円) | 69,793 | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 天神スポーツ広場野球場土木工事等 葛原スポーツ広場野球場整備予定地現地測量等 | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>天神スポーツ広場野球場整備工事(土木)を実施 契約日:2016年3月11日 工期:2016年3月11日から2016年7月21日</p> <p>天神スポーツ広場整備に伴う実施設計委託を実施 契約日:2015年3月17日 工期:2015年3月17日から2015年9月30日</p> <p>天神スポーツ広場整備に伴う土壌調査委託を実施 契約日:2015年8月25日 工期:2015年8月25日から2015年11月13日</p> <p>葛原スポーツ広場野球場2面化整備予定地現地測量委託を実施 契約日:2015年12月8日 工期:2015年12月8日から2016年2月29日</p> | | | |
| 評価の理由 | <p>・大清水スポーツ広場閉鎖に伴い施設数は減ったが、天神スポーツ広場野球場の整備に向け土木工事が進んでいる。</p> <p>・野球、ソフトボールができる環境整備に向け、天神スポーツ広場及び葛原スポーツ広場の整備。 ・大清水スポーツ広場閉鎖に伴う代替施設確保に向けた取組。</p> | | | |
| 今後の方向 | <p>・天神スポーツ広場の整備</p> | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・天神スポーツ広場野球場工事(土木・建築)の実施 ・天神スポーツ広場整備に伴う土壌調査の実施 ・葛原スポーツ広場野球場2面化整備に伴う用地測量の実施</p> | | | |
| 課題・問題点 | <p>・スポーツ施設は、建物及び設備において老朽化が進んでいるため、市民が安心して利用できるスポーツ施設として維持する計画の修繕が必要。</p> | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | スポーツバリアフリー事業 | 担当部 | 生涯学習部 |
|--|---|---|----------|---------|
| | | | 担当課 | スポーツ推進課 |
| | | 事業目的 | 変更(ある場合) | |
| G23 | 市民が安全で安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ環境の充実を図る。 | 市民が安全で安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ環境の充実を図る。 | | |
| <p>事業内容</p> <p>・障がい者・高齢者を含む多くの市民が安全・安心して利用できるスポーツ・レクリエーション施設を整備する。</p> | | | | |
| H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| ●実施・検討 | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | バリアフリー化への対応は実施済み | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は出来ていると考える。</p> <p>・平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は出来ていると考える。</p> | | | |
| 評価の理由 | <p>・市民の誰もが公共施設を安全で安心して利用できるように修繕時や改修工事などの整備時に「藤沢市公共建築ユニバーサルデザインマニュアル」に基づき整備する。</p> | | | |
| 今後の方向 | <p>・市民の誰もが公共施設を安全で安心して利用できるように修繕時や改修工事などの整備時に「藤沢市公共建築ユニバーサルデザインマニュアル」に基づき整備する。</p> | | | |
| H28年度事業計画 | <p>・平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は実施済みのため予定無し。</p> | | | |
| 課題・問題点 | <p>・スポーツ施設の老朽化や経年劣化が進む中で、今後は大規模改修工事及び公共施設再整備プランにおける事業を実施する中で、バリアフリー化された整備を行う必要がある。</p> | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | |
|--|--|-------|---------|----------|---------|-------|
| G24 | スポーツノーマライゼーション事業 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | 変更(ある場合) | | |
| <p>事業目的 スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利という理念を踏まえ、障がいの有無にかかわらず、スポーツ活動に参加できる機会を確保する。</p> <p>事業内容 障がい者と健常者が共にスポーツを楽しむ観点から、積極的なスポーツのノーマライゼーションを推進する。又、活動の支えとなる指導者・ボランティアの育成に取り組む。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 実施・検討 | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 0 | 0 | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | ノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行う。 | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・「スポーツのノーマライゼーション理念の実現のため、障がい者の無にかかわらず、すべての人が同じフィールドに身を置きスポーツを親しめるためのノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行った。</p> <p>・福祉部などの関係部門及び関係者との連携を進めながら、障がい者の方々のニーズに的確に対応する。また組織化への気運が高まった際には、組織化へ向けての支援・アドバイスをを行う。</p> | | | | | |
| 評価の理由 | <p>・「スポーツのノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行った。</p> | | | | | |
| 評価 | B | | | | | |
| H27年度の総合評価 | B | | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | | |
| 継続 | | | | | | |
| <p>課題・問題点 ・障がい者スポーツの団体や事業展開において、神奈川県内各市の状況では、福祉部局が所管課となっているが、国の平成26年度予算において、「日本障害者スポーツ協会補助」及び「全国障害者スポーツ大会開催事業」が厚生労働省から文部科学省に移管されたので、今後、国並びに県の対応を注視したい。</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | |
|---|---|-------|---------|----------|---------|-------|
| G31 | 生涯スポーツ活動推進事業 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | 変更(ある場合) | | |
| <p>事業目的 健康寿命の延伸など、市民の健康意識の高まる中、子どもから高齢者まで気軽に利用、参加できるスポーツ・レクリエーションの機会の提供を、さらに充実させる。</p> <p>事業内容 ・いつでもどこでも、だれでもいつまでも「スポーツ活動」に親しむことができるよう、市民のスポーツニーズを的確にとらえ、多くの市民が多様なスポーツを楽しむことができる事業を企画し提供する。 ・スポーツや健康に関する意識の向上を図る。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 実施・検討 | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 0 | 1,120 | | | | |
| 決算額(千円) | 0 | | | | | |
| 執行率(%) | 0.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 年間スポーツ施設利用者数 1,372,790人 | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <p>・「スポーツ施設予約システムとして、公民館と連携した市民が利用しやすいシステムが導入され2年目を迎え、円滑に市民に供されている。</p> <p>・「スポーツ事業や講座の開催内容について、広報ふじさわへ掲載し、広く市民へ周知した。</p> | | | | | |
| 評価の理由 | <p>・「市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p> | | | | | |
| 評価 | B | | | | | |
| H27年度の総合評価 | B | | | | | |
| 次年度 | 継続 | | | | | |
| 継続 | | | | | | |
| <p>課題・問題点 ・「スポーツ関係団体のホームページの充実指導。</p> | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | |
|---|--|-------|---------|-------|---------|-------|
| G32 | スポーツサポーター事業 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | | | |
| 事業目的 地域スポーツ指導者及びスポーツボランティアを養成し、活用することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。 | | | | | | |
| 事業内容 地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の充実とスポーツボランティアの養成、地域に滞在する指導者の奉職を行い、市民のスポーツ・レクリエーション活動が安全かつ効果的に推進するよう取り組む。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施・検討 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 400 | 300 | | | | |
| 決算額(千円) | 400 | | | | | |
| 執行率(%) | 1000 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | スポーツサポーターバンク登録者数 227人 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員協議会による事業を年間6回開催し、地域指導者の養成をした。 ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し有効に事業を展開した。(登録人数227人) | | | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域指導者として期待されるスポーツ推進委員について、スポーツ推進委員協議会が主催する各種研修会を通して、知識が豊富になり他市との情報交換も図られた。 | | | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員については、今後も地域指導者としての活躍が期待されるが、それぞれの地域での役割を考慮したうえで定数について見直しを検討する。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員協議会による事業を年間5回開催し、地域指導者の養成を図る。 ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し有効に事業を展開する。 | | | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員については、今後も地域指導者としての活躍が期待されるが、それぞれの地域での役割を考慮したうえで定数について見直しを検討する必要がある。 ・市民のスポーツ・レクリエーション活動の支えとなる、スポーツサポーターバンク登録者を確保する必要がある。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | |
|---|--|-------|---------|-------|---------|-------|
| G33 | 競技スポーツ推進事業 | 生涯学習部 | スポーツ推進課 | | | |
| 事業目的 競技スポーツ団体との連携・協働を促進するとともに、ジュニア層からの指導体制を充実させる。また、トップアスリートを活用するなど、競技スポーツ全般の推進を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 東京オリンピック・パラリンピックなどを好機と捉え、競技力の向上を目指すし、市内競技選手の支援を行うとともに、各団体との連携と協働を進め、長期的な展望に立った競技スポーツ指導体制の確立に取り組み、スポーツへの動機付けや関心を高める方策としてトップアスリートの活用を検討、実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施・検討 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 2,000 | 2,000 | | | | |
| 決算額(千円) | 1,035 | | | | | |
| 執行率(%) | 518 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 全国大会等への出場者数 161人 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツで活躍された選手連への賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図る。 *社体体育の部(全国大会) 143人 *社体体育の部(国際大会) 18人 | | | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、生涯スポーツの推進と競技スポーツの発展につながった。 | | | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・賞賜金制度について、ホームページに掲載して周知を図る。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組として、各種目協会からの要望等を施策に反映させるよう、体育協会内に設置する特別委員会を通して協議を進めていく。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図る。 | | | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・賞賜金制度を広く市民が利用できるよう、ホームページに掲載するなど周知方法を検討する必要がある。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた関係団体との調整が必要である。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 地域特性活性化推進事業 | 担当部 | 生涯学習部 | | |
|--|--|---|----------|-------|-------|-------|
| 711 | 事業名 | 多文化共生推進事業 | 担当課 | 企画政策部 | | |
| | | 事業目的 | 平和国際課 | | | |
| | | 事業内容 | 変更(ある場合) | | | |
| G34 | 地域特性活性化推進事業 | 生涯学習部 スポーツ推進課 | | | | |
| <p>江の島や湘南海岸など本市の地域特性を活かし、ビーチバレーボールや市民マラソン大会などのスポーツイベントを開催し、複数自治体や関係機関と連携・協働した取組や仕組みづくりを構築し、地域特性を活かしたスポーツ活動の推進を行う。</p> <p>・各種ビーチバレーボール大会(ビーチバレージャパン・県中学及び全国中学ビーチバレーボール大会)を開催し、ビーチバレー発祥の地というブランドを広く市内外に発信し、観るスポーツの提供やビーチバレーボールの普及拡大に取り組む。</p> <p>・江の島を主会場として海岸線をコースとした市民マラソン大会を開催し、多くの市民が参加できるような事業展開を取り入れ、魅力ある冬季のスポーツイベントとして取り組む。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 実施 | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 11,000 | 12,000 | | | | |
| 決算額(千円) | 10,822 | | | | | |
| 執行率(%) | 98.4 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 参加チーム数 ビーチバレージャパン64チーム、県中学生大会80チーム、全国中学生大会69チーム | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・第29回ビーチバレージャパン 開催日:2015年8月14日～16日 参加チーム数:64チーム(男子56チーム・女子8チーム)</p> <p>・第9回神奈川県中学生ビーチバレー大会 開催日:2015年8月2日</p> <p>・参加チーム数:80チーム(男子26チーム・女子54チーム)</p> <p>・第6回湘南海岸マラソン大会 開催日:2015年8月16日～17日</p> <p>・参加チーム数:69チーム(男子24チーム・女子45チーム)</p> <p>・全国中学生ビーチバレー大会について、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認されたことから、スポーツ拠点づくり推進事業助成金(2,878千円)が交付された。</p> | | | | |
| 評価の理由 | | <p>・湘南海岸の地域特性を活かしたスポーツ活動を推進するため、各種ビーチバレー大会を実施</p> <p>・全国中学生ビーチバレー大会について、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認を受けている。</p> <p>今後の方向 ・全国中学生ビーチバレーについては、全国から広く参加していただくため、都道府県の教育委員会及びハレボール協会への継続した周知活動を行う。</p> <p>・全国中学生ビーチバレーにおいて、大会を継続して開催することにより、「ビーチバレー国内発祥の地」として全国に中学生のビーチバレーの普及推進を図るとともに、クリニックを開催し、技術向上と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運を高め</p> | | | | |
| H28年度事業計画 | | <p>・第30回ビーチバレージャパン 開催月:8月(3日間)(予定)</p> <p>・第10回神奈川県中学生ビーチバレー大会 開催月:7月(1日間)(予定)</p> <p>・第7回湘南海岸マラソン大会 開催月:8月(2日間)(予定)</p> | | | | |
| 課題・問題点 | | <p>・全国中学生ビーチバレー大会について、全国全てのブロックから参加チームが集まっていないので拡充方法を検討したい。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 多文化共生推進事業 | 担当部 | 企画政策部 | | |
|--|-----------|---|----------|-------|-------|-------|
| 711 | 事業名 | 多文化共生推進事業 | 担当課 | 平和国際課 | | |
| | | 事業目的 | 変更(ある場合) | | | |
| | | 事業内容 | | | | |
| <p>子どもたちを中心とした国際交流の場を提供し、外国人と日本人の子どもたちの交流や多文化への理解を図る。</p> <p>地域で活動する日本語教室の先生や大学生等が、小中学生を対象とした交流会を企画して、子どもたちを中心に多文化交流を行う。</p> | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 参加者数 100人 | | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 100 | 100 | | | | |
| 決算額(千円) | 100 | | | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | 参加者数 274人 | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | <p>・「第6回MINTOMO交流会」の開催 *12/5 10:00～15:00 湘南台公民館 *参加者274人(外国人市民67人、一般市民等174人、ステージ出演者33人) *従事者60人(日本語教室スタッフ、大学生、PTAなど) *スペイン語の歌、南米の踊り、フォークダンス、日本の音遊び、工作、餅つき等を行った。</p> | | | | |
| 評価の理由 | | <p>・地域の国際交流イベントとして事業が定着し、毎年事業を楽しみに参加している方や、外国人の参加者が増えてきたため。</p> <p>・外国人市民と一般市民と一般市民が互いの文化を通して交流をすることができたため。</p> <p>今後の方向 ・外国人市民と一般市民との交流を図るため、交流会の内容や周知方法を検討していく。</p> | | | | |
| H28年度事業計画 | | <p>・MINTOMO交流会実行委員会へ業務を委託し、「第7回MINTOMO交流会」を開催する。</p> | | | | |
| 課題・問題点 | | <p>・交流会全体を通して、参加者どうしの交流や多文化への理解を図ることが目的なので、全てのプログラムに参加してもらえないよう、内容や周知方法を工夫する。</p> | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | |
|---|-----------|--|-------|---|-------|--|-------|---|--|
| 721 | 地産地消の充実事業 | 教育部 | 学校給食課 | | | | | | |
| <p>事業目的 ・学校給食に安全・安心な給食食材を提供する。 ・児童・生徒と生産者との交流等を通じ、生産者の苦労や努力を知ること、食料の生産に関わる人々への感謝の心を育てる。</p> <p>事業内容 学校給食に安全・安心な地元野菜・水産物などの給食食材の使用推進を図り地産地消を充実する。</p> | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | H27年度 | | H28年度 | | H29年度 | | H31年度 | |
| | | ●藤沢産使用品目及び使用量の拡大 | | → | | → | | → | |
| 33品目 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 予算額(千円) | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 決算額(千円) | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 執行率(%) | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 藤沢市内産農水産物 使用品目数 33品目 | | 度末の成果 | | H27年度の 総合評価 | | 次年度 継続 | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | ●藤沢産使用品目の拡大 | | ●課題はあるものの、計画通りの事業を行うことができた。 | | ●評価の理由 | | ●継続 | |
| ●藤沢産新米使用量の拡大 平成24年度以降、継続して年5回を使用している。 | | ●地場産食材を使用した「かながわ産品学校給食子」の実施 平成26年度より、市内産農水産物を使用した給食を実施している。平成27年度は年3回実施 | | ●市内産食材を使用した「ふじさわランチ」の実施 平成26年度より、市内産農水産物を使用した給食を実施している。平成27年度は年3回実施した。 | | ●使用品目数の継続に向けて、生産者、市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地場産物使用に向けて検討する必要がある。 | | ●生産者の世代交代等により、収穫できる野菜の種類も変化しつつある。新しい献立の研究や、調理方法の検討が必要である。 | |
| H28年度 事業計画 | | ●地場産物を取り入れた献立の企画 | | ●市内産物の継続的な利用 | | ●評価の理由 | | ●継続 | |
| ●野菜類を指定日に一定量確保することが難しい。 ●過去の納品実績から献立を立てるが、天候に左右され予定通りにいかない場合が多い。 | | ●課題・問題点 | | ●評価の理由 | | ●継続 | | ●継続 | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | | | |
|--|----------|---|-----------|--|-------|----------------|-------|-----------|--|-----|--|
| 722(147) | 人権施策推進事業 | 企画政策部 | 人権男女共同参画課 | | | | | | | | |
| <p>事業目的 「藤沢市人権施策推進指針」の基本理念である「人権を大切に」「人権文化」を育むまわりの人権尊重の精神が社会や生活の中に定着し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現を目指す。</p> <p>事業内容 市民が、多岐にわたる人権課題について理解を深めることができるよう、様々な機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、人権啓発リーフレットを作成し、公共施設及び人権相談機関や啓発事業等を通じて配布するなど、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る機会を提供する。 また、子どものいじめ防止について、社会全体への意識啓発に努めるとともに、市立の小・中・特別支援学校において、重大事案が発生した場合の市長部局による再調査を目的に、附属機関として藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置し運営を図る。</p> | | | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | H27年度 | | H28年度 | | H29年度 | | H31年度 | | | |
| | | ●市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施 | | ●子どものいじめ防止に関する意識啓発、及びいじめ問題再調査委員会の運営 | | | | | | | |
| 予算額(千円) | | 6,883 | | 7,468 | | | | | | | |
| 決算額(千円) | | 6,177 | | | | | | | | | |
| 執行率(%) | | 89.7 | | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | | 市人権啓発講演会ほか、地域・企業等と連携した啓発事業を実施した。 | | 市人権啓発講演会ほか、地域・企業等と連携した啓発事業を実施した。 | | H27年度の 総合評価 | | 次年度 継続 | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | ●人権の花運動 ・中学生人権作文コンテスト ・6月11日の「人権擁護委員の日」にあわせて事業を実施した。 *特設人権相談を開設 6月1日 湘南台市民センター *啓発用横断幕の設置 藤沢駅北口サンパール広場 5月1日～6月2日 ・人権啓発出前講座 ・企業等の研修 社会福祉連合団体 5月20日 財団職員 6月12・19日、市内生命保険会社 7月7日、特別養護老人ホーム職員 7月24日、市内高等学校職員 8月28日、保健医療センター職員 10月5日、市内鉄鋼メーカー 10月8日、市内ガス会社 12月21日、鶴沼東部地区民生児童委員 2月2日 ・高齢者施設「人権啓発活動・特設相談」 やすらぎ荘 8月30日 ・スポーツ少年団指導者講習会 12月5日 ・人権週間事業 12/4～12/10の人権週間に合わせ、人権擁護委員会、国や神奈川県等と連携し、街頭での人権啓発キャンペーン、人権メッセ「セージ」パネル展及び特設相談等を実施するなど、啓発を図った。 ・人権フェスタ2015inふじさわ 一第30回藤沢市人権啓発講演会 12月5日 *「一ひまな地球に生きるひと」講師：アケハシ、チヤノ氏 *湘南台文化センター市民シアターにて開催。多くの市民に人権意識啓発の機会を提供することができた。 ・地域人権啓発講演会 1月30日 総合市民図書館 ・藤沢市子どもをいじめから守る啓発事業 *条例制定記念講演会 6月30日 *市P連講演会 12月19日 *明治地区いじめ防止講座 1月23日 *いじめ防止啓発リーフレット・ポスターの作成、配布 ・その他 職員研修等 | | ●子どものいじめ問題再調査委員会の運営 | | ●評価の理由 | | ●継続 | | ●継続 | |
| ●藤沢市子どもをいじめから守る条例(2015年4月に施行し、条例制定記念講演会を実施したほか、条例解説のリーフレット・ポスター等を作成し、条例の周知・いじめ防止の啓発を行った。 | | ●今後の方向 ・2016年3月に改定した「藤沢市人権施策推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権擁護委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。 | | ●H28年度 事業計画 ・藤沢市子どもをいじめから守る条例(周知のため)ポスターリーフレットの作成、並びに掲示・配布 ・第31回藤沢市人権啓発講演会 ・地域人権啓発講演会 ・個別課題をテーマとした講座等 ・職場体験型職員人権研修 ・中学生人権作文コンテスト(市内公立小学校と連携して実施) ・人権擁護委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置) ・人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修) ・高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談) ・人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセ「セージ」パネル展、横断幕の設置等) ・ふじさわ人権協議会の運営 | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 子ども青少年部 | 青少年課 | |
|---|--|-------|-------|---------|-------|-------|
| 723 | 放課後子ども教室推進事業 | 担当部 | 担当課 | 子ども青少年部 | 青少年課 | |
| 事業目的 児童が地域社会の中で健全に育成される環境をつくるため、地域の人材を活用し、放課後児童の安全・安心な居場所(遊び場)を提供して、遊び体験や異年齢児童間の交流等により、児童の健全育成を推進する。 | | | | | | |
| 事業内容 小学校の余給教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する。 ・日時＝原則給食のある月～金曜日の放課後 ・場所＝実施小学校の余給教室・体育館・校庭 ・対象＝実施小学校校区在住の児童 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 2,946 | | | | | |
| 決算額(千円) | 2,754 | | | | | |
| 執行率(%) | 93.5 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 鶴井野小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 6,135人 小糸小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 2,566人 | | | | | |
| 度末の成果 | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | ・鶴井野小学校区、小糸小学校区の2小学校区で事業を実施するとともに、子ども子育て支援事業計画に基づき、当事業の拡充について検討を進めた。 *鶴井野小学校 181日 6,135人 *小糸小学校 186日 2,566人 | | | | | |
| 評価の理由 | ・事業を実施した小学校区においては、地域の大人の見守りにより、放課後児童に安心・安全な居場所(遊び場)を提供できたとともに、 今後の方向 ・既設の2小学校区で事業を継続する。 ・国の「放課後子ども総合プラン」に基づく一類型を中心とした放課後児童クラブと放課後子ども教室の推進を図るため、平成31年度までの整備目標等を具体的に位置付け、教育委員会等と協議をほかりながら取り組むこととする。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | ・引き続き鶴井野小学校区、小糸小学校区の2小学校区で事業を実施する。 ・子ども子育て支援事業計画に基づき、放課後児童クラブと一類型等の放課後子ども教室の整備について検討を進める。 | | | | | |
| 課題・問題点 | ・地域子ども・家庭・児童館・放課後子ども教室を含めた子ども居場所の学区について放課後子ども居場所が未設置の学区の児童の拡充にあたっては、学校施設を活用するため、学校の再整備計画や余給教室の増設の活用など、教育委員会との十分な調整が必要である。 ・事業実施には学校・地域の協力が不可欠である。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | 教育振興部 | 学校教育企画課 | |
|--|--|-------|-------|-------|---------|-------|
| 724 | 学校・家庭・地域連携推進事業 | 担当部 | 担当課 | 教育振興部 | 学校教育企画課 | |
| 事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。 | | | | | | |
| 事業内容 ・学校・家庭・地域連携推進協議(会長会)に業務委託を行い、中学校区を基本に市内に設置された15の地域協力者会議において、各地区の実情に応じた子どもたちの健やかな成長を支援する事業を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 参加者総数 33,100人 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 5,574 | | | | | |
| 決算額(千円) | 5,480 | | | | | |
| 執行率(%) | 98.0 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) | 「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人 PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施 | | | | | |
| 度末の成果 | | | | | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | ・学校・家庭・地域連携推進協議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 *会長会の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) *各地域事業総数 119事業 *各地域事業・会議等参加者数 33,390人 *地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合 い、実施事業に活かした。 ・藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。 *広報紙の発行 年3回(7月 11月 3月) *各校PTA活動状況調査の実施 *講演会の実施 「PEP TALK! 子どものやる気を起こす魔法の言葉」 ・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回 ・地域の教育力向上を図る事業を実施 *ふじさわ教育フォーラムの開催 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3/5 13:30～16:20 湘南NDビル | | | | | |
| 評価の理由 | ・計画どおりの事業を行うことができた。 今後の方向 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業について、周知を図る。 | | | | | |
| H28年度事業計画 | ・学校・家庭・地域連携推進協議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。 ・藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース) ・学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。 | | | | | |
| 課題・問題点 | ・より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業に、より多くのPTAが参加できるように工夫する。 | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|---|---|---|-------|-------|
| 事業コード 725 | 事業名 男女共同参画推進事業 | 担当課 人権男女共同参画課 | 企画政策部 | |
| 事業目的 政策方針決定過程への男女共同参画の推進 ・男女が平等に働くことができる労働環境の整備 ・地域での男女共同参画の推進 | | 変更(ある場合) ふじさわ男女共同参画プラン2020の改定に伴い、年次ごとの目標値を変更。平成32年度までに女性登用比率50%とする。(H28) | | |
| 事業内容 女性にとっても男性にとっても、性別にとらわれないこと、社会のあらゆる分野の活動に参画できる機会の確保のため、すべての市民に対し、意識啓発と情報提供を行う。 | | | | |
| H27年度 ●男女共同参画の推進 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 女性登用比率 42% | 女性登用比率 50% | | |
| 予算額(千円) | 8,592 | 4,642 | | |
| 決算額(千円) | 7,269 | | | |
| 執行率(%) | 84.6 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 平成27年4月1日時点で審議会等の女性登用率(年次ごとの目標値)が42.0%となり目標を達成した。 | | | |
| 度末の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・市民センター・公民館長から推薦された各地区3人からなる「ふじさわ男女共同参画ネットワーク」協議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動を行った。 ・意識啓発のため様々なテーマで講演会を行った。共に生きるフォーラムふじさわ(ワーク・ライフ・バランス)79名、2市1町講演会(ワーク・ライフ・バランス)89名、人権男女共同参画啓発セミナー(セクハラ・パワハラ防止)113名、DV研修(DV加害者対応)64名が参加。 ・DV相談窓口案内カード12,000枚の配布により、相談窓口の周知を図った。 ・男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行、男女共同参画週間でのパネル展開催で各種情報提供を行った。 | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり事業を行うことができ、「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」を策定することができた。また女性登用率も目標を達成した。 ・平成28年3月に策定した「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」に基づいて事業を行う。女性登用比率については、引き続き、審議会等委員の選任時の事前協議を実施する。 | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年3月に策定した「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」に基づいて事業を行う。 ・女性登用比率については、引き続き、審議会等委員の選任時の事前協議を実施する。 | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画プラン推進協議会の開催 ・男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行 ・人権男女共同参画啓発セミナーの開催 ・共に生きるフォーラムふじさわ2018の開催 ・DV相談窓口案内カードの配布 ・「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動の実施 ・男女共同参画週間でのパネル展開催 ・2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)による男女共同参画に向けた連携 | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査によると、社会全体で男性が優遇されていると感じる市民が割を超えており、5年前から改善されていない点。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | |
|---|---|------------|-------|-------|
| 事業コード 811 | 事業名 学校安全対策事業(防災・防犯教育) | 担当課 担当課 | 教育部 | |
| 事業目的 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。 | | 変更(ある場合) | | |
| 事業内容 「児童生徒の自衛に立つた防災教育」をテーマとした講演会等を実施し、防災を考慮の上で児童生徒に効果的な授業提案及び各学校の実情に応じた学校防災計画や避難訓練に対する助言を行う。 | | | | |
| H27年度 ●講演会の実施 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 3校 | 3校 | 3校 | 3校 |
| 予算額(千円) | 90 | 90 | | |
| 決算額(千円) | 90 | | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 9校で実施したが、他の学校の職員にも来ても実施できた。 | | | |
| 度末の成果 | H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・矢崎良明氏(板橋区教育委員会 安全教育専門員)による防災講演会を年間3回行った。 ①11月17日 高浜中学校・浜見小学校合同 ②11月19日 鶴沼中学校・鶴沼小学校・鶴沼小学校合同 ③12月22日 片瀬小学校・新林小学校合同 ・地震の際に、どこにいても安全な場所を自ら探して身を守ることができる子どもを育てるための防災教育や避難訓練の方法について研修を実施した。 | | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・3回実施し、7校の教職員が受講した。 | | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校に、地域に合わせた防災教育を考慮していく。 ・今後も続けていく。 | | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会を行っていない学校のつら、海に近い南部から行っていく。 | | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同開催は学校間の日程調整が困難である。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--|--|-------------------|-------------------------------|-----------------|--------------------------|-------|-------|-------|
| 812(122) | 教育文化センター研究研修事業 | 教育部 | 学校企画課 | | | | | |
| <p>防災教育と人と自然とのかわりな多面的にとらえ、他の教科・領域等との連携を図りながら、防災教育の充実を図る。</p> <p>事業目的 防災教育を多面的にとらえ、様々な教科・領域等との連携を図り、専門的・技術的事項の調査研究並びに教育関係職員に対して研修講座等を企画・実施する。 (「防災と自然」研究部会の開催・研究報告書の発行、防災教育に関する研修講座の開催・防災教育情報の提供)</p> <p>事業内容 ・藤沢市市民生活センターで、日常生活に大きな被害を及ぼす災害に対して、子どもたちの防災意識を高める教育の充実、及び、自然とのより良い関わりについての研究を継続させる。</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座 | H28年度 ●研修講座の実施 | H29年度 → 研究部会 報告書作成発行 | H30年度 → → | H31年度 → 年1回以上の研修講座 | | | |
| 予算額(千円) | 39,259 | 576 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 38,706 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 98.6 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果 | 研究部会12回 研修講座1回 | | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ●研究部会12回 ●研修講座1回 ●防災と自然に関するアンケート実施(抽出席) ●防災教育に関する公開授業及び講演会に参加(湘洋中学校) | | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ●H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●学校施設再整備第1期実施計画を策定した。 ●小学校4校、中学校2校について耐力度調査を実施した。 ●小学校4校、中学校2校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 | | | | | | | |
| 評価 | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災と自然に関するアンケートを実施し、地域や年齢による傾向等、市内の子どもたちの実態をつかむことができ、研究に反映した。 ●藤沢市の防災と自然に関する実態調査(アンケート)から得られた結果の集計や分析を行ったことを受け、各研究員の取り組みに活かす。また、研究の成果を研究報告書にまとめ、市内教職員へ情報発信を行う。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ●藤沢市の防災と自然に関する実態調査(アンケート)から得られた結果の集計や分析を行ったことを受け、各研究員の取り組みに活かす。また、研究の成果を研究報告書にまとめ、市内教職員へ情報発信を行う。 | | | | | | | |
| 評価 | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研究部会12回 ●研修講座1回 ●研究報告書発行 | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| 事業コード | 事業名 | 担当部 | 担当課 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|---|---|------------------------|------------------|-----------------|-----------------|-------|-------|-------|
| 821(323) | 学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消) | 教育部 | 学校施設課 | | | | | |
| <p>学校施設(校舎・屋内運動場等)の老朽化を解消し、安全で良質な教育環境を確保する。</p> <p>事業目的 ・藤沢市学校施設整備基本方針に基づき、学校施設再整備計画を策定する。 ・再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づき施設の改築または大規模改修を実施する。</p> <p>事業内容 ・藤沢市学校施設整備基本方針に基づき、学校施設再整備計画を策定する。 ・再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づき施設の改築または大規模改修を実施する。</p> | | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●学校施設再整備計画の策定 | H28年度 ●耐力度調査の実施 21校 | H29年度 → 実施 | H30年度 → → | H31年度 → → | | | |
| 予算額(千円) | 62,511 | 55,955 | | | | | | |
| 決算額(千円) | 50,112 | | | | | | | |
| 執行率(%) | 80.2 | | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果 | 学校施設再整備第1期実施計画を策定した。 小学校4校、中学校2校の校舎等について耐力度調査を実施した。 | | | | | | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> ●H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●学校施設再整備第1期実施計画を策定した。 ●小学校4校、中学校2校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 | | | | | | | |
| 評価 | <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ●H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●学校施設再整備第1期実施計画を策定した。 ●小学校4校、中学校2校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 ●小・中・高3校(校舎棟及び屋内運動場)について耐力度調査を実施した。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。 | | | | | | | |
| 評価 | <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校4校 ●小学校4校 ●明治小学校 ●大連小学校 ●鶴沼小学校 ●東後小学校 ●中学校1校 ●明治中学校 | | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|---|---|-------------|-------------------------|
| 事業コード 822(338) | 事業名 防災対策事業(津波対策) | 担当部 担当課 | 教育部 学校施設課 |
| 事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。 | | 変更(ある場合) | |
| 事業内容 湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎を増築する。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●校舎棟(津波避難施設) 実施設計 | H28年度 建設 | H29年度 H30年度 H31年度 |
| 予算額(千円) | 595,445 | | |
| 決算額(千円) | 38,965 | | |
| 執行率(%) | 100.0 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | H27年度の取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 実施設計を実施し、増築工事に着手した。 | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> 設計委託 H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。 増築工事 H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。 | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> H27年度については、計画通り実施した。 | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に工事の進捗管理を行い、工期内に竣工する。 竣工期限:2017年(H29年)2月28日 | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> 2ヶ年継続事業の最終年度として、工事を実施する。 | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> 特になし | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|--|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 事業コード 823 | 事業名 防災資機材等の整備事業 | 担当部 担当課 | 総務部・教育部 防災危機管理室・教育総務課 |
| 事業目的 防災資機材の整備 | | 変更(ある場合) | |
| 事業内容 命を守る教育環境の整備のため、市立小・中・特別支援学校を南都・中部・北部の三地区に分け、災害発生時に必要な学校用飲料水の備蓄を行う。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 ●飲料水の備蓄 市内中部地区にある市立小・中・特別支援学校 | H28年度 市内北部地区にある市立小・中・特別支援学校 | H29年度 市内南部地区にある市立小・中・特別支援学校 |
| 予算額(千円) | 1,828 | 872 | |
| 決算額(千円) | 831 | | |
| 執行率(%) | 45.5 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 | H27年度の取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果 中部地区にある市立小・中学校用飲料水(11,328本)の備蓄 | | |
| H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) | <ul style="list-style-type: none"> H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) 中部地区にある小学校13校、中学校6校、合計19校に災害時用の飲料水として、1人当たりペットボトル1本(500ml)×児童生徒分の備蓄を行った。 | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 当初計画通り備蓄することが出来た。 | | |
| 今後の方向 | <ul style="list-style-type: none"> 既に備蓄したのについても保存期限(5年)があるため、今後も計画的に飲料水の備蓄を実施していく。 | | |
| H28年度事業計画 | <ul style="list-style-type: none"> H28年度事業計画 北部地区の市立小・中学校に対し、飲料水を備蓄する予定。 | | |
| 課題・問題点 | <ul style="list-style-type: none"> 課題・問題点 | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | | | |
|---|---|----------------------|----------------------|---------------------------------|-------|-------|
| 事業コード 824 | 事業名 通学路安全対策推進事業 | 担当部 教育部・市民自治部・土木部 | 担当課 学務保健課・防犯交通安全課 | 事業目的 通学路安全対策推進事業 変更(ある場合) | | |
| <p>小学校の通学路における交通安全の確保を図るため、学校・警察等との連携のもと市立小学校の通学路の合同点検を行い、安全対策を実施する。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校による危険箇所の抽出 ・合同点検の実施 ・点検結果に基づき対策の検討、策定 ・対策の実施 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | | | | | | |
| 決算額(千円) | | | | | | |
| 執行率(%) | | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>「藤沢市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携して合同点検を行い、安全対策を実施</p> | | | | | |
| 度末の成果 | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「藤沢市通学路交通安全プログラム」に基づき報告のあった危険箇所について、関係機関と連携して合同点検を実施し、安全対策を実施した。 ・報告危険箇所数 182箇所 ・合同点検実施箇所数 75箇所 ・対策要望件数 202件(うち市の対策分 114件) | | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から報告された危険箇所について、学校・教育委員会、道路管理者、警察等関係機関が連携し、合同点検と安全対策の検討を行い、安全対策を実施して、通学路の安全確保が図られた。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、小学校の通学路の安全を確保するため、関係機関と連携し、合同点検を行い、通学路の安全対策を実施する。 | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から通学路の危険箇所の報告を受け、合同点検を行い、点検結果に基づき対策を策定し、安全対策を実施する。 | | | | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が実施する安全対策については、それぞれの機関の予算、事業計画によるため、進捗管理については各機関に委ねざるを得ない。 | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | | | | |
|--|--|------------------|----------------------|-----------------------------------|-------|-------|
| 事業コード 825(832) | 事業名 学校防犯対策強化事業 (こども110番・安全マップ) | 担当部 市民自治部・教育部 | 担当課 防犯交通安全課・教育指導課 | 事業目的 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合) | | |
| <p>子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、昼間在宅されているお宅やお店にこども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。 | | | | | | |
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 予算額(千円) | 15校 | | | | | |
| 決算額(千円) | 922 | | | | | |
| 執行率(%) | 789 | | | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | <p>●地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を開催した。</p> <p>●学校における地域安全マップ作りを2校行っ</p> | | | | | |
| 度末の成果 | <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番 全体掲示件数5,043件 ・新規掲示件数131件 <p>昼間在宅されているお宅やお店に、子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として掲示いただいている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について ・今年度は小・中学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。 ●学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は大鰐小学校、鶴沼小学校で行った。サポーターと一組に子どもたちが生活圏を歩き『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。 | | | | | |
| <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 | | | | | | |
| <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 | | | | | | |
| <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域安全マップ指導員について、担い手を見つけているのが困難である。 ・年間指導計画を作成した後に、地域安全マップ作りの希望校が決定するため、開催時期の調整等に困難が生じ | | | | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|--|----------------------------------|--|------------------|
| 事業コード 831(1219-234-724) | 事業名 学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動) | 担当部 担当課 | 教育部 学校教育企画課 |
| 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する | | 市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合) | |
| 事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。 | | | |
| 事業内容 中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、防災・防犯活動(地域環境整備事業)や講演会・学習会等の地域の実情に応じた事業を実施する。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 参加者総数 33,100人 | H28年度 33,200人 | H29年度 33,300人 |
| 予算額(千円) | 5,574 | 5,574 | |
| 決算額(千円) | 5,460 | | |
| 執行率(%) | 98.0 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果 | 「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人 | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) ・各地域事業総数 119事業 ・各地域事業、会議等参加者数 33,390人 ・「一斉ハットロール」子ども安全ネットワーク「学校安全ネットワーク会議」「子どもまもりネットワーク会議」「地域ハットロール」「安全・安心」のほり旗」等の活動を実施した。 ・地域の教育力向上を図る事業を実施 ・ふじさわ教育フォーラムの開催 ・「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」中里小PTA発表「地域の安全のために」に番号機を！」3/5 13:30～16:20 湘南NDビル | | | |
| 今後の方向 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換、意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。 | | | |
| 評価の理由 ・計画とおりの事業を行うことができた。 | | | |
| H28年度事業計画 ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ・学校・家庭・地域の連携協働を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。 | | | |

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

| | | | |
|--|--|--------------|--|
| 事業コード 832(825) | 事業名 学校防犯対策強化事業(子ども110番・安全マップ) | 担当部 担当課 | 市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合) |
| 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する | | | |
| 事業目的 子どもが犯罪などから助けを求めた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、昼間在宅されているお宅やお店に子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。 | | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) | H27年度 実施 15校 | H28年度 17校 | H29年度 17校 |
| 予算額(千円) | 922 | 889 | |
| 決算額(千円) | 789 | | |
| 執行率(%) | 85.6 | | |
| 年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を開催した。 ・学校における地域安全マップ作りを2校行っ | | |
| H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番事業について 新規掲示件数5,043件 全体掲示件数131件 ・風間在宅されているお宅やお店に、子どもが犯罪などから助けを求めた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として掲示いただいている。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について ・今年度は小・中学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。 ・学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は大観小学校、鶴沼小学校で行った。サポーターと一緒にご子どもたちが生活圏を歩き『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。 | | | |
| 今後の方向 引き継ぎ ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 | | | |
| 評価の理由 取組計画とおりの執行を行ったため。 | | | |
| H28年度事業計画 ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。 | | | |

3 進行管理についての質疑応答及び意見

基本方針 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します

施策の柱 熱意と指導力のある教員の育成

1 2 1 「各教科研究研修関係事業」

<委員からの質疑> 1、2、3、4、12年経験者研修において、各研修の目的、研修のテーマが具体的に決まっていたら教えてください。

<回答：教育指導課> 1年経験者研修では学習指導や学級経営に必要な基礎的な知識の習得を主な目的としています。2、3年経験者研修では、道徳教育の充実を図るために基本的な知識や指導上の課題などについて研修し、研究授業をしています。加えて3年経験者研修では、学級経営や児童生徒理解に必要な基本的な知識や技能の習得をするために演習中心の研修を行っています。4年経験者研修では、今日的な課題に対応するために必要な知識の習得を図ることを目的に、今年度は学校・家庭・地域の連携についてと、人権感覚育成を予定しています。12年経験者研修はミドルリーダー研修というものを兼ねて行っております。今後学校教育の中核を担っていくという意識を持ってもらうことを主眼に、学校運営上の諸課題へのかかわりや異校種、理解を深めるような研修を進めています。

<委員からのご意見> それぞれの経験年数に合ったテーマで研修が行われており、研修の成果は各学校で表れているのだろうと期待が持てました。先生方が熱心に取り組んでくださることが教育環境の充実に繋がると思いますので、これからも質の高い研修を続けていただきたいと思えます。

施策の柱 子どもと社会をつなぐ教育の推進

1 6 2 「技能職体験事業」

<委員からの質疑> 体験事業の教育効果を考えると、教育部との連携が必要だと思えますが、連携についての今後の予定やお考えをお聞かせください。

<回答：産業労働課> 教育部との連携ですが、例年、年度当初に校長会で事業周知をしております。今年度は技能職団体連絡協議会が40周年記念冊子を作成しましたので、教育部と連携して各学校に配付しました。教育の視点からについては、教育部と連携しながら今後進めていきたいと思えます。

<委員からのご意見> 子どもたちにとって多様な技能の職業について学ぶことは、今後の職業意識の幅を広げることになるため、とても良い経験だと思えます。引き続き、子どもたちが様々な技能に触れる機会をつくっていただきたいと思えます。

<委員からのご意見> 本事業は、地域に根差した職業や児童生徒の関心にかかわる職業、生活にかかわる職業などから多様な職業形態を知り、働くことについて考える重要な機会になると思えます。平成27年度は職業体験の受け入れ依頼がなかったとのことですが、職業体験や訪問事業における教育的効果を学校とともに練るなど、社会とつながる学びの側面がより推進されることを期待しています。

基本方針 家庭教育・地域教育力の支援、充実を図ります

施策の柱 家庭における教育力の向上

215 「学校・家庭・地域連携推進事業」

<委員からの質疑>三者連携が実施しているイベントは知っていますが、実施母体はどこかを知らない市民が多いのが現状ですが、学校の保護者や地域の方にどのように周知しているのか教えてください。

<回答：学校教育企画課>活動の具体的な周知方法ですが、例年作成している三者連携の活動報告書のカラー化を図り、学校等へ配付しました。また、今年度、実施事業のPR紙を作成して、学校やPTA、三者連携の委員に向けて配付する予定です。加えて、市のホームページや「広報ふじさわ」だけでなく、Facebookの「カラフルふじさわ」を使用した情報発信を考えています。

施策の柱 幼児教育の推進

221 「「幼稚園協会等補助金事業」

<委員からの質疑>事業内容は補助金交付ですが、事業目的である教職員の資質向上、幼児教育の充実及び活動支援の達成について教えてください。

<回答：保育課>この事業は、幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の研修、研究費及び私立幼稚園協会等の運営活動に補助を行うものです。研修活動についてですが、幼稚園協会では通常の夏期の研修や関東地区の教員研修、神奈川県私立幼稚園連合会等の研修会を行っていますので、それらで職員の資質向上に寄与していると考えています。

234 「学校・家庭・地域連携推進事業」

<委員からの質疑>進捗状況シートで「地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合い」とありますが、どのような課題があがったのか教えてください。

<回答：学校教育企画課>地域協力者会議の定例会で、地域団体の方から子どもたちの公園でのいたずらについて話がありました。それを受けて、それぞれの立場で何ができるかを協議し、PTAでは保護者に向けての注意喚起、学校では児童に向けての注意喚起、地域では防犯活動の際に立ち寄るなどの案が出され、継続して協議していくことになりました。

基本方針 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります

施策の柱 学びを支え質の高い教育環境の整備

313 「学校図書館管理運営事業」

<委員からの質疑>児童生徒にとって教育効果のある学校図書館員と司書教諭の具体的な連携モデルを教えてください。

<回答：教育指導課>現在、仕事の棲み分けのガイドブックを作成している最中です。また、学校図書館の活用については、子どもたちの課題解決力を養っていくことが求められていることから、授業の中で、学校図書館を活用して子ども自身が調べ学習をする機会が多くなっています。事前に司書教諭が図書館専門員に伝えて連携することで、年間学習指導計

画に合わせた資料提供を子どもたちにできるようになるとよいと考えています。

<委員からのご意見> 色々な学校の図書室を拝見する機会がありますが、どの学校も魅力的な特集コーナーなどが設置されており、情報の共有がなされている結果なのかと感じました。これからも、子どもたちが手に取って読みたいと思うような工夫をお願いしたいと思います。

施策の柱 安全・安心で快適な学校施設の整備

334「学校施設環境整備事業」

<委員からの質疑> 年次ごとの取組計画では平成28年度に1校予定が入っていますが、事業計画では実施予定なしとあります。終了したということかまたは先延ばしになったのか教えてください。

<回答：学校施設課> 平成28年度は、小学校1校、中学校1校の整備目標値に基づき予算要求をしておりましたが、グラウンド改修に係る事業費予算の確保ができなかった状況です。

基本方針 多様な学びのできる生涯学習社会を目指します

施策の柱 多様な学びを支援する図書館活動の推進

424「図書館情報ネットワーク事業」

<委員からの質疑> 報告書の今後の方向に、「県内公立図書館や市内大学図書館との連携強化を図っていく」とありますが、どのような形での連携を強化していくのかお考えをお聞かせください。

<回答：総合市民図書館> 市民の多様な資料要求や相談に、迅速かつ的確に答えられるように県内図書館や市内4大学図書館との連携を強化しています。資料の相互利用やレファレンス事例の共有化を図ることが重要と考え、近隣の図書館とも情報交換を行ったり、4大学図書館との勉強会等を行ったりして情報共有を図っているところです。

428「新しい時代に即した「これからの図書館」推進事業」

<委員からの質疑> 検討委員会で行った先進図書館の視察について、平成27年度はどこへ視察に行ったか、また、平成28年度はどこへ行く予定か教えてください。

<回答：総合市民図書館> 平成27年度は、千葉県君津市中央図書館を視察しました。選んだ理由は、検討委員会の委員に建設コンサルタントの方がいて、その方が設計した図書館ということもあり、また、比較的新しくできた図書館ということで視察に行きました。中高生が集う滞在型のオープンスペースや、飲食ができるコーナー、ギャラリー的な展示室等もあり、非常に参考になりました。今年度は、長野県塩尻市の図書館を視察したいと検討しています。

<委員からのご意見> 先進図書館の視察をすることにより、取り入れるべき箇所や、現状の図書館の課題、また残していきたい形なども見えてくるかと思しますので、これからも様々な図書館の視察等を行い、藤沢市の図書館をどのようにしていくべきか、考えていただきたいと思います。

<委員からのご意見> 活字媒体で情報を拾うことが減り、あらゆるものを電子媒体で情報処

理をすることが増えて、図書館にとってはつらい時代だと言えます。このような中で、活字媒体であることにどのような意味があるのか、それに対してうまくいっているような取組にどういったものがあるのか、あるいは、活字ということにこだわらずに電子化を進めていくのか、図書館と考えずに少し踏み込んだ形も考えられますので、議論を進めていただきたいと思います。

施策の柱 多様な文化をつなげる学習機会づくりの推進

4 3 2 「藤沢公民館・村岡公民館再整備事業」

<委員からの質疑> 藤沢公民館・労働会館との複合施設になることですが、管理運営方法についてお考えをお聞かせください。

<回答:生涯学習総務課> 複合施設に向けて、様々整理しなければいけない課題があります。大きく分けると2つです。1つは施設そのものの維持管理です。旧労働会館は指定管理者制度でした。複合施設の管理ということでは湘南台の文化センターを指定管理者制度で行っていますので、参考にしていきたいと考えています。もう1つは運営の面です。同じ施設に2種類の施設として活用する場合、その条件や料金等が異なってくることについても、今年度から具体的に検討を進めていきたいと考えています。

基本方針 郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります

施策の柱 文化芸術活動の支援

5 1 7 「文化ゾーン再整備事業」

<委員からの質疑> 庁内検討がなされていないとのことですが、そちらが進まない原因はどのあたりにあるのでしょうか。

<回答:文化芸術課> この事業は企画政策部が中心に進めています。文化ゾーンの多機能化が基本的な方針となっており、庁内の横断的な検討組織も作っていますが、昨年度は検討実施に至りませんでした。今年度が公共施設の再整備プランの見直しとなっていますので、企画政策部と話し合いながら方向性を出していきたいと考えています。

<委員からの質疑> 図書館は議論が進んでいるようですが、個別に議論が進んでいるのでしょうか。

<回答:文化芸術課> 図書館・市民会館はそれぞれ立場が違いますので、それぞれの立場で検討を進めています。

<委員からのご意見> 同じエリアに属する複数の施設の再整備を行う場合、統一された思想のもとに、整備を進めることが理想的だと思います。

施策の柱 歴史の継承と文化の創造

5 2 5 「映像資料保存公開事業」

<委員からの質疑> 保存フィルム1本のDVD化とありますが、この1本はどのような観点から選ばれたのかを教えてください。またこのあとどのくらいDVD化するのでしょうか。

<回答:郷土歴史課> 映像資料はおもに2種類にあります。1つは本市の歴史的な大きな行事・イベントをニュース映画風に作成した30～40分位のもの、もう一つは地域の祭や、

行事や風俗などを記録した 10 分程度の映像です。DVD化はある程度の尺がある見応えのあるニュース映画風のを先に進めています。そちらは 8 本あるので先に終えて、その後尺の短いものを年に 3 ~ 4 本行って約 10 年で終わらせる予定です。

< 委員からのご意見 > 市民の生活や歴史に関する映像記録資料を DVD化することで、資産の継承を行う重要な事業だと思います。平成 27 年度は、DVD化 1 本を行い、全体としては 10 年計画ということでしたが、上映会だけではなく図書館や学校などでの視聴が可能になることにより、より多くの市民が学ぶことのできる機会が増えることを期待しています。

5 2 1 0 「景観資源推進事業」

< 委員からの質疑 > 執行率が低いのは歴史的建造物の所有者の理解が得るのが難しいからだと思いますが、事業の推進に対して所有者はどのような反応を見せていますか。

< 回答：街なみ景観課 > この事業は所有者の理解を求めながら進めていかなければなりません。旧東海道藤沢宿周辺の歴史的建築物で、始めたときは 40 棟でしたが、現在は 38 棟になっています。所有者とヒアリングをする中で、現在の建物を長く保存していきたいという方が殆どですが、高齢者の方が多く、巨額の費用をかけて改修していくことがよいかどうかを悩まれている方が多いのが現状です。なるべく多くの方に補助事業を活用してもらい、多くの建物を残していきたいと考えています。

< 委員からのご意見 > 予算執行率がとても低いです。思うようにいかない面があると思うのですが、歴史的資産があるエリアですので勿体ない感じがします。是非、予算執行率が高まるように魅力的な事が進められればと思います。制度の見直し、あるいは強化をしていただくことを期待します。

< 委員からのご意見 > 費用のかかるものなので非常に難しいとは思いますが、今すでにご協力いただいている 38 棟の歴史的建造物の利活用を重視しながら、協力をさせていただきたいところには理解を得られるよう模索して行って欲しいと思います。

基本方針 多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します

施策の柱 学校・家庭・地域等の連携、協働の推進

7 2 1 「地産地消の充実事業」

< 委員からの質疑 > 児童生徒と生産者との交流はどのようなことを行っているのですか。また、中学校給食施設整備事業で地産地消は行っているのですか。

< 回答：学校給食課 > 小学校では、御所見地区は生産者の近くに学校があるので、実際に作っているところを見学したり、収穫の手伝いをして、収穫したものを給食で食べたりしています。海の方では水産物、北部は農産物という形で実施しています。中学校給食では交流は難しいので、給食として提供したもののなかで PR していきたいと考えています。

< 委員からのご意見 > 小・中学校給食にできるだけ多く取り入れていただいて、藤沢の食の魅力子どもたちや保護者の皆様に PR していただいて、それが郷土愛にもつながると思うので、地産地消を進めて行ってほしいと思います。

7 2 3 「放課後子ども教育推進事業」

<委員からの質疑>地域の大人（ボランティア）と記載されていますが、どのような方がボランティアとして参加されているのか、また、人数や年齢構成についてお聞かせください。

<回答：青少年課>地域の大人のかかわりや、ボランティアとしてのかかわり方として、まず、運営委員として参加している方がいます。運営委員は、地域の方、青少年育成協力会や学校の校長先生、自治会などの方たちが運営委員になっています。日々の見守る人については、運営委員と重なっている人、地元の主婦、定年退職後の男性など地域の大人の方に参加していただいています。現在 2 小学校学区で実施していますが、運営委員については、13 名と 15 名、見守る人は各 15 名ずつの体制です。

<委員からの質疑>平成 27 年度は亀井野小と小糸小 2 校で実施していて、大変利用者も多いようですが、今後藤沢全体で他の小学校に展開していくことはありますか。

<回答：青少年課>現在、全小学校区に子どもの居場所を整備していこうという考え方で進めています。ただ、放課後子ども教室だけでなく、子どもの家や児童館を含めての子どもの居場所の整備です。放課後子ども教室については、運営に協力していただける方や学校との調整など課題はありますが、できれば拡大していきたいと考えています。

<委員からのご意見>放課後の子どもの居場所については、地域性も考慮しながらどの形態が一番良い形なのか、保護者や地域の意見を取り入れながら進めていただけたらと思います。

<委員からのご意見>小学校の子どもたちの放課後の居場所を保護者として思うと、学校施設は安心のできる居場所ではないかと思います。平成 27 年度は 2 校の実施でしたが、藤沢市全体に展開できるようになると子どもたちの安全・安心につながると思いますので、課題解決に向けて取り組んでいただきたいと思います。

7 2 5 「男女共同参画推進事業」

<委員からの質疑>男性が優遇されていると感じる市民 7 割を超えているとありますが、どのような点で感じる方が多いのでしょうか。

<回答：人権男女共同参画課>男女共同参画に関する市民意識調査は 5 年に 1 度行っており、平成 25 年度が最新の調査になっています。この調査の中で、各分野における男女の地位の平等感として、1 法律や制度、2 社会通念・慣習・しきたり、3 家庭、4 職場、5 学校教育、6 地域生活、7 社会全体と、7 分野について男女の地位の平等感を尋ねており、「男性のほうが優遇されている」「どちらかというと男性のほうが優遇されている」を合わせた回答が、社会全体で 72.1%になっています。それ以外のものでは、社会通念・慣習・しきたりが 82.4%で最も多くなっています。次いで職場の 76.8%、以下、家庭が 55.6%、法律や制度 47.7%、地域生活 37.2%、学校教育 11.7%となっています。この調査は対象者を無作為抽出しており、5 年ごとに毎回調査対象者が変わります。平成 20 年度に行った調査より、全ての分野において平成 25 年度の調査のほうが「男性のほうが優遇されている」「どちらかというと男性のほうが優遇されている」の合計のパーセンテージが高くなっているということで、今回課題にあげました。

<委員からのご意見> 男女共同参画の推進、労働環境の整備、地域における推進などは、多様な市民が暮らしやすい地域づくりを推進するという観点からみても重要だと思います。また、5年ごとの市民意識調査も継続的に実施することによって、明らかになることや課題の発見につながるのではないかと思います。女性登用比率50%の目標とともに、地域における市民の住みやすさを多様な角度から検討する機会が増えることを期待しています。

<委員からのご意見> 先日お聞きした市民調査の結果には非常に驚きました。藤沢市でそこまで差を感じている方が多いとは思いませんでした。意識の改革には長い年月がかかるかと思いますが、今の子どもたちに対して、人権についての教育に力を入れていってほしいと思います。教えるというよりも、グループトークやワークショップなどの話し合う機会が必要だと感じます。

基本方針 命を守る「教育の推進」「教育環境の整備」「コミュニティづくりの推進」を図ります

施策の柱 命を守る教育環境の整備

825と832「学校防犯対策強化事業（こども110番・安全マップ）」

<委員からの質疑> 現在、こども110番を掲示しているお宅、お店等の件数が5,043件で、実際に子どもが一時避難を求めて来たときに入れる件数は何件あるのでしょうか、また、機能していないお宅、お店等の把握はしていますでしょうか。大変いい事業だとは思いますが、実際に機能していないのもったいないので。子ども110番を見直している地域がありますが、地域でするのはなかなか大変だという話も聞いています。

<回答:教育指導課> 子ども110番については、毎年ご辞退されたり、新たに登録したりで、およそ5千件で推移しているのが現状です。中には留守がちや、一時留守にしているお宅もやってもいいよというお宅については取り下げることなくお願いをしていることから、把握しきれていないのが現状です。警察が中心で実施している子ども110番の家も合わせるとかなりの数に上ると思います。教育指導課としては、犯罪抑止効果の面も含めて考えていまして、子ども110番があることによって、その町はみんなで見守っているという犯罪抑止力の効果を考えて、暫くはこのまま継続したいと考えています。

<委員からのご意見> 「こども110番」は子どもたちにとって地域の安全・安心ステーションだと思っています。かすれて見えにくくなった掲示は、新しいものに更新をしていただき、誰が見てもすぐわかると、地域での犯罪抑止につながると思います。また、登録件数が5千件以上あるうち、実際機能しているのはどれだけあるかが気になっています。いざというときに生きるものにしていただければと思います。

その他

<委員からの質疑> 重複している事業がありますが、わかりにくい部分もあるので、一本化できないのでしょうか。

<回答:学校教育企画課> この教育振興基本計画につきましては、8つの基本方針の下に20

以上の柱を立てて構成しているということと、1つの事業が色々な側面を持っているということを見ると、三者連携などは4か所に出てきますが、1つのところに限ってしまうとその事業の良さが表現しきれないことがあり、何か所にも記載という形を取らせていただいています。

<委員からの質疑> 各施設の防犯対策ですが、不審者が侵入した場合を想定して訓練・マニュアルなど作っているのであれば教えてください。

<回答：生涯学習総務課> 公共施設の防犯対策訓練等についての質問にお答えします。防犯の訓練につきましては、現在実施していません。藤沢市として、不当要求行為の対策として委員会を設置して、庁内には警察のOBもいるので、対応について講話をしていただいたり、施設管理者、所属長を対象に警察の講習に参加して知識を高めたりしています。防犯活動を通して、警察との密接な関係も持っているため、地域の防犯活動を施設の防犯活動にも生かしています。

<回答：教育指導課> 学校における防犯対策についてですが、子どもたちがいるときにするというのは難しいこともあるので、夏休み期間中に毎年とはいきませんが、不審者の想定訓練をしています。

<委員からの質疑> 特に小学校では、授業が始まると職員室には殆ど先生がいなくなってしまうことが多いです。ご年配の校長先生・教頭先生だけになる中で対応が難しいのではないかと感じています。また、さすまたは教師全員が使えるように指導をしているのでしょうか。

<回答：教育指導課> さすまたについては全員が使えるようになってはいないというのが現状ですが、さすまただけではなく、机を寄せたり、椅子をさすまた代わりに使ったりなど、訓練のときにしています。また、授業が始まった後の教室については、現在藤沢市内の小中学校には各教室にプザーが置いてあり、不審者が入ってきたときに、職員室にも警備会社にも通報がいくようになっています。

<回答：教育長> 小学校のご心配をいただきありがとうございます。小学校でも同じように感じている教員が増えてきました。職員室に1人しかいないときに不審者の侵入があった場合、どうやってほかの教員に知らせるのかなどを工夫し、いろいろなことを想定して、警察とも協力して危機感を持って学校の特徴に合わせて訓練を実施しているところです。

<委員からの質疑> 学校適正配置研究事業ですが、過大規模の解消にむけての取組に関して今年度の進捗状況をお聞きしたいと思います。

<回答：学務保健課> 平成27年度につきましては、過大規模校の辻堂小学校について具体的に町内会・自治会単位で通学校を変更した場合どのようなことがあるか、また、過大規模の解消になるかということも含めましてシミュレーションをしました。その中で、近隣地区の学区につきましてもかなり飽和状態のところがあり、近隣の学校に移動したとしても過大規模の解消にはならなかったり、逆に移動した学校には教室が不足していて受け入れられなかったりという状況がありました。結論的には学区変更によっての適正規模への移行は難しいという判断に至りました。学校施設の再整備計画もございますので、整備を行う時点で、必要な教室数の確保をして、その時点での教育環境の整備で考えていくという方向性での話

し合いをしたところでございます。

<回答：教育部長>大規模校の解消は、地域的・児童生徒数の中で難しい状況があります。委員が心配していますように、学校によって格差があってはいけないという部分につきましては、普通学級の多い学校においては特別教室など学習機会が狭められないようにということはさまざまな形で努力しているところです。また、小さな規模の学校において、子どもたちが少ないということで違う状況が生まれており、各学校で工夫をしているところです。

<委員からのご意見>現状の学校適正配置研究事業という事業では、過大規模校の解消は難しいのかと思いますので、新たな事業展開を視野にいれて、過大規模校の子どもたちがより良い教育環境で学べるものに転換していただけたらと思います。

<委員からの質疑>環境事業の取組で、小学校・幼・保の子どもに、ゴミに関する啓発事業で「ごみなぜ」テキスト化、配布とありますが、今年度中のいつごろになりますか。小さいときから分別の知識をきちんと取得していくことは重要なことだと思っています。

<回答：環境事業センター>「ゴミのなぜ」につきましては、市民の方から分別が難しいということで毎日のように問い合わせがありました。昨年広報ふじさわに「ゴミのなぜ」を出したところ非常に市民の方から好評を得たところです。環境事業センターからパッカー車を実際に小学校35校に持って行き、ゴミの分別の勉強会を4年生の社会科で実施しています。5～6月に体験期間を設けていて、3,800人の子どもたちに配っています。また、ただ配っただけだとお家に持って帰ってくださっても紙類は捨てられてしまう確率が高いので、7月の10日頃にこの「ゴミのなぜ」をYouTubeでホームページやゴミのアプリから見られるように制作して流す予定です。

4 点検・評価及び進行管理を通じた教育委員会へのアドバイス

<三浦康之 委員長>

今年度は、点検評価に関わらせていただいて四年目になります。今回は、委員長という立場で参加させていただくことになりました。そのため、自分自身の所見を述べるというよりは、他の委員の皆様方のご意思を、評価委員会の議論に反映させることに注意をして進めて参りました。今回は、2点申し上げたいことがございます。

1点目としまして、アートスペースや、藤沢宿の関連事業など、立ち上げから間もない事業について質疑応答を行ううち、考えていた以上にしっかりとした構想のもとに事業が組み立てられているという印象を持つに至りました。今後も、子どもたちや地域の発展のために、委員会における議論をご参考に事業を進めていただけますと幸いです。

2点目としまして、確か、2年前にも同じようなことを申し上げていたのですが、事業に対する評価を行う際に、どうしても実施した実績のみに注意が向きがちなきらいがあるという点が若干気になりました。無論、多くの事業は、一度実施されますと、主導権は各学校現場ということになりますので、教育委員会の事務局サイドとしては見えにくい部分も多々あるものは承知しておりますし、数多くの現場の声を拾うのにも限界がありますので、そのような形になりがちなのは分かります。しかし、本来は、事業を実施し、実施した事業に基づいて各学校等で何かが行われたならば、行ったことに対して現場にどのような変容がもたらされたかを含めて評価をしてゆくのが理想であると思います。なかなか難しいこととは思いますが、今後とも、是非、その取組を実施したことによって現場にどのような変化がもたらされたのか、ということに着目して、事業に対する効果をお考えになるよう、心がけていただけますと良いと思います。

最後になりますが、全体としましては、健全な方向で教育振興基本計画が運用されているのは確かなようですので、今後とも藤沢市の発展のために、頑張っていただきたいと思います。

<栃本親 副委員長>

今回も点検・評価に参加させていただいています。昨年度も思いましたが、教育振興基本計画に無駄な事業は1つもないということと、それぞれの事業が昨年度より進んでいることが分かり、達成に向けて確実に実行されてきていると感じました。

ただ、私たち評価委員4人だけでなく、学校教職員や保護者、市民の方々などともコミュニケーションをとってご意見をいただくと良いのかとも思いました。

どの事業も子どもたちにとって大切な事業だと感じています。教育委員会の皆様、これからも「藤沢っ子」のために「藤沢っ子の笑顔」のために、より良い学校環境整備に務めていただきたいと思います。

点検・評価に関わることで、私自身も「藤沢っ子の笑顔」のために少しでも役に立ちたいと再認識いたしました。今回も点検・評価に参加し、私自身のためにもなりました。

ありがとうございました。

<藤井佳世 委員>

今年度から、点検・評価にかかわらせていただきました。子どもの生活や教育、地域づくり、市民の生活環境と学習への支援など、多様な事業が展開されており、地方教育行政の重要さをあらためて実感いたしました。

全体を通して感じたことは、点検評価対象のいずれの事業においても、家庭・学校・地域・行政の連携の在り方が重要だということです。例えば、「総合市民図書館市民運営事業」「子ども読書活動推進事業」「アートのスペースの整備・運営事業」「(仮)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業」は、基本方針や施策の柱は異なるとしても、「多様な学びをつなげる生涯学習ネットワークを構築する」という大きな目標に包括された事業です。これらの事業は、本、アート、芸術、文化を通して子どもや市民の生活と学習の拡大を促進し、同時に、より深く学ぶことを目的としている点で重なるところがあります。事業推進の中で、地域性を配慮した取組を進めている点も共通しているように思いました。市民の生活と学習の豊かさに寄与するこれらの取組を地域の特性をとりいれながら推進する際の評価の視点が、貸出件数、実施件数、利用者数などの数による評価であることも共通しているように思います。数の目標はとても重要ですが、並行して、各施設の利用の深さや数だけではない指標があると市民等による独自の取組についても高く評価できるように思いました。

また、「子どもの体力向上対策事業」「八ヶ岳野外体験教室の充実事業」「中学校給食施設整備事業」「学校防犯対策強化事業」につきましても、基本方針や施策の柱は異なるとしても、食、自然、健康、身体、運動を通して子どもや市民の生活と学習の広がりと深まりを推進し、地域や家庭の協力が重要である点も共通しているように思いました。これらの事業は、学校教育を中心にしながらも、子どもが安心して暮らすことのできる環境や生活に寄与しており、その背景にある、きめ細かい打ち合わせや円滑な連携に支えられていると感じました。今後は、さらに各専門性の発揮や科学的観点からのアプローチなどにより、食、身体、運動を含めた子どもの暮らしと市民の生活環境が充実することを期待しています。

<市村杏奈 委員>

前年に引き続き、2回目の点検・評価に参加させていただきました。このような機会をいただけてとても有難く思っております。

2人の息子も中学1年と2年になり、より一層中学生の生活や課題が見えてくるようになりました。小学生ではまだ低かったスマートフォンの所持率が、中学生では一気に上がり、我が家でも2人の息子はスマートフォンを所持しています。購入時に約束事を決めており、定期的に息子たちのスマホのチェックをしています。ラインの内容も見ているのですが、このような機器が急速に普及したことにより、コミュニケーションの

取り方が様変わりしていると感じる事が多々あります。子どもたちのやり取りが学校内では見えてこない事も増えたことでしょうかから、教職員の方々にとっても、とても難しい状況になっているのではないかと思います。スマートフォンを持たせているのは家庭なのに、トラブル対処は学校になってしまっているという現状が大変心苦しいと感じています。様々な事業で、子どもたちの相談・支援をしていただいています。家庭の方でも家庭教育、トラブル対処ができるよう、PTA として保護者を支える活動をしていきたいと改めて感じました。

今回抽出させていただいた事業は、藤沢市の子どもたちの「体験」や「経験」を意識したものになっています。知りたいことがあれば、検索ワードを打てばすぐに調べられる世の中ですが、やはり「体験」や「経験」に勝るものはないと思っています。家庭内で子どもをどこかへ連れて行って体験をさせようと思っても、今の子どもたちは塾や習い事、部活等で忙しくなかなか機会を作ることができません。そのような中で、学校の授業の中での体験や経験を重視した取組、歴史や文化・芸術に触れることができる施設、想像力や考える力を養う本の充実など、藤沢市の充実した事業内容によって子どもたちが体験し経験できるということは、保護者にとって、とても有難いことだと思います。

また、行政だけではなく、それが地域のひとたちによって支えられているという事も常に感じています。藤沢市民のこと、主に子どもたちのことを考えて行われている事業だと思いますので、これからも市民の意見やニーズを取り入れながら、柔軟に、よりよい形にしていただけたらと思います。ありがとうございました。

第3部

教育委員会の活動状況

1 教育委員会について

地方公共団体が、教育・学術・文化等に関する事務を行う場合は、その性質上

政治的中立を維持すること

行政が安定していること

住民の意思を反映すること

などが求められます。

これらに応えるため、都道府県及び区市町村には知事または区市町村長から独立した行政委員会として、教育委員会が設置されています。

藤沢市教育委員会は、5人の委員で組織され、教育についての方針・施策は、この教育委員会での合議によって決められています。

教育委員は、毎月の教育委員会定例会に出席し議案等を審議するだけでなく、各種の会議や研修会にも出席しています。

また、教育施設の視察や学校行事、地域の行事、市の主催行事等にも出席し、教育を取り巻く状況の把握と市民の意見聴取に努めています。

平成28年度の教育委員

(H28.5.1現在)

| 職名 | 氏名 | 任期 |
|----------|-------|-------------------|
| 委員長 | 小竹伊津子 | H26.10.1～H30.9.30 |
| 委員長職務代理者 | 井上公基 | H25.4.1～H29.3.31 |
| 委員 | 中林奈美子 | H27.10.1～H31.9.30 |
| 委員 | 欠員 | |
| 教育長 | 吉田早苗 | H25.4.1～H29.3.31 |

2 平成27年度の活動実績

平成27年度の教育委員の活動実績については次のとおりです。

(1) 教育委員会

藤沢市教育委員会では、毎月定例会議を開催しております。また、委員長が必要と認めたときには臨時会議が開催されます。

教育委員会定例会，臨時会 16回

○定例会（12回）

| | |
|--------|-----|
| 提出案件 | 68件 |
| ・上程議案 | 39件 |
| ・議題 | 4件 |
| ・教育長報告 | 13件 |
| ・請願 | 2件 |
| ・その他 | 10件 |

○臨時会（4回）

| | |
|-------|----|
| 提出案件 | 5件 |
| ・上程議案 | 3件 |
| ・議題 | 2件 |



教育委員会定例会の様子

(2) 総合教育会議 8 回 (準備会 1 回を含む)

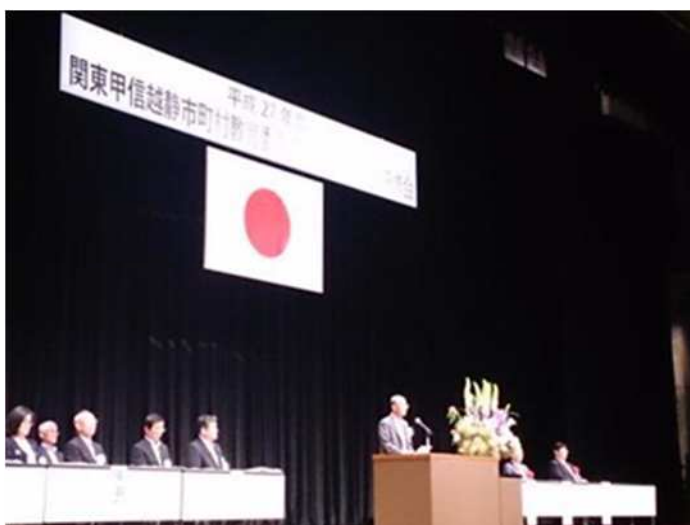
【主な議題】・教育に対する大綱について・予算に対する要望について

(3) その他会議 4 9 回

議案説明、委員協議会、神奈川県市町村教育委員会連合会総会及び役員会、教科用図書採択審議委員会、教育振興基本計画評価委員会 等

(4) 委員研修会、研究協議会 3 回

関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会、市町村教育委員会研究協議会(第 1 ブロック)、市町村教育委員研究協議会



平成 2 7 年度

関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会の様子

(5) 教育施設視察 18カ所(18回)

本町小、片瀬小、片瀬中、御所見小、秋葉台小、大越小、羽鳥小、御所見中、大庭中、羽鳥中、湘南台中、六会中、天神小、明治小、高浜中、鵜南小、八ヶ岳野外体験教室、学校教育相談センター

(6) 学校行事 55件

研究発表会、小・特別支援学校体育大会、小学校水泳大会、小学校運動会、中学校体育祭、特別支援学校運動会、白浜祭 等

(7) 地域行事等 8件

公民館まつり、藤沢市伝統芸能発表会 等

(8) 市の行事、大会等 29件

教職員辞令交付式、教育文化貢献者感謝会、学校保健大会、市展表彰式、アートスペース・オープニングセレモニー、スポーツ人の集い、成人式、「こころの劇場」小学生招待事業、Stopいじめ！中学生の集いinふじさわ、全国中学生ビーチバレー大会、藤沢市賀詞交換会 等

参 考 资 料

藤沢市教育振興基本計画体系図

基本理念

未来を拓く「学びの環」ふじさわ

～ 学びを通して人と地域がつながる生涯学習社会、ふじさわを目指す～

3つの目標

一人ひとりの夢を育み、
未来を拓く子ども（藤沢
っ子）を育成する

多様な学びをつなげる
生涯学習ネットワーク
を構築する

学校・家庭・地域・行政
が連携、協働する子育て、
教育支援体制を推進する

8つの基本方針

- 1 共に学び、多くの人とかがわり合いながら自立する子どもを育成します
- 2 家庭教育・幼児教育・地域教育力の支援、充実を図ります
- 3 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります
- 4 多様な学びのできる生涯学習社会を目指します
- 5 郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります
- 6 健康で豊かなスポーツライフの環境整備を行います
- 7 多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します
- 8 命を守る「教育の推進」「教育環境の整備」「コミュニティづくりの推進」を図ります

藤沢市教育振興基本計画体系図

8 つ の 基 本 方 針

| 1 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します | | |
|------------------------------------|------------------------|--|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 確かな学力の向上 | 1 教育課程推進事業 2 国際教育推進事業 3 学校ICT機器整備事業(情報教育) |
| 2 | 熱意と指導力のある教員の育成 | 1 各教科研究研修関係事業 2 教育文化センター研究研修事業 |
| 3 | 開かれた学校づくりと信頼される学校経営の推進 | 1 教育指導事務事業(計画訪問・要請訪問) |
| 4 | 豊かな心と健康な身体を育む教育の推進 | 1 人権・環境・平和教育関係事業 2 児童生徒指導関係事業 3 ハケ岳野外体験教室の充実事業 4 学校給食をとおしての食育推進事業 5 環境教育推進事業 6 いじめ暴力防止対策事業 7 人権施策推進事業費 |
| 5 | 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進 | 1 特別支援教育推進事業 2 学校教育相談センター事業 3 児童生徒指導関係事業 4 教育指導事務事業(学習指導員による補修授業) 5 子ども発達支援事業 |
| 6 | 子どもと社会をつなぐ教育の推進(新規) | 1 教育課程推進事業(キャリア教育) 2 技能職体験事業(学校訪問・職場体験実施) 3 障がい者就労支援事業(特別支援学校就労体験) 4 若年者就労支援事業(若者しごと応援塾・ユースワークふじさわ) 5 自立支援推進事業 6 自立支援推進事業(就労支援) 7 生活困窮者自立支援事業(就労準備支援) 8 子ども・若者育成支援事業 |

| 2 家庭教育・幼児教育・地域教育力の支援、充実に図ります | | |
|------------------------------|--------------|---|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 家庭における教育力の向上 | 1 地域子育て支援センター事業 2 つどいの広場事業 3 放課後児童健全育成事業 4 母子保健事業 5 学校・家庭・地域連携推進事業 |
| 2 | 幼児教育の推進 | 1 幼稚園協会等補助金事業 2 幼稚園等就園奨励費補助金事業 3 幼児教育振興助成事業 4 幼稚園等預かり保育推進事業 5 幼稚園・保育所・小学校・中学校連携推進事業 |
| 3 | 地域における教育力の向上 | 1 子育てふれあいコーナー事業 2 地域子育て支援センター事業 3 つどいの広場事業 4 学校・家庭・地域連携推進事業 |
| 4 | 教育機会の均等保障 | 1 要保護準要保護児童・生徒援助事業 2 生活困窮者自立支援事業(学習支援) 3 自立支援推進事業 |

| 3 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります | | |
|----------------------------|------------------|---|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 学びを支え質の高い教育環境の整備 | 1 特別支援教育整備事業 2 新入生サポート事業 3 学校図書館管理運営事業 4 学校ICT機器整備事業(教育用・校務用PC) |
| 2 | 将来にわたって学べる環境整備 | 1 学校施設維持保全事業 2 学校適正配置研究事業 3 学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消) |
| 3 | 安全・安心で快適な学校施設の整備 | 1 学校安全対策事業 2 学校施設環境整備事業(トイレ改修整備) 3 学校施設環境整備事業(空調設備整備) 4 学校施設環境整備事業(グラウンド等整備) 5 学校施設緑化推進事業(芝生化・壁面緑化) 6 学校給食食器改善事業 7 学校施設維持保全事業 8 防災対策事業(津波対策) 9 中学校給食施設整備事業 |

| 4 多様な学びのできる生涯学習社会を目指します | | |
|-------------------------|----------------------|---|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 生涯学習の推進 | 1 生涯学習推進事業 2 地球温暖化対策普及啓発事業 |
| 2 | 多様な学びを支援する図書館活動の推進 | 1 総合市民図書館運営管理事業 2 総合市民図書館市民運営事業 3 総合市民図書館整備事業 4 図書館情報ネットワーク事業 5 障がい者・高齢者への宅配サービス事業 6 子ども読書活動推進事業 7 点字図書館事業 8 新しい時代に即した「これからの図書館」推進事業 |
| 3 | 多様な文化をつなげる学習機会づくりの推進 | 1 公民館運営事業 2 藤沢公民館・村岡公民館再整備事業 |

| 5 郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります | | |
|--------------------------------------|-------------|--|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 文化芸術活動の支援 | 1 市民ギャラリー事業 2 文化芸術振興事業 3 市民文化創造事業 4 文化活動支援事業 5 文化芸術活動広域ネットワーク事業 6 アートスペースの整備・運営事業 7 文化ゾーン再整備事業 |
| 2 | 歴史の継承と文化の創造 | 1 歴史遺産保存整備活用事業 2 文化財保護事業 3 広域連携展示事業 4 保管施設整備事業 5 映像資料保存公開事業 6 保存民家公開活用事業 7 歴史資料公開活用事業 8 (仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営事業 9 (仮称)藤澤浮世絵館の整備・運営事業 10 景観資源推進事業 |

| 6 健康で豊かなスポーツライフの環境整備を行います | | |
|---------------------------|-------------|--|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 健康づくりの推進 | 1 健康づくり推進事業 |
| 2 | スポーツ環境の充実 | 1 子どもの体力向上対策事業 2 スポーツ施設整備事業 3 スポーツバリアフリー事業 4 スポーツノーマライゼーション事業 |
| 3 | 生涯スポーツ活動の推進 | 1 生涯スポーツ活動推進事業 2 スポーツサポート事業 3 競技スポーツ推進事業 4 地域特性活性化推進事業 |

| 7 多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します | | |
|-----------------------------------|--------------------|--|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 多文化・多世代の交流の推進 | 1 多文化共生推進事業 |
| 2 | 学校・家庭・地域等の連携、協働の推進 | 1 地産地消の充実事業 2 人権施策推進事業 3 放課後子ども教室推進事業 4 学校・家庭・地域連携推進事業 5 男女共同参画推進事業 |

| 8 命を守る「教育の推進」「教育環境の整備」「コミュニティづくりの推進」を図ります(新規) | | |
|---|----------------------|--|
| 施策の柱 | | 実施事業 |
| 1 | 命を守る教育の推進(新規) | 1 学校安全対策事業(防災・防犯教育) 2 教育文化センター研究研修事業 |
| 2 | 命を守る教育環境の整備(新規) | 1 学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消) 2 防災対策事業(津波対策) 3 防災資機材等の整備事業 4 通学路安全対策推進事業 5 学校防犯対策強化事業(こども110番・安全マップ) |
| 3 | 命を守るコミュニティづくりの推進(新規) | 1 学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動) 2 学校防犯対策強化事業(こども110番・安全マップ) |

藤沢市教育振興基本計画評価委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 藤沢市教育振興基本計画を効果的かつ確実に推進していくため、藤沢市教育振興基本計画評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会の事務の管理・執行状況についての点検・評価に関する事項
- (2) 藤沢市教育振興基本計画の進行管理に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、学識経験者、保護者の代表等5人以内で組織する。

- 2 委員は教育委員会が委嘱し、又は解任する。
- 3 委員会には、委員長及び副委員長を置く。
- 4 委員長は、委員の互選により定める。副委員長は委員長が指名する。
- 5 委員長は、会務を総括し、委員会を代表する。
- 6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年以内とする。ただし、再任はさまたげない。

(会議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集する。

- 2 会議の進行は委員長が務める。
- 3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、説明又は意見を求めることができる。
- 5 会議は、公開とする。ただし、公開することにより当事者又は第三者の権利、利益又は公共の利益を害する恐れがある場合、非公開とすることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局学校教育企画課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月1日から施行する。